

～新体育館 & 学生会館竣工～



**特別
企画**

徳永光俊新学長インタビュー

勝田泰久理事長、藤原広太郎(進路支援部長)に聞く

80周年記念事業がスタート
ズームアップ！経大人



新体育館&学生会館完成！

平成22年9月29日、竣工式が行われました。



定礎除幕式への参列者



定礎除幕を執り行う勝田理事長



神事に参列の皆さん



学生会館と体育館を結ぶ通路

体育館正面





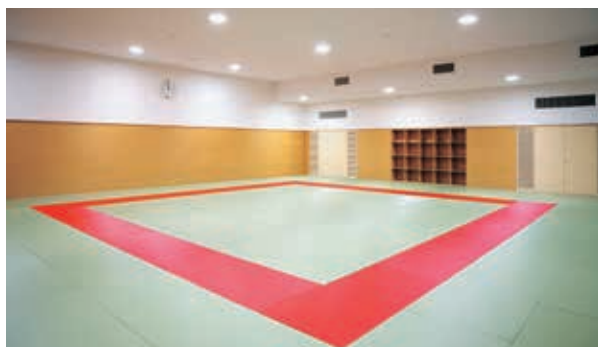
体育館のクラブ部室



学生会館の2階、渡り廊下



トレーニングルーム



柔道場



学生会館の多目的ホール

体育館内部の室内球技場



和室



CONTENTS

- 2 **新体育館＆学生会館完成！**
- 4 徳永光俊新学長に聞く
経済・経営系の大学としてNO.1を目指す
- 6 **「超氷河期」を乗り越えるために**
今こそ学生の就職に同窓生の支援が欲しい
勝田泰久理事長、藤原広太郎進路支援部長に聞く
- 9 **“就職したい会社の情報は聞いてください”**
就職希望者へシニアアドバイザー（SA）がフル稼働
- 10 80周年への序章、盛大に幕開け
平成22年度同窓会「大樟会」総会
- 12 **創立80周年記念事業募金を成功させよう！**
- 15 支部だより
- 28 OB・OGネットワーク
- 38 おめでとうございます 一叙勲受賞のみなさんー
- 39 今年活躍が期待される体育会クラブの監督に聞く
- 40 ゼミ短信
- 42 お世話になった先生からの“お元気”なお便り
- 43 本部だより
- 46 同窓会の個人情報保護に関する基本方針
- 50 **ズームアップ経大人**

鬼頭さやか氏／竹内通弘氏／迫田茂雄氏／吉岡宏美氏／日野和明氏／山村孝雄氏／服部正氏／名田和由氏／松瀬裕二氏／池田勇気氏／岡村康裕氏

経済・経営系の大学としてNO.1を目指す 「道理貫天地」の基本理念を経大ブランドに

2010年11月、重森暁学長から、徳永光俊経済学部教授が新学長に就任された。日本の政治、経済、社会の閉塞感が払拭されない中、大学教育もこれまでにない厳しい状況が迫り、これを乗り越える妙案は簡単ではない。とはいえ、今年も卒業生を送り、新入生を迎える。教学の長として、学生とどう向き合い、どう導かれるか、お話を伺った。(敬称略)

(聞き手=広報部長 平田義行)

—学長ご就任おめでとうございます。先生で何代目ですか？

徳永 ありがとうございます。1949年(昭和24)に新制大学となり、初代学長の黒正巖博士から私で13代目に当たります。

—同窓生の皆さんに、新学長のひととなりを理解していただくためにお聞きしますが、ご出身は四国の松山ですか？

徳永 はい、昔は「坊ちゃん」、今は「坂の上の雲」で有名な松山です。1952年(昭和27)生まれで、昔夏目漱石が教えた松山中学、現在の松山東高校から京都大学農学部へ進みました。農史を専攻して、黒正博士の孫弟子にあたります。

—はじめから農学部の志望だったのですか？

徳永 いや私は、哲学や文学が好きだったのですが、父が「文学ではメシは食えない」(笑)と言われ、やむなく農学部を選びました。

—研究はどんな分野を。

徳永 日本やアジアの農業史の研究です。古文書などの文

献研究はもちろんですが、日本はもとより中国・韓国・東南アジア、さらに欧米などの農家の現場を回りました。どこの国の農家にも、根底には自然・いのちに対する畏怖、「おかげさま」という感謝の心が流れていることが解りました。

—ご趣味は何でしょうか？

徳永 中高はサッカーで走りまわっていました。大学院では軟式野球のピッチャーをして、スポーツ好きでした。今は休日に自宅のある京都吉田の近くのお寺や神社の散歩ですね。家でコーヒーを挽いて飲みながら、和ジャズや民謡を聞く。時代小説や警察、経済小説を読むのも好きですね。

経大に働く全スタッフが学生を育てる

—さて昨年、ご就任のあいさつで経大改革の王道は、「《愛と志のある教育》の充実」と説かれました。

徳永 私は長年農業の現場を歩いてきた研究スタイルと同様、「現場に立った学生の目線」を重視します。例えば、女子弓道部は練習場を間借りしながら昨年、全国大会4位の成績を上げました。優勝まであと1歩でした。私は借りている練習場に行きお礼を言ってきました。学生部では昨秋から今までずっと昼休みに、マナーアップのために巡回しています。これには他部署の若手の職員も協力してくれているようです。

こうした目配り、こころ配りをした「愛のある教育」が必要です。これには経大で働くすべてのスタッフが協力して、学生を育てていく自覚が欠かせません。また、「移行期的混乱」(平川克美)の時期だからこそ、どういう方向を目指して生きるのか、「志のある教育」が求められています。

—改革のポイントは？

徳永 経大の建学以来の伝統を受け継ぎ、さらに具体化するために次の4点を中心に進めます。まず「ゼミの経大」です。ゼミ教育は学生同士や学生と教員のつながりを深めます。1年生の早い内から少人数教育で育てます。昨秋、ゼミを全





初代学長 黒正 巖 筆

学的に活性化するために学内でゼミ大会を初めて実施し、大成功でした。西日本インカレ大会には、2ゼミが出場し、経済学部服部ゼミがグランプリに輝きました。私はゼミ中心の教育によって、“やんちゃ”な中にも真面目さのある堅実で実力のある学生を育てていきたいです。

次に「マナーの経大」です。残念ながら学生のマナー面はまだまだ万全とはいえませんが、社会に出るまでに「一人前の社会人としてのマナー」を身につけるよう、全学的に取り組みます。会っていてもさわやかで挨拶のできる清新な学生の育成が大切です。

3番目は「就職の経大」です。超氷河期だからこそ「就職に強い経大」の底力を見せたいところです。現状では大学は就職予備校的な面もありますが、決して就職だけが目標ではありません。大学は知識を幅広く吸収し教養を身に付ける。大学を出て自分は何のために働くのかを考えられる学生を育てるのが、私たちの使命です。高いにこしたことはありませんが、就職率が100%ならいい大学なのでしょうか。

—最後は「80周年の経大」です。

徳永 イベント、スポーツ振興、記念事業など同窓生の皆さんと在学生が共に参加して「経大に愛着と誇り」を持ちたいものです。ホームカミングデーの共催は同窓会がもっと強くなれると思います。キャンパス総合整備事業は、経大がさらに発展するため重要で、募金活動も協力しながら進めます。

“おかげさまで”が言える社会人に

—学長としての課題は具体的にわかりました。学生に何を求められますか？

徳永 2つあります。1つは4年間の学生生活を終えた時、ご両親、学費負担者に“おかげさまで卒業できました”と感謝の言葉が言えることです。これが出来ればどんな状況でも生きていけます。2つ目は「道理は天地を貫く」です。「道理」をど

のように解釈するかはそれぞれの考えでいいのですが、4年間で日本、世界で唯一の経大オリジナルのこの言葉の意味を考え、人生の軸にして欲しいと思います。

他大学の学生とは一味違う、芯棒が一本通った「**堅実で清新な学生**」を期待します。私は昨秋の産業セミナーで、大学と企業が一つになって、21世紀の日本を担う有為な青年を育てようではありませんか、と呼びかけました。

—学長の新しい名詞の裏面には、「道理貫天地」と大きく刷り込まれています。

徳永 初代学長の黒正巖博士が戦前、学徒出陣の学生たちに贈った言葉で、いかなる困難に逢おうとも、道理は天地を貫くことに確信を持ち、生き抜けというメッセージでした。私はこの考えを、わが大学の原点の理念として、世間に出していこうと思います。まさに経大の「オリジナルブランド」です。経大に黒正巖ありと言われるよう、「道理」に即しつつ経大改革を進めます。「無理」は、いけません。

“なりはひの 道はかはれと さしていく 高嶺の月は一つなりけり”と黒正博士は詠みました。どんな道を歩こうとも、志が一つならば、行き着くところは同じ、という歌意でしょう。

—80周年を間じかに、経大はどんな大学を目指しますか？

徳永 2015年といわれる立命館大の茨木進出、2018年からの18歳人口の急減など逆風が強まります。これを乗り切り、90周年を迎えられれば100周年は大きな希望をもたらすでしょう。

多くの大学が定員割れをしている現状から、今やむやみに拡大路線、総合大学化の道をとる必要はありません。むしろ大阪市内にある経済・経営系の伝統ある都市型中規模複合大学として、関西で確固たる地位を築くことが最優先課題です。2032年の100周年に向け「**経済・経営系の大学として No. 1**」を目指します。

—ありがとうございました。期待しております。

「超氷河期」を 乗り越えるために

今こそ学生の就職に 同窓生の支援が欲しい

勝田泰久理事長・藤原広太郎進路支援部長に聞く

2008年秋のリーマン・ショック以降、学生の就職戦線が極めて悪い。政府が昨年11月に発表した大学生全体の内定率は57.6%で、就職氷河期といわれた2000年前後の60%を下回り今年は「超氷河期」ともいわれる。経大もアゲンストの風は避けられず、2010年11月の内定率も47.9%と昨年より1.1ポイント下回る。

勝田理事長はじめ進路支援センターも学生の内定を1人でも多くとるべく、連日奮闘の日々だ。ここへきて8万5千人の卒業生を有する同窓会として、同窓生が学生の就職に結びつく具体的なアクションが出来ないものか、理事長、進路支援部長にざっくばらんに聞いてみた。(敬称略)

(聞き手・構成=広報部長 平田義行)

今は高望みする時代ではない

—「円高・株安」という経済環境の閉塞感が続く中、就職状況が厳しくなっています。マスコミも氷河期の再来と報じていますが現状をどう見られておりますか

勝田 私は物事を悲観的に見るのはもともと好きではありません。一国の総理大臣が誰になろうとも長期的にみて、日本の経済環境が好転するとは思わない。にわかには上向く時があるかも知れないが、就業人口の拡大は望めない。日本は基本的にファンダメンタルが弱くなっている。

—経大の状況はどうですか

勝田 学生がどうやってこの状況を乗り越えることができるか、私たちはあの手この手で支援しています。同時に学生ももっと現実を考えねばならない。例えば採用予定企業を紹介したり、先輩の努力で採用ワクを広げてくれた会社への訪問に遅れたり、断ったりする。誠意を示さねばなりません。

大手企業の有効求人倍率は0.2～0.3%です。就職を希望する学生は当然ながら大きな夢を持ちネットの影響も受け不況による安定志向が強い中、有名企業を望む。あるIT企業の会社説明会には何万人もの学生が集まったと聞きますが、私はあんまり感心しない。大阪には昔から老舗といわれる会社や、中堅・中小企業もたくさんあり、中には先輩が経営する立派な会社もあります。皆さん、はじめは一流を望みますが鐘紡、三越、JALや私のいた銀行も今は決してハッピーではありません。学生諸君もこの時期あまり高望みをせず、何をしたいかをよく考えてまず内定をとることが重要です。同時に絶対あきらめてはダメです。

—経大生の特徴はどう見られていますか

勝田 教壇を離れ2年になりますが、まずおとなしい。覇気がない。父母懇談会でもお母さんが「うちの子、うちの子」と心配している。少子化になって母親の口出しが多くなった。父親の姿を見ていると「自分も働かねば」という就労感がでてる。今は一流、一流へとたび傾向があるが、男子は自分の考えをしっかり持って「背骨」が他人からも見えるようにならないとダメです。



勝田泰久理事長

成長企業は学生を欲しがっている

—経大は就職に強く面倒見がいいという伝統は今もありますか

藤原 少人数大学ゆえに行き届いたプログラムをやっています。3、4年生向けの就職セミナーやJOBサミットなど企業と学生の接触に懸命に努力しています。

勝田 昨年6月から銀行におられた企業分析のプロ3人の方を「シニアアドバイザー(SA)」としてお願いし、学生が希望する企業や逆に学生に合う企業など具体的な情報を元に、親身になってアドバイスしてもらっています。これは今までなかった手法ですすでに効果もでています。

—実際「内定」をとることは難しいと聞きます。実態はどうでしょう



藤原 昨年の場合でいえば就職希望者1,500人に3年生の春ごろから就職ガイダンスを行い就活の方向性を示す。この内約3割はネットや早い目の企業訪問、インターンシップ(就業体験)の活用などを使い自分で内定を決めてきます。あとの学生がどう取りくんでいるのか見えてこない。中には支援センターに1回も来ない学生もいます。私どもは550社に絞った求人リストを整備し、相談にくる学生にSAの生きた情報に時間をかけ指導する。一方、理事長がトップセールスで企業訪問され採用ワクをとってこられる。しかし、学生は大手志向が強く、勤めても訪問しない。いわゆるミスマッチが起きます。

勝田 成長する企業は本当に学生を欲しがっている。そういう会社を早く見つけ内定を取るほうがいい。卒業生が経営する中堅企業もたくさんあります。お願いする以上、顔を知らない失礼なので一社一社こちらから伺っていますが、同窓会には顔を出さない社長も約30社ばかり訪ねました。しかし彼ら同士はつながっており情報交換をされている。こんな会社も私たちはお願いせねばなりません。四條畷の田中市長は採用したいという企業の経営者を大学に連れて来られました。有難いことです。



藤原広太郎進路支援部長

—ところでゼミを受け持つ先生がたの就職支援はどうでしょうか

勝田 一部に自分のゼミ生の進路の把握ができていない先生や、就職率が低いという指摘はするが、じゃあどうするかという具体案を示す先生は少ない。

藤原 職員は学生との接点が少ない。先生が学生に一番身

近で将来を心配される先生も多くいらっしゃる。しかし就職は本来事務方の仕事だといわれる方もおられる。これでは困りますので、先生や父母に対しても就職説明会をしています。大学に入った学生には必ず出口を見つける、これが本来の面倒見の良さだと、思います。

「就職力」アップは学生のレベルをあげることに

—新学長は「ゼミの経大」を充実させ就職率のアップを目指す、と言われています

勝田 大変いいことです。1年生から全学部ゼミをやればいい。期待しています。いい大学とは教員の強化、職員の強化、マネジメント力の強化です。本来、教育と研究が教授の仕事で、財務や総務は職員の仕事です。しかしゼミの先生は毎週学生と顔を合わすわけですから人間関係はできている。といってこの時期、就職先のコネは昔ほどない。とすれば、支援センターには求人会社がたくさん来ているので「センターに行きなさい」と強く指導して欲しい。

—これからの大学経営はまさに「就職力」を上げることにつきます

勝田 「就職力」を上げるということは学生のレベルを上げることです。4年間で大手企業も十分通じるという学力と品位を上げねばなりません。基本的には経済産業省がいう「社会人基礎力」が大切です。基礎力とは、読み書きそろばん、報告、連絡、相談の類です。今の学生はびっくりするぐらいこれが弱い。教職員あげて取り組まねばならないテーマで、1年生から鍛え直さねば就職も強くないと言っています。もちろん大学は学問の府ですから勉強も研究も大事なことです。否定はしません。しかし、社会に出れば学力がすべてではないでしょう。

—就職に強い大学になるため何をされますか

勝田 経大に入れば経済・経営の専門教育を受けるわけですが、これに語学として英語・中国語がそれなりにできる大学を目指したい。今日、語学ができないと就職につながらない。これまで好況の波に乗り明るく個人の資質で就職できた時代もあったが、他大学と差別化できるプラスαとして語学に強い学生像を造りたい。

われわれは一体何が強いのか、新学長とも意見交換していますが、昔の3商大(一橋、神戸大、大阪市立)は経済の上に英語、仏語、スペイン語に力を入れていた。今は少し落ちましたがしかしこれが強みです。経大の学生の語学力は測ったことはありませんが、ある会社の経営者から「お宅の大学では英語教育をされていないのですか」と聞かれた。入試では英語なしで入ってくる人もいたのでいたし方ないが、英語は中学から始めるので大学では特にしっかり続けて欲しい。

これからの就職は語学力だ

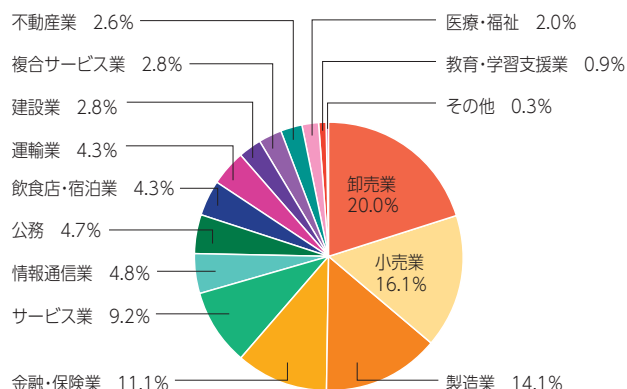
—とにかく「英語」ですか

勝田 東京の日本外国語学校を見た時、教室はどこも満杯です。生徒さんの就職状況を聞くと、航空機の客室乗務員な

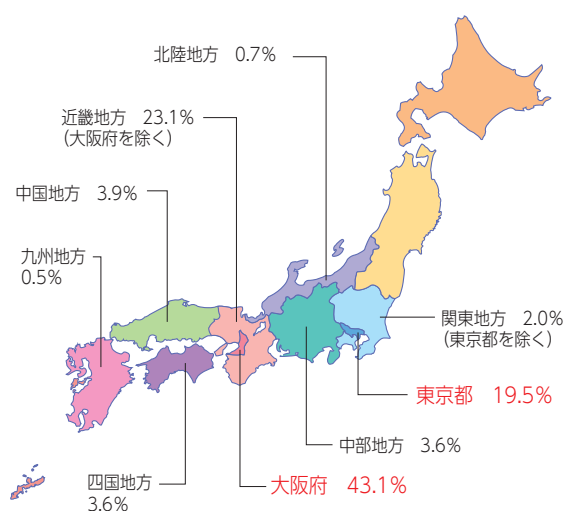


■就職データ

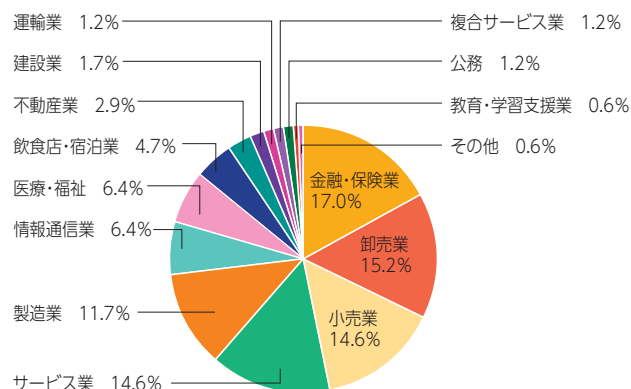
■業種別就職状況(全体)



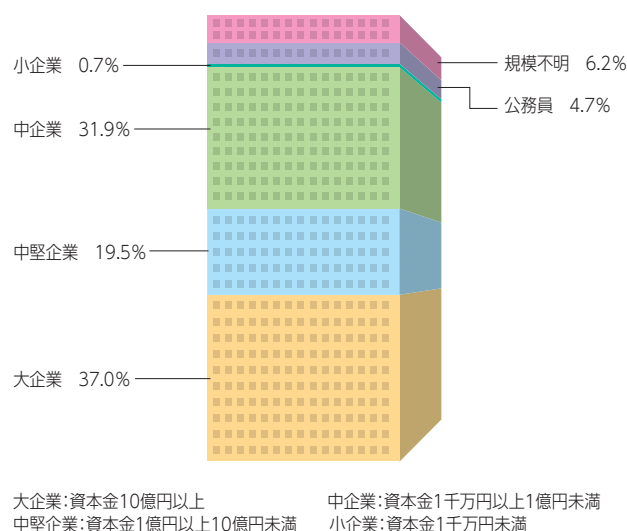
■本社所在地別就職状況



■業種別就職状況(女子)



■規模別就職状況



どの限定科目は人気が高い。彼女らは2年間みっちり勉強し改めて大学に面接と試験を受け3年生に編入する。語学力に加え専門知識を学ぶので就職は非常に強い。ここですよ、ポイントは。経大は経済・経営の大学という歴史があり、それは評価されている。ここに語学力をつけることです。

お隣、中国との交易や交流が日常的になります。最低英語は当たり前になります。だからこそ経大を出た学生は英語が出来るという実力をつけさせたい。

—そのための何か打つ手はありますか

勝田 昨春、関西外国語大学の理事長と会いました。こことは6年前から提携し交換学生や単位交換もしている。しかし外大からは52名、経大からは25名の交換で終わっている。なぜか。それは両校が遠いという理由だった。ならば経大には北浜キャンパスがある、ここを使えばどうか。続けるという発想がない。もう一度やり直しですね。

藤原 実際企業の人事担当者と話していると、英語の期待度は非常に強いですね。

—学生を含め教授、職員に何を望まれますか

勝田 就職は4年間の集大成です。今の経大生は何が弱い

のか。それは私たち自身の問題でもあります。実学教育の経大とかも大事でしょうが、世の中に役立つスキルをもって欲しい。就職という出口が小さくなれば、入口も次第に小さくなります。誤解を恐れずにいいますと、仕入は高校生、品質を磨くのは教学、販売は支援センターです。即ち1、2年生の春学期は教学で学生を鍛えてもらう、ゼミでは先生との人間関係を深め、4年間、語学教育を続けインターンシップの強化で内定率を上げる。これを全学あげて取り組むのです。

—同窓会に一言を

勝田 大学に厳しい意見も出るが、何か一つオレが役立ってやろう、という温かい目で見たい。近年は就職にもこれまでなかった協力的な動きも感じます。そして80周年。こちらでもよろしくお願いします。

藤原 就職に関して、同窓会が主催して1月ごろ卒業生が大学にこられ、就職希望者とのミーティングなどできないだろうか。とにかく採用に関する具体的な情報があればお知らせください。今こそ先輩のご支援が欲しいところです。

—長時間ありがとうございました

“就職したい会社の情報は聞いてください”

就職希望者へシニアアドバイザー(SA)がフル稼働

就職希望の学生に役立つ情報を知らせ1人でも早く内定を採らせたい、という目的で、銀行をリタイアされた企業分析や実務の経験のある3名が、昨年の6月から進路支援センターで日々学生を指導されている。成果は徐々に上がってきており、今年もこの制度は継続する。メンバーの一人、川崎^{まさお}凱夫さんに業務の一端を伺ってみた。(敬称略) (聞き手=編集委員・平田義行)



川崎凱夫さん

—SAの役割は

川崎 大手企業の新卒採用が冷えるなか、中堅・中小企業からの求人は非常に多くきています。それらの企業の財務データや情報から学

生さんに安心して推薦できる企業、要注意の企業などをセレクトし、相談にくる学生さんにキメ細かく説明しています。

—具体的な指導としては

川崎 2011年3月の大卒求人倍率は平均では1.28倍ですが、細分すれば、従業員が300人未満で4.41倍、999人未満では1.00倍です。中堅・中小企業のデータを分析すればいい会社がたくさんあります。寄せられた求人企業を業種、職種、勤務地域別等に分け学生さんが見やすいデータを作成しています。その上で一日も早く動くことを勧めています。

—進路支援センター内にSAという機能をワンクッション入れることで成果は上がりますか

川崎 最近の学生さんは、ネットに頼り、就職活動をどうすればいいのかわからない、どこに相談したらいいのかわからない、結果として活動はしているがなかなか内定を得ることが出来ないという傾向が強いと思います。これを打開するため、昨年の7月頃から採用の内定が取れていなく、2ヶ月以上もセンターに顔を出さない学生さんに手分けして電話をかけ状況を聞き、センターへ来るように勧めています。学生さんに効率的な活動を促し、我々が積極的に後押しをするということをしています。また、9月末からは、3回生に対するゼミ別ガイダン

スも担当し支援センターの積極的利用を呼びかけました。

—内定が取れていないというのはセンターで把握できるのですか

川崎 学生さんが内定すればKVC(経大バーチャルキャンパス)にインプットします。この集計がその都度発表しています「内定率」です。

—経大生の印象はどうですか

川崎 一言でいえば「真面目」ですが、「報告・連絡・相談」というコミュニケーション力が足りないですね。

—平成23年も厳しい状況は続くと思われますが妙案はありますか

川崎 4回生には、今でも求人情報が寄せられていますがいかに活用するかです。平成23年の対象は3回生です。3回生には、昨年の10月から就活が始まりましたが、できるだけ個別面談で希望を聞き、自分を売り込むパンフレットともいえる履歴書を早く作ることを勧めています。履歴書のチェックはセンター職員がするようにしています。そして早く動くことです。また求人情報はデータベース化し見やすく早く動けるように整備し、去年以上に学生さん一人ひとりに緻密なアプローチができ、就職の面倒見がよい経大の復活に全力で当たりたいと思います。

—ありがとうございました。期待しております



ていねいに応対・指導するシニアアドバイザー(右)

新学生会館に350人が集う 平成22年度 同窓会「大樟会」総会 80周年への序章、盛大に幕開け

平成22年度同窓会「大樟会」総会が秋晴れの11月3日、来賓を含め約350人という過去最高の出席者で、昨年9月29日竣工したばかりの新学生会館で開かれた。会場は2階の多目的ホールで午前11時、司会の小林真人常務理事の重厚な第1声で始まった。

佐藤武司同窓会長が「新しく出来ました学生会館、体育館で総会が開けることに感激し、深く感謝します。また今日は11月1日に就任されました徳永光俊新学長をお迎えしました。大学経営が厳しさを増す中、同窓会が軸となり大学、学生、地域の皆さんと『つながる力』を発揮していきたい。2018年には完全に少子化に入り、他大学との競争も激しくなります。オープンキャンパスは5,000人の高校生がこられたと聞き、母校の評価は高いと思います。4年生の就職は依然厳しく、今日お越しの皆さんの協力を1人でもお願いしたい。80周年記念事業を成功させるため皆さんのご協力を期待しています。今日はたくさんの方にお越しいただきました。この力で同窓会が一枚岩になり大学に協力して行きたいと思います」

勝田泰久理事長が「新学生会館で開かれ嬉しく思います。私からは2点お願いします。1つは80周年記念事業です。厳しい環境の中この事業をやりぬくのは大変意義があります。校地校舎は大学の存続のための建設です。学問の府へ清き浄財をお願いしたい。母校愛にあふれる皆さんのご協力を願っております。次に就職ですが、まだ決まっていない学生には絶対あきらめるな、と言っています。皆さんの一層のご支援をお願いします。新学長には教学の責任者とし

て多いに手腕を期待しています」

徳永光俊新学長は「経大発展のために、『愛と志のある教育の充実』を理念に大学で働くすべてのスタッフの協力による『現場からの視点』を重視します。教育の特徴として『ゼミ、マナー、就職、80年の経大』を軸に、『堅実で清新な学生』の育成を図ります。黒正巖博士の『道理貫天地』をキーワードに90年、100年の大学を展望しながら『経済・経営系の大学としてNO.1』を目指します」と力強くあいさつされた。

次いで入試、教学、学生、就職の各部長から現状報告と課題が示され、同窓生への理解と協力を求めた。また同窓会に長年協力を頂いた重森曉前学長をはじめ3人の支部長らに感謝状が贈られた。

記念講演は本学45回卒の大和リース(株)の森田俊作社長が「大和ハウスグループ及び大和リースの今後の成長戦略について」と題し、グローバルな観点から同社の21世紀のキーワードについて詳しくお話をされた。

式典後は新体育館の充実した設備を皆さんが自由に見学した。

懇親会は前和歌山支部長の宇藤博文さんの乾杯で始まり、約2時間和気あいあいの中、再会を喜ぶ仲間の輪が各テーブルを賑やかした。姫路支部の総会を兼ねた参加や、北大阪支部は当日の朝、設立総会を終えての参加。同期会もあちこちで開かれ、終盤一段と熱の入った学歌、逍遥歌の大合唱が会場に広がった。

80周年の幕開けにふさわしい同窓会総会であった。



総会出席者に歓迎マーチを演奏する吹奏楽総部の皆さん



はじめに学歌をグリークラブの指導で全員で斉唱



永年の労に感謝状を贈呈



新学生会館を埋めつくす参加者の皆さん



開会のあいさつを述べる佐藤武司同窓会長



勝田泰久理事長の祝辞



徳永光俊新学長が就任のあいさつ



心をひとつに“そ～れ” 鏡開き



大和リース(株)の森田俊作社長が記念講演



乾杯の発声をされる
前和歌山支部長の宇藤博文さん



いやー、久しぶりですね。一杯いしましょう



会場内、和やかな立食パーティ



同期の仲間やクラブの先輩、後輩



大阪経済大学同窓会万歳!! 来年も会いましょう

創立80周年記念事業募金を成功させよう!

2012年(平成24年)の創立80周年に向け、“Jump up!”(飛翔!)を合言葉に記念事業がスタートしました。この中で、とくに学園整備計画のうちの新図書館建設事業、学生のための学術・芸術・スポーツ振興基金の2事業を募金の対象事業としています。同窓生の皆さんのご協力をお願いします。



(完成イメージ図)



寄付金募集要項

- ◇募金目標額：80千万円(8億円)
- ◇募集期間：2010年9月30日～2013年3月31日まで
- ◇ご寄付金額
 - 個人：1口 5,000円(2口以上でお願いします。1口もしくは5,000円未満のご寄付もありたくお受けいたします。)
 - 法人：1口の金額は特に定めておりません。
- ◇免税措置：特定公益増進法人等の指定を受けておりますので、所得税等の免税の扱いが受けられます。
- ◇お申込方法：銀行振込もしくは郵便振替(手数料不要)
本学ホームページから、ネット(クレジットカード)決済等ができます。
- ◇寄付者の顕彰：募集期間中に20口10万円以上のご寄付をされた方(累積額)には、本学の事業を援助し発展に多大な貢献をしていただいたとして、「銘板(ネームプレート)」に、また、1口5,000円以上のご寄付をされた方(累積額)は、本学ホームページ上の「WEBご芳名帳」にご芳名のみを掲載させていただきます。

大阪経済大学創立80周年記念事業募金対象事業

1. 新図書館の建設

※G館の一部改修および東側への増築

床面積：約5,800㎡(現在より約1,700㎡増加)

蔵書可能冊数：約110万冊(現在より約50万冊増加)

座席数：約1,000席(現在より約400席増加)

2. 学術・芸術・スポーツ振興基金の創設

※学生個人やクラブ・団体の活動(課外活動、ゼミ、留学、ボランティア、高度資格取得など)を奨励し、設備等の充実を図ります。また、大学院生、研究所等の研究活動の充実を図ります。

お願い) 募金の使途について、2つの募金対象事業のどちらかに「○」をお書きください。
ご記入がない場合は、すべて「新図書館の建設」に充当します。

大阪経済大学同窓会員の皆様方へ

2011年1月吉日
大阪経済大学図書館

図書館からのお願い

大阪経済大学同窓会員の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、大阪経済大学は2012年に80周年を迎え、図書館も増改築され新しくなります。80周年を記念して、これまでの図書館の歩みを振り返るため、創立期から現在までの図書館の写真展示を考えております。つきましては、図書館の内外を写した写真をお持ちでしたら、ご提供をお願い致します。お忙しいとは存じますがよろしくお願い致します。提供先は下記までお願い致します。

記

依頼内容：大阪経済大学図書館の内外を写した写真(創立期から現在)
[ポジもしくはネガ] ※パネルにして展示致します。

締切：2011年6月30日迄

送付先：〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

大阪経済大学 図書館 大門

TEL(06)6328-2431(内線282) FAX(06)6329-9205

daimon@osaka-ue.ac.jp

JR大阪駅・各線梅田駅より徒歩7分

大阪市北区堂山町7-7 角庄ビル1F
tel: fax 06-6312-0529

org... オーガニックライフ オルグ

素材が持つ 自然のままの旨みを生かし
からだに優しく安全で 安心なものを 美味しく食べる楽しみ
自然を基調にしたアンティークな空間で
素敵なひとときを お過ごしください

Party Plan (税・サービス込/お1人様)

プチ・パーティー (2名様〜) ¥2500〜
貸切パーティー (50名様〜) ¥5250〜
フリードリンク付き
*各種パーティープランのご相談に応じます

大学関係のお客様はパーティー、ディナー10%OFF

HANAKURA
花くら

楽天 **楽天**
TCHIBI

<http://www.rakuten.co.jp/okomenohanakura>

美味しいお米をお届けします。

稲作に適した気候風土に恵まれた、岡山県北部の生産農家
よりの直納米。安心・安全の美味しいお米です。ご家庭用、
ご贈答用にどうぞ。また業務用も取り扱っております。

お米の花くら (株) エイチ ケイ商会 内藤靖史(34回卒)

〒719-3201 岡山県真庭市久世2827 ☎0120-580-102

税理士大樟会

税理士とは??

税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命としています。また、会計業務、決算業務、税務申告業務及び税務代理だけにとどまらず、中小零細企業が直面する様々な問題に対処すべく、日々研鑽を積んでいる実務家です。



会長 三木 泰(35期) (近畿税理士会岸和田支部)

税理士大樟会は平成3年に設立された大阪経済大学同窓会の職域支部です。また、大学同窓会の任意団体としてはトップで近畿税理士会の認定研修団体に認定されました。研修会の開催はもちろんのこと、会員同士の情報交換や親睦を図るための組織です。

時にはカタク、時にはヤワラカク、近畿税理士会の支部とは一味違った組織として活動しています。税理士資格をお持ちの同窓生の皆様はお気軽に、ぜひぜひご入会下さい!!

お問合せ先・ご入会連絡先

組織部長 平岡 彰信(41期) (近畿税理士会上京支部)
中野会計事務所 内
TEL: 075(431)4361 FAX: 075(431)4365
Mail: hiraoka@nakano-cpa.com

あらゆる生活シーンですべての方に
安心と安全を提供したい
 それが私たちエース警備のテーマです。



株式会社 エース警備保障

本社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町4丁目9-7 TEL 06-6481-0055 FAX 06-6481-0011

URL: <http://www.ace-guard.com> ISO 9001 認証

S55卒 河内 龍澈



大阪経済大学生協同組合 〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
 TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL:<http://OK.osakacoop/>
 e-mail Osakakeizaidai.Coop@ma4.seikyou.ne.jp



(<http://www.ait-jp.com>)

株式会社エーアイティー

代表取締役社長 矢倉 英一（昭和48年卒業）

東証マザーズ上場
 [証券コード：9381]

会社概要	事業内容	国際貨物輸送事業（海上輸送・航空輸送） / 通関業
	従業員数	連結342名 / 単体146名（2010年8月末現在）
	資本金	268,698,311円（2010年8月末現在）
	売上高	101億13百万円（2010年2月期連結）

■ 世界トップクラスを目指す国際フォワーダー ■

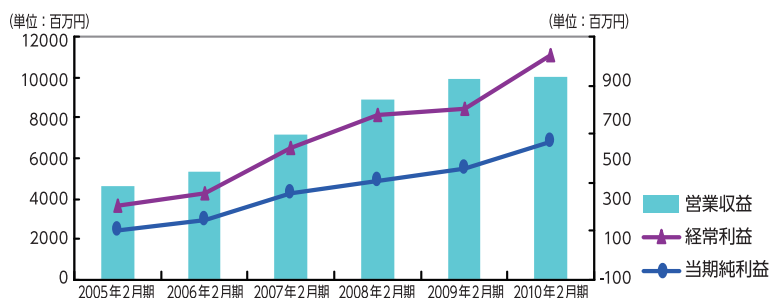
～日中間の貨物輸送に特徴～



- 充実したアジアのネットワーク
- 独自の付加価値物流
- 提案型営業体制
- 安全・安心・最速の国際輸送サービス



【売上高、営業利益、経常利益の推移】



お問合せ先

<大阪本社>
 大阪市中央区伏見町4丁目4番1号
 TEL：06-6205-2612(代表)

<東京支社>
 東京都港区芝5丁目33番7号
 TEL：03-5427-6510(代表)

○名古屋営業所 TEL：052-963-0260
 ○福岡営業所 TEL：092-433-7560
 ○海外オフィス：上海・大連・天津・青島・南通
 蘇州・寧波・廈門・深圳・広州
 香港・バンコク・ホーチミン

北海道支部

野の花とエソリスがお出迎え



東北海道の十勝、芽室町の国民宿舎「新嵐山荘」で、10月7～8日、宿泊を伴った支部総会を開催した。大学からは、佐々木事務局次長、同窓会は平田広報部長、札幌からワゴン車で6名便乗、唯一地元出身者初参加の高沢氏の総勢10名が、和気あいあい懇親を深めた。躍進する母校の現状や、活発に働く同窓生の様子を知り、学生時代を彷彿させるひと時であった。恒例の各自一年間の近況報告等、とりわけ配偶者の存在の大きさ、無くてはならない大切なパートナー、共に参加をという話しには好感を覚えた。会場を移しての宴会は、小生のマジックや童心にかえて『しゃぼん玉』や『大きな栗の木の下で』等を歌いながら全員が立ち上がって手や足、体を使ってリハビリ体操を楽しんだ。

支部長 池田正勝(34回)

福井支部

イベントを取り入れ参加者の増を図る



6月26日、大学から勝田泰久理事長、同窓会から佐藤武司会長をお迎えし、ホテルフジタ福井で支部総会を開催し、21年度収支決算の承認および22、23年度の役員を決定しました。

総会の後、本県出身の二胡奏者、野沢香苗さんのコンサートでは、会場全体がシンと静まり返り、総会出席者57人全員がたおやかな二胡の調べに聴き入りました。総会参加者の増加と支部の活性化を図るため、総会で演奏会などを開催するほか、地元新聞に総会開催の広告掲載や、役員が卒業生全員に電話で総会参加の呼び掛けを行なうなどの強化対策3年目を迎え、毎年数人づつですが若い人や新人が参加するようになっています。

また懇親会の冒頭、小浜市の井上万次郎氏から7月10日に内部組織として若狭部会を立ち上げる旨の報告がありました。懇親会は例年のとおり終始大いに盛り上がり、最後は全員が肩を組み、円陣になって畑秋義氏のリードによる学歌、逍遥歌で締め括りました。

支部長 石橋隆夫(32回)

東京支部

若い人の参加を呼びかける



今回、2010年9月に開催された東京支部同窓会に、初めて参加させて頂きました。普段お話をする機会のない、多分野でご活躍をされている大先輩方との貴重な時間は、自分にとって短くも大変充実した時間になり、多くの刺激を受けました。同世代の参加が非常に少ない事に関して少し残念でしたが、今後は自分を中心となり同世代の支部同窓会への参加と益々の奮起を促せればと思っております。大学のサークルで出会った同世代の仲間は現在も一番の理解者であり、大切な存在ですが、世代を超えた大阪経済大学の絆をより強い確固たるものにするためにも、継続参加する事に意味があると思いますので、次回の東京支部総会にも参加出来る事を楽しみにしております。

渡辺 涼(72回)

愛知支部

近況報告 & ビンゴゲームで盛り上がる



平成22年9月12日(日)愛知支部総会が、名古屋駅前のホテルアソシア名古屋ターミナルにて、開催されました。当日、本学経済学部長の小川雅弘教授をはじめ、同窓会より組織部長・神田博様(30回卒)、京都支部長・田中伸治様(45回卒)の来賓をお迎えしました。

総会は、鴨下順二副支部長(38回卒)の司会により、五十棲保彦支部長(32回卒)の開会の挨拶で始まり、小川教授・経済学部長より創立80周年を迎える大学の現状とこれからの計画についてお話を頂き、神田組織部長からは同窓会の状況を聞きました。

次に議事に移り、小松佳史会計幹事(53回卒)より会計報告があり、出席者一同の承認をいただきました。続いて懇親会に移り、翠忠明様(10回卒)の乾杯により宴は始まりしました。大先輩の翠忠明様の話の中で、総会出席者をもっと多く集めるように、ハッピーがかりました。我々の開催時には、40名、50名集めることができたとお話がありました。

各出席者の自己紹介、近況報告がありビンゴゲームなど行い、宴も盛り上がる中、閉会のことばとして、赤塚恒夫副支部長(31回卒)、最後は1本メで、名残り惜しいうち総会は、終わりました。

(追記)出席者の中で、矢井久義様(23回卒・岐阜支部のメンバー)と同窓会神田組織部長との間で、岐阜支部の活動再開及び愛知支部との合同総会開催などの提案がなされ、今後の検討課題となりました。

支部長 五十棲保彦(32回)

支部だより

静岡支部

これからも、がんばるぞ!!



8月29日、同窓会長佐藤様、大学からは門田教授の出席を頂き、平成22年度の総会を開催しました。昨年は総会開催予定日が、衆議院選挙と重なり、中止となり2年ぶりの総会となりました。毎年参加されている方々と会うことを楽しみにしていましたが、出席者が少なくちょっと淋しい総会となりました。しかしその分座談会形式で話しは盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

静岡支部が設立されて12年の月日がたちましたが、今一度初心に戻り、静岡県に在住する同窓生が一人でも多く出席できる会となるよう、皆んなで行動することで参加者の意見が一致しました。これからも頑張るぞ!

支部長 大塩博喜(40回)

富山支部

新支部長に小泉俊夫さん(30回卒)



富山県支部は7月10日(土) 15時より、富山市のANAクラウンプラザホテル富山にて総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることが出来ました。同窓会より佐藤武司会長と大学より高塚邦夫事務局長のご出席のもと、総勢23名の和やかな雰囲気学園の現状と将来についての報告を頂きました。

本年度の役員改選では、永年支部長を務めていただいた重松尚さん(23回)の体調が思わしくないため、小泉俊夫さん(左下顔写真)を推挙する声が多く、満場一致で新支部長が選任されました。

本年度の会場となったANAクラウンプラザホテル富山は、渡辺洋一郎さん(39回)が総支配人を務めるところで、当日は渡辺さんも出席されました。また、新しく橋本庄蔵さん(46回)も参加されました。

連絡事務を扱う者としても、仕事の都合で県内に転勤・赴任されたOBの皆さんにも出来るだけご参加いただきたいと思いますので、同窓会本部・各県支部にご連絡をいただきたいと思います。

これからも多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いします。

事務取扱 野田 満(48回)

京都支部

会場を埋め尽くした仲間に感謝



平成22年11月26日(金)に東華菜館にて、支部総会を開催致しました。今回は、南前支部長時代からの念願でありました50名を超える出席を頂き、大盛況となりました。来賓として理事長の勝田泰久様、教授・理事の北村寛様、同窓会長の佐藤武司様、愛知支部長の五十棲康彦様、北摂支部長の大門壽郎様、滋賀副支部長の橋本庫一様のご臨席を賜りました。出席者は13回卒から75回卒まで幅広い、中でも初参加の方が多いのが特徴でした。女性の出席者も8名もおられ華やかな会となりました。2年目の支部長として最高のプレゼントを頂き、皆様に厚く御礼申し上げます。次回は新しい目標の100人を目指して、役員一同努力致しますので、さらなるご協力の程宜しくお願い申し上げます。

支部長 田中伸治(45回)

大阪役所支部

勝田理事長がご出席



同窓会の皆様、ご無沙汰しております。大阪役所支部総会を平成22年3月17日、ヴィアール大阪において参加者8名、来賓3名、計11名で開催することができました。総会には、勝田泰久理事長にご出席いただき、大学の現状を詳しくご報告いただきました。また、同窓会からは、平田義行広報部長、廣野義直関連支援部長も来ていただきました。当支部は今回、参加者が少なく申し訳ない思いで一杯です。次回はもっと多くの支部会員に参加してもらうことを全員で決意しました。次回は今年の秋頃を予定しています。よろしく申し上げます。

支部長 南 正治(43回)

北大阪支部

40人が設立総会に参加「年会費」制を導入

吹田・茨木・摂津3市で「北大阪支部」誕生



母校に最も近い北大阪の中核の街、大阪府吹田・茨木・摂津の3市に在住・在勤する同窓生が、3市合同の「北大阪支部」を11月3日(水)、平成22年度の同窓会総会にあわせて設立した。全国で49番目の支部となる。3市にはこれまで支部が組織されておらず、地域で活躍する同窓生と連携を図りたい大学の意向が年々高まる中、地元密着の支部結成が同窓会としても急がれていた。

平成22年7月、3市の有志による準備会を開き合同の支部設立が合意された。支部入会者には帰属意識を共有するため年会費¥1,000の「会費制」にすることなどを決め、吹田市755人、茨木市598人、摂津市161人の計1,514人に呼びかけた。返信は「総会に参加する」が40人、「設立に賛同し入会を考える」が130人、「関心はない」が35人という結果だった。

11月3日朝10時、40人の出席者で同窓会から佐藤武司会長、大学から高塚邦夫理事・事務局長の来賓を迎え、発起人代表の平田義行氏(31回卒)がこれまでの経過と支部の会則、役員候補、事業計画の議案を提出。すべてが承認され「北大阪支部」が正式に発足した。

祝辞で佐藤会長は「大学に近い町に支部が出来て大変喜ばしい。これから大学・学生さんともキズナができ、父母の皆さんにも一層の安心感が生まれるでしょう。設立当時は会員も沢山集まるが、次第に減っていく傾向があります。お互い声を掛け合って支部を育ててください」

高塚局長は「私も茨木市に住んでおります。大学の状況は、3年後に80周年を迎えますが何かとご支援を頂きたい。地下鉄が開通し地下鉄利用の通学者は4割に達しています。北摂地域も他大学の参入で競合が始まります。少子化の中、大学と同窓会が一体にならないとやっていけません。ここに北大阪支部が出来ましたことを力強く思います」とあいさつされた。

記念撮影を終え、そのまま同窓会総会に参加したあと支部会員の交流を深めるため場所を変え、約30人の出席者で懇親会を開いた。懇親会に北河内(森川義一氏)、北摂(大門寿郎氏)、豊中(青木昭生氏)の近隣の支部長がこられ、祝辞をいただいた。さらに平成22年11月に新学長に就任された徳永光俊学長がお祝いにお越しになり、約20年後の大学100周年を展望した、若く爽やかで切れ身のあるスピーチに一同感激した。

支部では平成23年度卒業の対象者に入会の歓迎会を兼ねた総会を予定している。

支部長 平田義行(31回)

北摂支部

現役の参加で明るい総会に!!



平成22年2月13日に第4回北摂支部総会を高槻市民会館で開催致しました。

来賓として大学より重森学長先生、同窓会本部より平田広報部長、竹中事務次長及び京都支部の田中支部長の出席を賜り、さらに特別ゲストとして大学現役の4回生体育会田川本部長、水野副本部長をお招きして「部活」の現状をお話していただきました。

学長先生よりは今期の大学志願者の変遷と就職状況を拝聴致しましたが、他大学の志願者減少に比べて顕著に昨年対比を維持しており先生方のご努力が窺われます。反して後輩諸君の就職戦線は日本経済の低迷があるとはいえ、就職決定者は60%程度で極めて厳しい状況とのこと。後輩に少しでも就職の支援をお願いします。また、80周年のための委員会の発足と体育館等の新施設の9月完成のお話がありました。

平田広報部長より大樟会への名称変更と、8万人を超える同窓生の内、約4万5千人の組織の現状と80周年への問題提起がありました。

総会は29回卒日野氏を議長に選出して21年度活動実績、谷丸会計より決算の報告、22年度活動方針と予算の提案、役員の改選は副支部長山之内氏より新役員の提案があり異議なく決議され、30回卒横山氏と32回卒上原氏が新たに役員として信任されました。役員体制は総勢15名となり、より良い活動へ一歩前進しました。今期はさらに北摂支部経大塾の設置で少し修学しましょう。

現役体育会の田川、水野さんのお話は、現役らしく非常にまじめな話し振りで1年間の改革の実績とラグビー部の大麻問題で体育会800人の部員の全員集会で「薬物乱用防止の対策と取り組み」の報告があり、女性ながら、その事態への学生主体の早期対策と力強いリーダーシップに同窓生の皆さんは感動致しました。やや草食系にみられがちな現役の学生も骨太の力を養っており、大いに羽ばたき飛翔してほしいものです。田川、水野さんのお話で俄然新鮮で明るい総会となり、同窓生一同は世代を超えた大学の精神風土の継承を想い、お二人の3月卒業を祝し、将来の活躍に期待致します。

続く懇親会では和やかな懇親と語らいがあり、やはりこれが同窓生の抛りどころ、学歌と逍遙歌では体育の部らしく現役田川さんの演舞リード、水野さん及び28回卒栗崎氏のサポートで若々しく、声高く盛り上がりました。終盤は25回卒の村井、石田両氏の音頭で万歳三唱、氣勢をあげて、山之内氏の締めで恙無く懇親会を終えました。

来期も楽しい総会の開催へ!! 全員集合!!

支部長 大門寿郎(29回)

北河内支部

新支部長に森川義一氏(25回卒)を選出



平成22年5月23日(日)寝屋川市のがんど寝屋川店で、大学から中尾美喜夫副学長、同窓会本部から神田博、梶村貞男両常務理事、さらに大門壽郎北摂支部長をお招きし、第3回北河内支部総会を開催した。平成21年度事業報告、同会計決算報告を承認、任期満了に伴う役員改選で、有山支部長が顧問に、新支部長に森川義一氏(25回卒)、副支部長に志水利通氏(23回卒)、花岡任有氏(27回卒)、山本寿照氏(33回卒)を選出した。

森川新支部長から「当支部は枚方市をはじめ7市にまたがる広範囲な地域を対象に誕生したため、これがひとつにまとまるには、やる気のある執行部体制を構築する以外にない。今回誕生した執行部は、会員相互の親睦を一層高めるため各種イベントを積極的に展開し期待にこたえます。幸い今回の総会に出席した30名の内10名が初参加の方で、今後の展望に明るい期待を感じられました」と挨拶。

総会后、田中夏木四條畷市長(26回卒)の乾杯の音頭で懇親会に入り、それぞれに熱の籠った自己紹介に会場も大いに盛り上がり、学歌、逍遙歌を高らかに合唱し幕を閉じた。 支部長 森川義一(25回)

豊中支部

支部行事のお知らせ(平成22年10月～平成23年10月)

- 1、豊中・丹有支部親睦ゴルフコンペ
平成22年10月14日(木)
- 2、秋のハイキング 大阪のメインストリートコース
平成22年11月14日(日)
- 3、麻雀大会 麻雀店ボン
平成23年3月26日(土)
- 4、春のハイキング 安産の仏様とタカラジェンヌの町
平成23年4月10日(日)
- 5、豊中・丹有支部親睦ゴルフコンペ
平成23年5月18日(水)
- 6、カラオケ大会 アン・プルミエ
平成23年6月12日(日)
- 7、ボーリング大会 ボウル曽根
平成23年7月10日(日)
- 8、読書会 グリーンピア三木
平成23年9月11日(日)
- 9、第27回支部通常総会・懇親会 ホテルアイボリー
平成23年10月15日(土)

支部長 青木昭生(34回)

堺支部

“組織と親睦”で開催



平成22年11月14日(日)大阪ナンパホテル一栄で開催。学校より理事事務局 崎田洋一氏、同窓会副会長 田村正晴氏、社労士会長 久保太郎氏らが出席して頂きました。まず、校歌を斉唱し、次に堀本支部長より、今回も大阪市内で開催致しましたが参加者が少なく残念。堺支部は総会時には支部旗、国旗を揚し開いており、堺支部の卒業生は誇りにしても良いと思います。また、11月より新しく徳永学長が就任され(1)ゼミの経大(2)マナーの経大(3)就職の経大を今後の方針にするとあいさつされました。気になる点としてOBが学校訪問する際、マナーの悪さが問題になっている。学校訪問されても学生達に笑われないようマナーに気をつけるよう話があった。

来賓の崎田理事より大学の現状 新校舎の建設状況、さらに80周年の寄付のお願いと、田村副会長より同窓会の現状と80周年の募金の協力をお願いの説明があった。議事では事業報告、活動報告、監査報告があり全員拍手で承認。旅行会、ゴルフ、懇話会の各担当者の報告と来期の計画の説明があり総会が終了しました。

懇親会では社労士会長の久保太郎氏の乾杯で始まり、和気あいあいでカラオケあり宴も大いに盛り上がった。楽しく総会も終わりになるころ大口剛氏(34回)より逍遙歌を歌おうと言う発声で応援団?気分でした。 支部長 堀本修(24回)

阪神支部

75回卒の女性会員も出席



平成22年11月25日に大学本部より佐々木繁事務局次長、同窓会「大樟会」本部より常務理事・廣野義直氏(丹有支部長)、内海健一名誉教授らご臨席を賜り甲子園やっこ旅館において32名の参加者にて開催いたしました。

参加者の中には75回卒業の若き女性もこられ、和気藹々の中、盛大に行いました。最後には学歌及び逍遙歌を参加者全員で歌い散会しました。

事務局担当 北野信一郎(26回)

伊丹支部

地元の歴史・文化を知ろう！



「伊丹市みやのまえ文化の郷」では各施設で「伊丹市制70周年記念特別展」が開催されており、総会に合わせ地元の歴史・文化を知るため、まず、その展覧会を鑑賞しました。各施設の学芸員の説明、解説により深く理解をすることができました。「みやのまえ文化の郷」は日本三大俳諧コレクションの一つである「柿衛文庫」と「市立美術館」、「市立工芸センター」、「市立郷町館（国指定重要文化財の旧岡田家住宅（店舗・酒蔵）、兵庫県指定文化財の旧石橋家住宅）」、の4つの文化施設で構成しており、伊丹の歴史・文化を顕彰する文化施設となっております。

平成22年度支部総会は11月14日（日）、美術館の講座室をお借りし、特別展の鑑賞の後、経営情報学部宮武記章准教授と同窓会常務理事の廣野義直氏を来賓にお迎えし、17名の会員が出席しました。発足からこれまでの事業及び決算の報告とともに、平成23年度の事業として、①大学発展に寄与する活動、②地域の活性化に貢献する活動、③会員相互の親睦を深める活動の3点を基本に実施していくことと、収支予算が承認されました。また、これまでの役員に加え新たに7名の幹事が選任されました。引き続き、親睦会を近隣にある酒蔵を改造したレストラン「長寿蔵」で23名が参加し、行いました。参加者の近況報告と自己紹介が行われる中、和気藹々に歓談することが出来ました。

代表幹事 瀧内和之（35回）

神戸支部

実行委員会を立ち上げ、盛況を期す



平成22年度神戸支部総会は、9月26日（日）神戸・元町駅北側の「パレス神戸」において開催いたしました。総会には、大学から佐々木繁事務局長、同窓会から佐藤武司会長、梶村貞男常務理事並びに姫路支部から永井孝治副支部長にご出席いただきました。来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、同窓会の活動状況などの報告と今後の同窓会の在り方、そして同窓生の活躍情報等心温まるご挨拶をいただきまして、出席者59名で支部総会の幕が開かれました。

ここ1、2年、総会への出席者が減る傾向にありましたが、今年は実行委員会の呼びかけで、昨年より2割ほど増え、若干賑わいを戻せたか、

という感じがいたしました。また、初参加という方が10人おられ、その中で、14回卒業の大先輩である柴田悦子様と宇田久美子様から、戦中から戦後期にかけて、通学時に防空壕へ逃げ込んだことや、戦後、窓ガラスのなくなった校舎で、寒風の吹く中、再開した講義を受講した思い出など学生時代の貴重な経験をお話していただきました。一方、新卒者3人の出席があり、空手部出身の藤本君が空手の型を披露するなど、参加年齢層の幅の広さと充実、そして強い「大樟魂」を見た思いでした。中ほどで、プロのピアノ演奏を聴いていただき、その後、恒例の抽選会を今年はビンゴゲームで行い、盛り上がったところで予定の2時間半も、あっという間に過ぎ最後に逍遥歌を全員で斉唱して閉会いたしました。

神戸支部総会は、出席者の増、特に女性や新卒者にもたくさん出席していただくことを目標に、実行委員会を立ち上げ、開催日も日曜の昼に設定し、今回の総会に至りましたが、来年も多くの卒業生が参加してもらえるような同窓会にしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

支部長 下土井康晴（25回）

尼崎支部

今回もビンゴゲームで盛り上がる



尼崎支部は4月27日に尼崎商工会議所にて平成22年度の総会を開催しました。来賓に高橋由文前大学理事・事務局次長、佐藤武司同窓会長、竹中亨同窓会事務局次長、山本晴義元学長をお迎えして会員37名の参加をいただきました。総会では小谷支部長が挨拶、次いで来賓の高橋由文さん、佐藤武司さんより祝辞をいただきました。その後、会計報告のあと記念撮影を行い、懇親会を始めました。懇親会では毎年恒例となったビンゴゲームで盛り上がりました。楽しい時間は過ぎるのも早く、最後に万歳三唱と学歌を斉唱して閉会しました。来年も多数の参加をお願いすると共に、お知り合いの方へのお誘いと新規会員の登録の声掛けをお願い致します。

支部長 小谷芳男（24回）

「澁江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澁江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました「澁江」購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澁江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

支部だより

丹有支部

25人が出席 逍遙歌の熱唱に酔いしれる



本年度の丹有支部総会を6月13日、丹波篠山にて開催いたしました。本校からも勝田理事長、佐藤同窓会長にご参加頂き、総勢25名の出席となりました。あいにくの小雨の中、篠山歴史美術館の散策など、篠山の歴史にも触れ、その深さと幻想さを肌で感じました。その後の懇親会では当時のクラブ活動や仲間との思い出話に花が咲き、時間の経つのも忘れる程でした。最後の逍遙歌を歌っている時は皆、一時学生時代に戻っている自分に酔いしれていた事と思います。

来年は柏原にて総会を開催する予定です。多数のご参加、また元気な笑顔での再会を祈念致します。ありがとうございました！

事務局 藤林靖浩 (50回)

明石支部

盛り上がった2年に一度の再会



明石支部は平成22年度支部総会を9月11日(土)に西明石キャスルプラザにおいて、42名の参加者で盛大に開催しました。

佐藤武司支部長挨拶ののち、大学から勝田理事長、小谷教授、同窓会から竹中事務局次長、下垣常務理事、廣野関連支援部長をお迎えして、皆さまから現在の大学の状況、卒業生の就職状況等の報告を兼ねたご祝辞をいただきました。

22回卒の井上会員の春の叙勲御祝をしたのち、懇親会では、恒例のビンゴゲームをして楽しい時間を過ごしました。

最後に学歌・逍遙歌を全員で斉唱し盛会のうちに閉会しました。

その後場所を変えて、二次会のカラオケ大会を開きました。30名近くの方が参加し、24名が和気あいあいの雰囲気の中、自慢ののどを披露合って、あっという間の2時間半を過ごしました。

吉本明浩 (41回)

和歌山支部

決意も新たに発展に全力～新支部長就任～



平成22年2月11日、支部総会で支部長に選出されました新田和弘です。前任の宇藤博文さん(28回卒)は同窓会の役員をはじめ支部長として長年にわたり同窓会に貢献をされ、このたび相談役として支部を指導していただくことになりました。

当支部は先輩諸氏の活躍で、教育大樟会では17歳からのメッセージの応募や本学への進路指導に尽力してきました。さらに、県立高校の校長1名、教頭4名はじめ教員の方も多数活躍されています。毎年、大学のご協力で大樟教育研究会の会合も当地区で開催しております。

会員の交流・親睦として那賀地区ではゴルフ大会を年2回開いておりますが、このほど発足しました橋本・伊都地区の発起人はゴルフ大会のメンバーです。これから両地区の交流が一層進むと思います。

私は和歌山県議会議員を4期務め、同窓会の方には大変お世話になりました。3年前に引退しましたが、今回支部長に選出いただき、新たな決意で支部の発展と会員の交流・親睦に尽力します。支部会員のご意見をいただき、若い世代の方や女性の方の参加促進を図り、楽しい支部に取り組んでいきます。どうかよろしくお願いします。

支部長 新田和弘(32回)

支部内に「橋本・伊都地区」が誕生



和歌山支部では「橋本・伊都地区発足会」が支部総会に合わせて開かれ、正式に誕生いたしました。

橋本・伊都地区は和歌山支部「那賀地区に」次いで2番目となります。発足の経緯は、平成21年6月に西畑雅央(33回卒)、住友宏光(41回卒)さんのお二人から橋本・伊都地区を設立したいと提案があり、8回に及び準備会を経て設立されました。橋本市役所に勤務する山本芳弘(41回)、吉本孝久(47回卒)の両氏が事務局となって、同地区に在住する200名を超える卒業生に呼びかけ、120名の方から近況などの返事をいただきました。

当日は地区発足に29名が参加、来賓として勝田泰久理事長、佐藤武司同窓会長、佐々木繁理事をお迎えし支部からの参加者を含め50名が出席、盛大な総会となりました。懇親会では大学の理事長、理事、同窓会長と親しくお話ができ大学をより身近に感じることができました。参加者の中には47回～70回卒の50代より若い会員も11名参加され、これからの地区活動の大きな楽しみです。

橋本・伊都地区は溝畑莊悟(31回卒)を地区長に、今後会員の協力をいただき新田和弘支部長のもと大学、同窓会の発展と支部会員の親睦を目指し活動していきます。よろしくお願いします。

副地区長 森安欣吾(33回)

淡路島支部

盛大に「支部結成20周年記念総会」を開催！



支部結成20周年記念総会は10月2日、地元会員26名が出席。「アテーナ淡路」にて盛大に開催することができました。

3月に洲本市長に就任した竹内支部長より全参加者へ心より歓迎の挨拶。ご来賓の同窓会本部進木常務理事をはじめ、近隣の土井神戸支部長、高本但馬支部長より結成20周年のご祝辞を頂き、総会議事承認。この後、昨年に引き続きご来賓としてご出席頂いた経済学部・熊倉修一教授から『これからどうなる？ 日本と関西の経済』との演題で記念講演。グラフ資料を駆使して日本経済はデフレからの脱却が課題と語り、今後の関西経済や淡路の経済にも言及。時機を得た意義深い講演を拝聴しました。

親睦会では赤松副支部長が講師謝礼、李保但馬副支部長の乾杯ご発声で参加者相互が和やかに歓談のひとつき。恒例の学歌・逍遙歌を斉唱の後、小堀副支部長の音頭で万歳三唱。明年の再会を誓い合いました。次なる30周年を目指して、年に一度の総会・親睦会を卒業生の皆様と共に一人でも多くの参加者を増やしつつ、開催してまいりたいと思います！

事務局長 喜田憲康(40回)

奈良支部

平城遷都1300年祭に華添える集い



支部員27人に大学から佐々木繁事務局次長、平田義行同窓会広報部長をお招きし、11月7日(日)、奈良商工会議所ホールで支部総会を開いた。

この日の奈良は平城遷都1300年祭の最終イベントがあり、観光客らで大にぎわい。西本集一支部長が「何よりの喜びは皆さんの笑顔に出会えたことです」と挨拶。来賓の二人から大学の将来像や徳永新学長の「愛と志しのある教育」論など、就任時の挨拶が披露された。

山海のご馳走と美酒でほろ酔いになった後「ならドットFM」局の美人女性二人の案内で紅葉に染まる東大寺や奈良町(ならまち)を散策した。

最年少で初参加の東口弘幸さん(73回)は「先輩の話も聞けて勉強になりました。こんな楽しいとは。次回も必ず参加させていただきます」

例年、支部総会の企画をしているのは事務局の八田耕治さん(45回)。笑顔に加えてトツツとした話し方で、支部員らは「この人がいるから奈良はもっているようなもの」と感謝されていた。 山本長彦(32回)

岡山支部

20代から80代までが一堂に



毎年恒例になりました岡山支部総会が本部の先生方6名と同窓会本部の梶村貞男さんをお迎えして、7月3日(土)に開催致しました。同窓生は40数名余りと、毎年同じくらいの方が参加して頂きましたが、総会の中身は少しづつ若返っているように思えます。

総会は夕方5時より8時まで行いました。午前中の大雨も3時過ぎには晴れ間も見えてきて、定刻にはほとんどの方が揃いました。

梶村さんのご挨拶の中で、岡山は幅広い年代の方がご出席されている全国でも素晴らしい同窓会だとお褒めの言葉を頂きましたが、本当に20代から80近くまでの方が一堂に会し、和気藹々と学生時代にもどりの懐かしい青春時代に思いを馳せていたようです。

最後には、応援団長の方が壇上に上がり学歌と逍遙歌を全員で合唱してお開きにして、来年の再会をお約束して散会としました。

支部長 小野 隆(35回)

津山支部

久米仙人太鼓の演奏を楽しむ



8月28日、高松経営情報学部長様、同窓会小林常務理事・山口支部長様、岡山支部小野支部長様、塩尻副支部長様のご来賓を始め、多くの会員の参加を得て、総会を盛会裏に開催することができました。36期の岸本さん、40期安藤さんが支部設立後初参加をいただき、とてもうれしく感じました。

懇親会では37期国米さんの所属する久米仙人太鼓の演奏を楽しみながら、楽しいひと時を過ごすことができました。

また真庭地域での総会開催について21期徳岡、27期牧野両先輩にアドバイスを受け、具体的に検討することになり、開催の実現を目指して頑張ります。皆さんの参加で津山支部を盛り上げましょう。

支部長 竹本 巧(37回)

支部だより

姫路支部

初企画！ 支部総会を母校で開催



平成22年度支部総会は初企画として11月3日の「大樟会」総会への参加を兼ね母校で開き、35名が参加しました。はじめに林和信支部長から、昨年はゴルフコンペの開催や支部総会が大学で初めて開くことが出来たことへのお礼が述べられ、大学から佐々木繁理事、同窓会から竹中亨事務局長から歓迎の挨拶をいただきました。

支部総会後は「大樟会」総会に全員が出席。佐藤武司同窓会長、勝田泰久理事長から大学を取り巻く環境や80周年事業の取り組みと要請があり、さらに徳永光俊新学長から就任の挨拶と抱負が述べられました。続いて本学45回卒の大和リース(株)の森田俊作社長が「大和リースのイノベーション戦略」の記念講演があり、その後懇親会へと移りました。総会は300人を超える参加者で会場は満席の中、盛りだくさんのイベントがあり、我を忘れ楽しいひとときを過ごしました。参加者の中には卒業後初めて母校に来た方も多く、キャンパス全体が変わる中、昔の面影もあり懐かしく、現役学生さんの若いパワーと元気が胸一杯いただきました。大学周辺も大きく変わっていましたが、何十年ぶりに学生時代にタイムスリップした感激の支部総会の一日でした。

副支部長 上野隆裕(40回)

広島支部

プロ野球観戦を総会にセット



昨年完成した広島マツダスタジアムのパーティフロアにて総会を開催。会場はオープンスペースにテーブル、椅子が完備されたフロアで開始。球場は試合開始前の練習中で、音楽が流れ、挨拶等は静かに聞けませんでした。簡単に本部、学校からお話を聞き食事会に入り、15時から対阪神戦の応援(ご家族も参加)。皆さん、観戦しながら飲みながら交流を深めた1日となりました。阪神に負けた事が少々心残りでした。今回、スタジアム観戦をセットした事で、若いOBの参加があり、先輩から良い試みと褒められました。これからいろいろな“しかけ”を考え、活性化してゆきたいと思います。

支部長 陰山秀明(44回)

山口支部

地元の信用金庫にぜひ後輩を



山口支部総会は今年も山陽路随一の湯量を誇る湯田温泉で開催。秋季の土日開催は他のイベントと重複し、参加者の出席率が悪く、次回から要検討の余地。ただ明るい話題としては新しく3名の初参加があったことです。

当日は勝田理事長をはじめ同窓会から田村副会長、平田広報部長、近隣支部からは北九州支部の植田支部長、熊本支部の濱支部長も遠路駆けつけていただきました。

総会では勝田理事長の大学の現状をご説明いただき、参加者一同感激した次第です。参加者の中には全国展開している大型スーパーの店長や地元の信用金庫支店長などからは是非後輩を採用したいとの心強い申し出もあり、これぞまさしく大学と同窓生のつながる力がかいま見た有意義な同窓会となりました。今年度の山口県からの受験生は48名で合格者は11名。今後地方からの受験生を増やすために同窓会は大学と一体となって協力することを惜しみません。

支部長 小林真人(32回)

徳島支部

家族も参加できる催しを



1月23日、大学から佐々木事務局次長、同窓会本部から佐藤武司会長、齋貞文総務部長の三人をお迎えして、同窓生31名が集い21年度総会を開催しました。はじめに大学の状況、同窓会本部の活動などの近況等を聞かせていただき、続いて当支部の昨年度開催の事業報告、続いて新年度の事業計画等、提案しました。今年は昨年の反省から、会員の家族も含めて交流出来るようにと、2月に、近くの山間部の梅畑の花を眺めながらウオークとお弁当を楽しむ集い、夏は浜辺でお爺ちゃん、お婆ちゃん、お父さん、お母さん、子供さんが集まってバーベキュー、宝探し、スイカ割り等を楽しもうと計画をしております。同窓会参加者の高齢化が進む中、一人でも多くの若人に歩を進めてもらえるよう、頑張っ

事務局 山口勝敏(32回)

香川支部

支部結成60周年を祝う



香川支部総会は7月4日(日)ルポール讃岐において、同窓会本部より小林常務理事及び本学より崎田事務局次長ほか6名、支部会員を含め総勢32名のご出席のもとギター演奏等もあり盛大に開催されました。

今年は支部結成60周年(昭和25年に姫路に次ぐ全国2番目の支部結成)の佳節にあたり、これまで19年間支部の発展、躍進にご尽力され功績を残された岡野支部長より、バトンを受け私が6代目の新支部長に就任することになりました。

今後は親睦/互助/友愛の三指針のもと香川支部発展のため全力を尽くす所存ですので、ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

支部長 鈴木澄夫(36回)

高知支部

龍馬傳でにぎわう高知料理に大満足



10月2日(土)恒例となった高知新阪急ホテルにて高知支部総会を開催。雨天が予想されていましたが、今回初参加の方が5名ということもあり、集まりを祝うように秋晴れの夜になりました。出席者は、前年13名、今年25名(高知支部にとっては大人数)と約2倍の人数となり、久しぶりの大御客となりました。

大学からは北村實経営学部長、佐藤武司同窓会会長にご臨席いただき、初めに学部長、会長から大学あるいは大樟会の近況報告をいただきました。新阪急ホテルさんからは、今、龍馬傳で盛り上がる高知の“おもてなし料理”を存分に出していただきました。

最後は来年の30名出席への期待を込めて、大学学歌、佐藤会長のお勧めでもある逍遙歌を全員で合唱し散会となりました。

幹事 南 宏道(52回)

愛媛支部

つながる力に感銘



7月11日(日)道後やすらぎ荘において愛媛県支部総会が開催されました。私は在学生(準会員)として参加しましたため、会場に到着するまで緊張でいっぱいでしたが、入ってしまえばたくさんの方に声をかけて頂き充実した時間を過ごさせていただきました。

総会では、大学より宮武先生と竹中事務局次長さんから近況報告がありました。創立80周年記念の話題に移り、愛媛支部からも学校に寄付金をしようという事になりました。このように、たくさんの方のOBの方が学校の将来を考えられていることで、私たちが在学生が支えられてつながり続けられることに感銘を受けました。来年の総会にも参加できることを楽しみにしております

村上 龍(在学4回生)

北九州支部

3名の方が初参加



残暑厳しい中、2010年9月25日、大学来賓勝田理事長、同窓会本部小林常務理事をお迎えし、15名の出席で支部総会を開催しました。今回は3名の同窓生が初めて参加していただき、支部総会の参加人数が低迷する中感謝申し上げます。また、常時ご参加いただく同窓生の皆様のおかげで継続できておりますことも重ねて感謝申し上げます。

勝田理事長が精力的に各支部総会にご出席され、大学の将来ビジョンを語っておられると聞きました。北九州支部は母校から遠い距離というハンディはありますが、大学の発展を願って応援し、また卒業生であることをいつまでも誇れるようにと思います。北九州支部も微力ながら貢献できますようがんばります。

支部長 植田達三(52回)

熊本支部

肥後もっこす達の熱き夜



平成22年度支部総会を6月5日、八代ロイヤルホテルにて開催。来賓として、近隣より2名の支部長の参加を賜り、総勢19名にて楽しきひとときを過ごす事が出来ました。当支部の分母(会員数)は全国支部の中で下から2番目ですが、出席率、組織率、母校に対する熱き思いや活気などではNO.1ではないかと自負しております。若い卒回世代の出席が少ないという問題点は内包しておりますが、今後共支部会員の皆様とこの熱気を継続していきたいと思っております。また、来年度も元氣な顔をみて学歌逍遥歌を高吟しましょう。

支部長 瀧 忍(35回)

南九州支部

今回は鹿児島始発の新幹線で総会参加を計画



平成22年12月4日(土)鹿児島中央駅新幹線口の、寿庵にて同窓会より小林さん、大学より高松教授をはじめ、元客員教授の保岡興治元法務大臣、遠くは堺市に住む前田君や、伊伏名誉会長の参加で旧交を温めました。保岡元大臣からは、政界の現状などを拝聴いたしました。今年は奄美大島で水害があり奄美の方の出席がなく残念でした。また総会が忘年会などと重なり隔年参加の方もあり、全員で13名という小人数でしたが、今回は新幹線開通に伴い大学の総会に参加したらとの意見もありました。鹿児島始発で間に合えば日帰りで参加を計画しています。ご意見と大勢の参加をお待ちします。

尖閣問題で、沖縄が注目されましたが当支部が、エリアが最大の支部であることが、再認識された今年の総会でありました。

支部長 前園博隆(34回)

宮崎支部

遠方からや、久しぶりの方も出席



11月13日(土)、8回目となる支部総会を開催した。今年は全国的にニュースとなった「コロナ」の影響で、何ヶ月も移動制限等があったため、支部活動も停滞した中での案内であった。しかし、遠方から来た人や7～8年ぶりに出席された人もおり、賑やかに開催することが出来た。同窓会本部から佐藤会長、大学から門田教授のご臨席をいただき、同窓会および大学の近況報告や活動状況の話しに、距離的な面で情報が乏しい私達は熱心に拝聴した。懇親会では学生時代の大学周辺のことや生活状況が話題となり、さらに今後の生活設計まで話が広がり大いに盛り上がった。最後は会員のハーモニカ演奏で学歌、逍遥歌と続き様々な音程の中楽しい時間が終了した。

支部長 福田俊彦(32回)

日立大樟会

今回の25周年に向けて



2010年9月3日(金)、24年目になる日立大樟会をホテルモントレ大阪にて開催致しました。来賓として重森学長様 佐藤同窓会長様をお迎え致しました。

当日は大樟会員32名のうち16名の出席と過去最多の参加者となり、関西在住・在勤者はもちろんのことですが関西以外からの在住・在勤者も多数の出席がありました。

田中元会長(18回卒)から乾杯の後、一人ずつ近況報告を行いました。18回卒～70回卒と幅広い年齢層からなる本会の特徴でもありますが人生経験豊富な先輩の話題ほど笑いが絶えませんでした。時間を忘れてしまうほど大変楽しいひと時となりました。

今回は記念すべき25周年の節目の年でもある。来年の再開を約束して解散しました。

山下光太(65回)

大樟体育会

マナー向上運動をさらに進める

34の全クラスが加入



あいさつする下垣恒彦会長

第10回大樟体育会総会が6月19日(土)、同窓会ホールで開かれた。出席クラブは全34クラブ名中21、委任状9、欠席4クラブ。下垣恒彦会長が就任1年を経た中で「この1年間の経験から大樟体育会一体育会本部一大学学生部の流れをスムーズにすることがベストであり、問題を1クラブで解決しようとせず大樟体育会にご連絡いただいて、OB・大学と一緒に解決を図っていききたい。新体育館の完成に伴い、皆様のご協力をお願いすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。残り2年間がんばります」と述べた。

来賓の佐藤武司同窓会長が「大樟体育会も全クラブが参加されており、順調に成長されてきたと思います。大学は前会長の時代から増員要請をしています。各大学はセレクションが進み有望な選手は採っています。そうした状況を大学に言っておりますが現状は厳しい。一方、今年は「マナー」の問題をあげておられますが、体育会の学生のマナーといますか学内の立ち振る舞いを先輩がどう指導していくのか、やはり運動部は違うぞ、という目線を学校側に見せて欲しい。この会が早く同窓会から独立し学校から見てもこの会の生徒は違うなと思われるような、皆さんの心がけと指導を期待しています」とエールを贈った。

議事では、2009年度活動報告(2009年1月～2010年6月)と決算報告(2009年4月～2010年3月)があり、この中でクラブ、個人表彰の明細説明があり一括了承された。次いで2010年度活動方針及び新役員選出があり、新たに赤井貫治(硬式野球部)会計監事が副会長に、山本陵太郎(準硬式野球部)会員が幹事に古畑正幸(剣道部)が会計監事に選出されそれぞれ承認された。

次に成績優秀者特別表彰があり、全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権総合優勝の上村翔太選手(アイススケート部)と関西学生弓道選手権大会個人準優勝の田村依子選手(弓道部)が受賞した。

2010年度活動方針

1. 推薦入試70名の無試験入学継続要請と100名の増枠継続要請
2. 強化費の増額を要請
3. 学校(理事長、学長、入試委員長、学生委員長)との定期的打ち合わせを要請
4. マナー向上運動を実施
5. 各クラブの活動視察及び全クラブOBとの親睦会を実施

本部広報部長 平田義行

池田泉州銀行経友会

新入行員3名が参加

平成22年度経友会総会を5月18日(水)に伊丹シティホテルにおいて開催致しました。当日はOBの方7名を含め総勢約52名の参加となりました(会員数107名)。

午後7時より田中会長の開会の挨拶で始まり、経友会OBでかつ同窓会本部事務局の中村氏からの大学の近況報告、さらにOBの原氏による乾杯と続き、しばし歓談となり、恒例のビンゴ大会で盛り上がり、前年及び今年度の新入行員3名の紹介となりました。

最後はいつものグリークラブOBの里谷氏を中心に学歌、逍遙歌を全員で歌い、最後は室井氏の一本締めで閉会となりました。

幹事：田中(堂島支店・59回)、米原(仁川支店・59回)、森田(京都支店・59回)

春秋会

徳永新学長が出席

春秋会西部地区総会



春秋会は東部、西部と分かれて組織されており現在会員約50名。22年度は東部の会が3月10日、西部の会は6月15日、11月25日の2回開催された。この会の会員資格は原則として上場会社の常務以上、非上場でも大企業の社長専となっている。現在も会員は増加しており、母校との「つながる力」のパイプ役として「就職の大経大」の強力な援軍に、との目的で動いている。

11月25日は、田中会長(四條畷市長)の開会の挨拶に続き、勝田理事長と、11月1日に就任された徳永新学長の大学の現状及び今後の大学のあり方についての話があった。新学長は、100周年に向け「経済・経営系の大学としてNO.1の大学になる」努力をしていきたい。就職も苦戦しているが、進路支援センターにベテラン職員を3名増員し、出口の強化を図っていると説明があった。会員からは会社の現状についての話があり、「タカショウ」、「大和リース」の社長から会の中に若手経営者のグループを作り、若手の育成をはかるべきだとの提案があり、推進していく事となった。

会は藤縄日興商会社長の閉会の挨拶でおひらきとなった。

事務局 志水利通(23回)

税理士大樟会

今年は創立20周年の節目



税理士大樟会(会長=三木泰先生)の第19回定期総会が、平成22年7月22日(木)、心斎橋ハートンホテルにおいて開かれ42人が出席しました。

この定期総会に先立ち、税理士・山本武先生による「国際課税について―非居住者・外国法人課税及び外税控除を中心に―」をテーマに研修会が行われ、昨年度改正された外国税額控除について、法人税別表の記載の仕方を中心に、具体的かつわかりやすく解説されました。

研修会後、定期総会が開催され、来賓として重森暁学長、佐藤武司同窓会長はじめ多くのご来賓のご臨席を賜りました。長谷川元会長の議長のもと議事もスムーズに進行し、第1号議案「平成21年度事業報告及び収支計算書の承認」の件、第2号議案「平成22年度事業計画案及び収支予算案」の件、第3号議案「役員改選の件」についての審議が行われ、すべて満場一致で承認可決されました。第3号議案の承認により、会長には三木泰先生が、副会長には檀垣典仁(総務担当)、倉田収(研修担当)、市原孝志(組織担当)、植村祐三(広報担当)、堀田治(厚生担当)の各先生方が就任されました。その後懇親会を催し、渡邊泉前学長が乾杯の挨拶をされ、会員相互の親睦が深められたうえ、阿波踊りなどの催し物もあり大盛況でした。

税理士大樟会は、平成3年7月20日の創立総会から19年が経過し、次年度は創立20周年を迎えます。「会員相互の研鑽と親睦を図り、母校の発展に寄与すること」を目的として創立された税理士大樟会をよろしく願い申し上げます。現在、税理士大樟会は会員114名です。引き続き会員の募集を行っております。税理士資格をお持ちの同窓生の皆様はお気軽に、ぜひぜひご入会下さい!!

お問合せ先・ご入会連絡先

組織部長・平岡彰信(中野会計事務所内)

TEL:075(431)4361 FAX:075(431)4365

Mail:hiraoka@nakano-cpa.com

社労士大樟会

感動をよんだ記念講演会



社労士大樟会の第3回定期総会・講演会が7月17日(土)、勝田泰久理事長、佐藤武司同窓会長ら来賓を含め25名が出席し大学で開かれた。久保太郎会長は「設立3年が経ち当会も一歩踏み出した。卒業生の中には社労士の方がまだまだおられるが、会員は着実に増えており50～100人規模の会を目指したい。社労士は個人的に思いますに不況に強く、日々多忙だ。最近は飲食業や理美容経営者からのニーズが高く、各地域から問い合わせがくる。小規模経営から統廃合が進み、社員教育の面の相談が多い。こうした有意義な情報を皆さんに提供し、もっともって会が盛り上げるよう研鑽したい」とあいさつした。

議事は、平成21年度事業報告・収支決算および監査報告、役員改選、平成22年度事業計画・収支予算が提案され全員一致ですべて承認された。また、新入会員4名が紹介された。平成22年度事業計画として①総会、理事会の開催 ②新規会員の加入推進 ③研修会、親睦会の実施 ④新企画として施設見学会の実施などが承認された。

記念講演会は大阪経済大学69回卒で王将フードサービス空港線豊中店長の池田勇氣さん。空港線豊中店は同社362店で最大の店舗で、29歳になったばかりの2009年11月、力量を買われ抜擢された。

高校、大学とアルバイトしていた王将でめぐり合った店長に、自分もこんな店長になりたい一心で、王将に入社。社員から信頼される店長になろうと、まっすぐ走ってきた10年を振り返り、店とともに歩むこれからの生き方を原稿なしで1時間、講演された。来賓の勝田理事長は「若く、いろんなことを考えている内容のあるお話だった。母校の卒業生としてPRをしたいですね」と感想を述べた。また、現役学生も10名が熱心に聴講した。

本部広報部長 平田義行

三嶋不動産鑑定事務所 (旧 但馬不動産鑑定事務所)

土地・建物の鑑定評価

不動産鑑定士 三嶋 達男



『京都北部・但馬・兵庫丹波・近畿一円』

福知山市和久市町 265 番 200 号

TEL/FAX: 0773-24-2754

E-mail: mishima_kanteishi@yahoo.co.jp

(連絡) 鳥取県～湯梨浜町はわい温泉 30-7

大樟教育研究会総会

現役教師に教師を目指す学生の質問が殺到

100名超が参加



2010年11月20日(土)、第10回大樟教育研究会が本学にて開催された。教育に携わっておられる卒業生60名と、徳永学長以下大学関係者、さらに将来教師を目指す現役学生42名が参加し、発足10年目というひとつの節目を飾るにふさわしい盛大な研究会となった。

総会に先立ち、佐藤武司同窓会長からのご挨拶を齋貞文総務部長から頂き、大樟教育研究会眞鍋一美会長(愛媛県立西条高等学校)からは「例年総会は7月開催であるが、今年度は、大学創立80周年記念事業の一環である新学舎の完成と、新学長誕生の期待に合わせ11月開催としたこと、また発足10年目を迎え、学生と卒業生の意見交換会など趣向を変えた記念大会として開催すること」の研究会趣旨が説明された。

○全体講演会 経大の歴史と黒正蔵の学問 徳永光俊学長
講演に先立ち、出席者全員で学歌斉唱。ビデオを交えて「黒正蔵の学問」を中心に、これまでの経大の歴史についてご講演頂き、加えて学長就任にあたっての「今後の経大改革」「大樟教育研究会との連携及び教職課程充実への取り組み」について展望を力説された。特に、本年度より大樟教育研究会と連携実施している教員採用試験対策において、学生が大変お世話になっていることへのお礼と、今後も大樟教育研究会と連携・協力を図っていききたい旨を強調された。

○教職希望学生との意見交換会

大樟教育研究会かねてからの希望であった現役学生との意見交換が初めて実現した。

まず、後輩へのアドバイスとして徳永ゼミOBの澁谷裕子先生(岐阜県立羽島北高等学校)、山田哲司先生(愛媛県立大洲高等学校)、島野良太先生(吹田市立千里新田小学校)より講話を頂いた。なぜ教員を志望したのか、いかに教員採用試験に挑んでいったかなど、自らのエピソードを交えた説得力あるアドバイスに学生達は真剣に耳を傾けていた。

意見交換の場では、学生40名が学年別4グループに分かれ、現状抱えている不安や悩みを卒業生に対しダイレクトに質問した。「他の就職を考えることなく、教職一本に絞って大丈夫だろうか」「受験の際、複数府県を受験すべきかどうか」「教師になる前となつてからのギャップ」など教員採用への切実なる質問から教育現場の実情に関する内容まで、学生達からは卒業生だからこそできる本音の質問が相次ぎ、予定されていた時間をオーバーするほどの大盛況ぶりであった。

意見交換会終了後の懇親会においても、学生達からの質問は絶えることなく、和気あいあいのなかで、卒業生と学生の輪が各テーブルを賑やかにした。

最後は卒業生・大学関係者・学生全員で肩を組み、荒川剛先生(富山県立高岡商業高等学校)の発声のもと「学歌」と「逍遙歌」を大合唱し、来年の再会を誓いあった。

母校の発展を祈る卒業生の「想い」と大学・学生の「想い」がつながった第10回大樟教育研究会が終了した。

教務部 山田 武(74回)



同窓会ホームページもご覧ください！

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しております。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。休止していました掲示板が復活しましたのでご活用ください。ご活用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。



HPアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com>



今なお、荘厳な白馬連峰、五竜、鹿島槍が迎えてくれた

一山小屋50周年記念式典
大阪経済大学体育会山岳部OB会・経稜会



去る2010年9月19日、紅葉には少し早い長野県小谷村の白馬経大ヒュッテにて経稜会主催による記念式典が開催されました。この白馬ヒュッテは、昭和36年に山岳部員が資材約1万貫を50日かけて麓より運びあげ建設されたもので、標高1,900mの国立公園内に位置しています。

現在麓の梅池高原スキー場は、ゴンドラとロープウェイが動き、上部に位

置する梅池自然園には立派なホテルが建つなど山小屋を取り巻く景色はどんどん変化していますが、そこから見える白馬連峰、五竜、鹿島槍は相変わらず荘厳な姿を見せており、学生時代と変わらず我々を迎えてくれました。

元山岳部顧問故大槻弘先生ご夫人、ワンダーフォーゲル部OB会の来賓をはじめ、集い来たOB等40数名で式典はおこなわれました。第一部は、物故者黙祷ののち、昭和40年卒の古久保会長ならびに来賓のみなさまの挨拶で始まり、小谷村村長からのお祝いのお手紙が代読で披露されました。第二部では、当日最年長で山小屋建設の中心人物であった昭和37年卒清水氏の乾杯の音頭ではじまり、一人一人山小屋建設にかかわる思い出を交えた自己紹介が行われました。

宴もたけなわになると、昭和38年卒水本氏による詩吟を皮切りに、昭和38年卒

松岡氏ご夫人の民謡、昭和42年卒本田氏のオカリナの演奏など次々とこの日のために日ごろ鍛えた技が皆さんに披露されました。おかげで例年になく大いに盛り上がり、激しく杯が行き交い、何年ぶりの再会や初参加の顔も交えて話が弾みました。第二部の最後は、古久保会長のエールで学歌、部歌が合唱され経稜会と山小屋の今後ますますの発展を祈ってお開きとなりました。

さらに、その後も夜更けまで多くのOBが思い出を語り合い、山小屋の灯はいつまでも消えることはありませんでした。明けて20日は、あいにくの雨模様でしたが、霧にかすむ白馬連峰もまた若き日を思い出させ、効果抜群でした。変わらぬ景色を振り返りながら、それぞれつきぬ名残を惜しみつつ5年後の再開を約束して西と東に別れました。 藤原広太郎(54回)

春の陽をうけ5千人超が走る 大阪経済大学スポーツスペシャル ＜ABC万国博マラソン大会2010＞



太陽の塔を望みオープニングマーチを演奏する吹奏楽部の皆さん



スタートするランナー

「明るく楽しい健康づくり」をテーマに、大阪経済大学スポーツスペシャルとして毎年恒例の「ABC万国博マラソン大会2010」が3月14日(日)万博記念公園・東の広場(大阪府吹田市)で開かれた。

この日は4月下旬を思わずポカポカ陽気で暖かく、ランナーをはじめ応援するファミリーにとって最高のマラソン日和だった。

「万国博マラソン大会2010」は今年で33回目を数え、本学は2004年から特別協賛をしており、ランナーがコースごとに



入賞した陸上競技部の皆さん



「皆さん楽しんで走ってください」重森暁学長のあいさつ

色分けされたゼッケンの真ん中には「大阪経済大学」と書かれており、子どもから大人まで全員が「経大生」のよう。参加は小学1年生から一般成人まで足に自信のある人は誰でもできるとあって、今年はこのまでの最高の5,352人のランナーが新緑の公園内を走り抜けた。

開会式の祝辞で重森暁前学長は「大阪経済大学が特別協賛をして今年で7年目になります。大会の規模は年々盛んになってきており嬉しく思います。今日は最高のお天気に恵まれ、良かったです。以前は雪の舞う大会もありました。大学か

らは、学生・教職員の競技参加者が約80人参りました。参加者はファミリーから小学生から大学生・一般の方までと幅広く、いくつになっても参加できるこのマラソンが、輝かしい人生の一コマとなりますようお祈りします」とあいさつされた。

競技は20クラスに分けて行われ朝10時、男子小学生5・6年生の1.5kmコースから、山田文明学長補佐の号砲でスタートした。成年男子(15歳～39歳)10kmで、本学陸上部の5人が入賞した。優勝は宮永大亮さん(3回生)で31分32秒、「いいコンディションの中、楽しく走れました」と余裕のコメントでした。また5kmでは進路支援センター・インターンシップ課の前田和良さんが3年連続で優勝されました。

当日会場に来られた応援者は大学から、重森暁(学長)、山田文明(学長補佐)、高塚邦夫(事務局長)、佐々木繁(事務局次長)、高橋由文(事務局次長)、田中省己(学生部長)、福岡健一、大塚好晴のみなさん(敬称略)。同窓会から、田村正晴、中村敏啓、齋貞文、下垣恒彦、梶村貞男、竹中亨、平田義行、峯山隆。 本部広報部長 平田義行



60年の歴史と歩みに祝杯 準硬式野球部、創部60周年式典を 盛大に開く



開式のあいさつをされる総監督の牧田安夫さん



会場一杯に出席者の皆さん

昭和24年(1949年)に産声を上げた体育会「準硬式野球部」が創部60周年を迎え、1月23日(土)記念式典・懇親会が本館で盛大に開かれた。

式典には、準硬式野球部総監督の牧田安夫さん(28年卒)、現監督の稲田敏修さん(39年卒)、部長の山田文明准教授(大阪経済大学学長補佐)、OB会長

の土井史郎さん(54年卒)をはじめ現役部員約40名が出席。大学側から勝田泰久理事長、重森曉前学長、田中省己学生部長、同窓会から下垣恒彦大樟体育会会長(36回卒)ら関係者が出席した。

式典は宮崎英樹さん(60年卒)の司会で始まり、牧田総監督が準硬式野球部の産まれた歴史を開式のあいさつとしてスピーチされた。「準硬式野球部は単科大学のクラブでしたが、関東の大学とも常に堂々と戦い“関西に経大あり”とよく知られておりました。その伝統は今日でも受け継がれております」

来賓の勝田理事長が「牧田総監督のお話を聞き、創部の情熱が今も続いており、当部の歴史の長さを感じました。お話の通り、まずスポーツをやりながら他方しっかり勉強もして多くの友人を作ることが大学生の本分でしょう。今日を機に、汗を流しさらに強い部になることを願っております」。

重森前学長は「準硬式野球部は本学を代表する運動部です。牧田総監督の“社会人として成長していく役割を果たす”のお考えは、まさに本学が目指す『人

間的実学』の一側面であり、その意味で当部は大学とともに歩んできたといえます」とエールを贈られた。

これを受けOB会を代表して土井会長が“関西の雄”といわれるまで強くなった歴史を述べ、次いで稲田監督が「昨年は全国大会で敗れたが、今年は必ず昨年以上の成績を上げ、期待に応えたい」。選手を代表し西村大樹キャプテンが「全国大会に出場し勝つことを目指します」と決意を述べた。

式典の最後にOBを代表して山中良夫さん(昭和28年卒)が、ご自身、全日本学連の副会長や関西地区学連で会長の要職に就かれ、今日の隆盛を築いたエピソードも披露。現役の選手に「寒い時期での練習で最も怖いのはケガや故障です。十分自覚して臨んで欲しい。恵まれた環境の中で生活する者はそれに報いるだけの責任がある、と言われます」と後輩にさとされた。

式典のスピーチが終わり、同窓会大樟体育会の下垣会長が乾杯の発声を行い、懇親会は一気に盛り上がっていった。

本部広報部長 平田義行

伝統ある集りに誇りを持とう 16・18回同期会の集い

16・18回同期会



恒例の16・18回同期会を平成22年5月10日開催した。近年にない18名に及ぶ多数の参加を得、齢を忘れて談論風発、賑やかな2時間半であった。遠方からの参加、また在学当時、図書室(現・図書館)の職員だった石川菊さんが高齢にもかかわらず、元気で特別参加された。半面、この1年は多くの友を亡くしているのも特長であった。しかし、毎年残念に思うのは、開

催通知に対して全く返信のない、すなわち、(今年では約40名・33%)返信用ハガキを放置されていることである。毎年この数値は変わっていない。

16・18回同期会は本学の中でも数少ない伝統ある集りであることに誇りを持って毎年継続して開催している。諸君のご理解とご協力を得て持続力を強化したいものである。

酒井克己(16回)

25名が参加 23期生の集い

23期生会



毎年続けて、今回で26回目となる

23期生の集いです。今年は25名の同窓生と、大学より人間科学部長の門田教授、同窓会から齋総務部長をお迎えして2月21日に開催しました。久しぶりに皆さんの元気な姿を拝見して、楽しく過す事が出来て喜んでおります。

門田教授より大学の現況について色々お話を聞き、受験生や学生等に対して色々努力をされて、それが結果につながっている事が分かりました。懇親会では各自の現況報告を一人ずつ全員にしてもらい、皆さんそれぞれ健康づくりに励んでおられる事がよく分かりました。今回の会には都合で出席出来なかった人達の便りも見る事が出来て皆さん喜んでいました。

来年の2月には再び元気で出会い出来る事を心から願っております。

酒井弘光(23回)



今年も元気な顔が揃う 経大26会、20名が参加

経大26会



晴天に恵まれた平成22年5月16日(日)、第8回経大26会が会員20名、同窓会本部から平田義行広報部長のご出席をいただき開催されました。開催の場所がJRの尼崎駅のところが、阪神電車の尼崎駅とすっかり間違いをされた方があり、さぞ慌てられたことでしょう。今年も同じ場所で、5月15日(日)に実施いたします。

JR尼崎駅周辺に2年振りに来てみると、その変貌ぶりに驚きました。県立尼崎高校OBの松本孟氏は尼崎の中心がJRの尼崎駅周辺に移動しつつあるといわれます。工業地帯が歴史とともに、変貌していくのです。

わが母校、大阪経済大学も新たなキャンパス構想に夢ふくらませて、2011年後半には完成します。これで、大隅の地は学舎で満杯となります。

各人の近況報告は各人の健康状態をありのまま報告されました。お互いに注意して来年も元気に顔を出していただきますように、お願いいたします。

学年理事は現在白井正幸氏、坂井田雄賢氏、高田修志氏の3名のところ、白井氏と小林正氏が交代することになりました。白井氏には本部同窓会の役員と学年理事を長年にわたりやっていただき、本当にご苦労さまでした。感謝を申し上げます。3人の方、同期の代表としてよろしくお願い申し上げます。

(追記)昭和35年3月の卒業生(26期生)462名、死亡者41名、宛先不明者196名、宛先判明者225名、ハガキを出した枚数100枚、返事が返ってきた枚数65枚、出席者20名

【第9回 経大26会のお知らせ】

場所：ホテル「ホップイン」アミング
(尼崎市潮江1-4-1 ☎06-6491-0603)

1階宴会場

交通：JR尼崎駅下車(徒歩2分)下車して駅から山側にホテルが見えます。

日時：平成23年5月15日(日)、午前11時半・受付開始、午前12時より宴会、午後2時より3時までカラオケ
会費：一人6,000円(飲み放題)

以上のとおり経大26会を開催しますのでゼミ、クラブ等のみなさんをお誘いのうえ、ご出席下さいます様ご案内申し上げます。

世話人 笠井二郎(26回)

☎06-6857-3866

「今日を機に、さらに元気で」 卒業50年を祝い

澱江27期会



昭和36年(1961年)卒業の方々の同期会「澱江27期会」が2月19日、ホテルモントレ大阪(大阪市北区)で開かれた。

今回は同期の皆さんが卒業されて50年、半世紀に及ぶ親交を脈々と続けておられ、古希を超えた今もお元気で愉快的仲間です。当日の出席の方は車野修三さん(泉南支部長)をはじめ松田英志、角本喜八郎、岸野光雄、幹事役の神代憲治の皆さんに当会の名誉顧問の岡本昌夫(大阪経済大学名誉教授)先生です。

少人数ながら再会を喜び、案内はがきの欠席者の近況を読みながら、それぞれの場で生活されている同期の方々への思い出に話が咲きました。角本喜八郎さんが「この年になって毎年決まって会えるということは、

大変嬉しい。生ある限りこの会を続け、会がある限り出席しよう」と最後にあいさつされ来年の再会を皆さん、約されました。次回は春たけなわの4月18日(金)、同ホテルで開かれます。

なお、昭和36年の卒回理事に、新たに松田英志、神代憲治、車野修三の皆さんが選ばれました。

本部広報部長 平田義行

活気にみちた「交流会」

証券研究部OB・OG会



平成22年11月27日、証券研究部OB・OG会を開催させていただきました。出席者はOB・OGの方々が8名、在校生36名を数え、OBの方と在校生との交流は、活気に満ちたものとなりました。また今回より「歓談」の時間を多く取ったため、近況報告や活動報告時にも先輩方や在校生が交流できるように立食しながら行いました。進行は式次第に基づいて行わせていただき、OB・OGの方に現幹部の活動報告、新役員の発表を行い、現部員の活動を無事報告できました。

私は今回の幹事と司会を務めさせていただき、またこのような場を借りてOB・OGの方々にこうして会の報告ができたことを嬉しく思っています。今回参加していただいた方々から「来て良かった。」「楽しい会だった。」「と言っていたことがなによりの労いに感じました。これらを糧に次回のOB・OG会もより良いものとしていきますのでこれからもどうぞよろしくお願いします。

副部長 森上博文(3回生)



現役と交流戦も

ハンドボール部オールOB会



ハンドボール部オールOBの同窓会を2009年11月28日にOB30名、現役28名総勢58名の参加で盛大に開催致しました。

第一部は体育館で現役学生を交え交流戦を実施、第二部は同窓会ホールにて懇親会を開催しました。

交流戦では現役学生(1年生～3年生)対新OB(4年生)+若手OBがスピード感のある白熱したプレーを見せ、2試合目はOB同士が2チームに分け対戦しました。OBの中には?十年ぶりにボールを握った方、自分ではジャンプをしていると勘違いしている方等、体に鞭を打ちハッスルしていました。随所に往年の華麗なプレイを見る事もでき楽しく過ごしました。

第2部は場所を同窓会ホールに移し懇親会を開催、児山OB会会長の開会の挨拶、福井教授(ハンドボール部監督)の乾杯の発声のもと始まりました。第一部の交流戦とは違いボールをコップに替えることで口もなめらかになり、現役時代の懐かしい話で盛り上がりました。最後は奥川(36回卒)さんが今後毎年このような行事が出来ればと、万歳で締めくくりお開きとなりました。今回のOBの同窓会はOB同士の親睦、また現役学生との交流と有意義な一日でした。

事務局長 森友通夫(38回)

酒量も減ったが、全員集合!

Ⅱ部軽音楽部OB会



総会の宴会では予約時間の2時間をオーバーし、3時間も話が咲きました。話し込んでいくほど現役時代の記憶が、うれしい事にハッキリとしてきました。

少し気になったのは、20代の時とちがい全員の酒量がかなり減った事で、歳月をシミジミと感じています…………。

当日の出席者は生島紮(世話人)、中家辰典、中辻良行、中山正明、室屋司、藤田泉の皆さんでした。

なお次回の世話人は中辻良行、中家辰典の両君が選ばれました。(連絡先)世話人 中辻良行

(☎0744-52-4044)

生島 紮(41回)

全国大会、今年も必ず出場する 総会に80名が参加

柔道部OB会



平成22年3月21日、同窓会ホールにおいて、平成22年総会を開催しました。

当日は吉田相談役(24回)を始め、埼玉県在住の井上直人先輩(25回)、卒業後初めて参加の神崎留男先輩(28回)などのご臨席を得て、総名80名の参加のもと、石橋事務局長の開会宣言と司会で始まりました。入江前部長先生、萩原先輩を始め物故者の冥福を祈り黙祷後、下垣会長挨拶のあと議事に入り、21年度会計報告、事業報告、会計監査報告を行い、いずれも出席者全員異議なく承認されました。引き続き22年度会計予算案、事業計画案の説明があり原案通りに承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、全役員留任で承認されました。

総会は無事終了し、続いてOBの親睦会及び現役卒業生と新入生の歓送会へと移りました。来賓に大橋部長先生、西岡弘師範及び同窓会から竹中事務局次長をお招きして始まりました。会長挨拶の後、来賓各位からご挨拶を賜り、井上先輩の乾杯のご発声で和やかな交流の輪が広がり、時の過ぎるのも忘れるほどでありました。

宴の中ばで、安田監督より卒業生、新入生の紹介があり、今年も全国大会にかならず出場するという心強い宣言が行われ、一同大拍手となりました。最後に神崎先輩の万歳三唱があり、学歌、逍遥歌、柔道部遠征歌を合唱して中田副会長の中締めで無事幕を閉じました。

会長 下垣恒彦(36回)

5月11日 昼飯前の船遊び

第26回寄多郎会



迷路のような葦の群生地を手漕ぎ舟がゆっくり進む、その葦の陰から野鳥の囀りが、新緑の桜並木から鶯が、かわいい声で迎えてくれる。葦は水



を浄化するが、この水郷めぐりは人の心を洗ってくれる、そんな80分であった。その昔時代劇やヤクザ映画で出現する風景は今も変わっていない。

前日の5月10日午後2時半近江八幡駅バス停に向かうと聞き覚えのある懐かしい談笑の声が聞こえる。終点の休暇村まで久しぶりに故郷に帰ったような賑やかな会話が温泉・宴会へと引き続き果てしない。6人の健脚、24～27期の先輩諸氏は翌日昼食散会後も来年5月の再会を誓い、「夕方まで時間はある」と言い残し八幡山ロープウェイへ急ぎ、今回当番幹事の最下級生28期の4人は居残り反省会を開く。岡田君の企画であったが急に体調が悪くなり、本人が参加出来なくなった事と常連の先輩数名が体調不良で欠席止む無しの報を受け、過去最少10名の参加であったことが残念でならない。ゆっくり養生し、ゆっくり体力を付けられる様祈ります。

もう26年続いた本会も全員が70歳以上と相成った今、吉田・上野両氏(24期)の尽力で、昭和商高以降中断していた柔道部を再現させた創設時の様子を少々理解する者として、毎日の猛練習、時には合宿、他校との交流試合等々、4年間もよく耐え続けたものと自分で納得している。恐らく1年毎に再会する参加者もまたその様に思っているに違いないのでしょう。

その最上級生(24期)へ幹事役を引き継ぐ節目に一言申し添えておきます。

平成22年度当番幹事

28期 辻谷・川添・神崎・高橋
高橋 理(28回)

創部60周年を2年後に控えて 空手道部1部昇格を目指す

空手道部OB会



平成22年度空手道部OB会総会が



4月25日(日)、OB20名、現役12名の出席のもと同窓会ホールで開かれた。

総会に先立ち、OBと現役の合同練習が行われ、練習に参加したOB諸氏の力感あふれる動きは現役時代に戻ったようで、形の指導も含め約2時間、皆さんいい汗を流されました。

総会は会計・活動報告の承認後、2012年に迎える大阪経済大学創立80周年に空手道部として協賛の内容、方法などについて討議しました。あわせて当部も2年後には創部60周年を迎えることで「空手道部創部60周年記念式典・祝賀会」を本学で開催することを目標に、臨時総会で開催を正式に決め、役員などの人選も進めることになります。

大学のキャンパス整備計画の第1陣で昨秋新体育館が竣工しましたが、これを機に当部も1部昇格を目指すことを現役、OB会で確認しました。

幹事長 與世田正雄(34回)

平成22年度経翔会 (ワングルOB会)総会の記

ワンダーフォーゲル部OB会



総会は6月5日～6日、雄琴温泉雄琴荘にて開催しました。今回の参加者は25名。5日14時30分現地に集合、15時より総会を開き21年度経翔会の活動報告、会計報告等約1時間のあと、自由

時間で入浴、付近の散策等で気分も一新、18時30分より懇親会、38年卒の塩本洋資氏の乾杯の音頭にて始まりしました。宴が進むにつれ現役の頃の話に興じ、カラオケでは現役時代、山で唄った懐かしい歌が次々と唄われ、最後は円陣を組み学歌でお開きとしました。

翌朝は7時起床、朝食後9時30分より比叡山へのワンデリングに出発。19名が坂本よりケーブルを利用、根本中堂等を巡り6.5kmを無事完走、八瀬ケーブルにて下山後出町柳にて解散致しました。

牧田征雄(31回)

秋山治信氏(37回卒)をOB会会長に選出 硬式庭球部OB会



5月30日(日)正午から本学江口グラウンド硬式庭球部部室において、平成22年度OB総会を開き、平成21年度会計並びに同22年度予算案を承認、つづいて任期満了に伴う役員の改選を行い、新会長に秋山治信氏(37回卒)副会長に田淵公孝氏(45回卒・監督兼務)山本恵一氏(49回卒・会計幹事兼務)をそれぞれ選任した。

挨拶に立った秋山新会長から「本学は2012年に創立80周年を迎えますが、わが硬式庭球部もその年に創部60周年を迎える伝統ある部です。今は5部に低迷しておりますが、私の現役時代は2部で活躍していた。今一度現役諸君に頑張ってもらくためにも、さらなるOB諸氏のご支援を切望します」と、現役支援を呼びかけられた。

総会後コートに出て現役部員と久しぶりのラケットの感触を楽しみ、午後5時から会場を本学50周年記念館7階の同窓会ホールに移し、新入部員歓迎会を行った。今年入部した7人の



元気いっぱい自己紹介の後、現役部員との懇親会に入り、テニス談議の輪が広まった。

森川義一(25回)

健康に気をつけ、あと15年は続けよう 重田会



重田ゼミ1期生にあたる第1回卒業生(33回卒)は毎年2月に青春を取り戻しています。平成22年は2月7日(日)に天王寺・阪口楼で14名が参加しました。

去年は、日本一広大な奈良県・十津川村を訪問し、笹の滝、玉置神社さらには世界遺産・大峰奥駈道や小辺路を訪ね、1,180メートル級の山々に広がる紅葉にも感動するゼミ旅行でした。

65才の年を忘れて、遠くは宮崎県や石川県等々から参加して頂き、在学中の思い出を肴に宴会は盛り上がりました。

重田先生も退職後は京都で過されており、毎回お元気な姿を見せていただいております。卒業回数に関係なく、先生の指導を受けられた方は誰でも気楽に参加してください。歓迎します。

今年も、全員が健康に気をつけて、あと15年間は継続しようとお互いに励まし合って散会しました。

幹事 乾 攻郎(33回)

渡邊泉先生の定年退職を記念

白水会



平成22年1月23日(土)午後2時より

大阪経済大学E館(50周年記念館)におきまして第5回白水会総会が開催されました。

白水会は、昨年3月をもって定年退職されました本学経営情報学部教授の渡邊泉先生のゼミ生と先生が顧問をされていた税理研究会の両者の合同の同窓会であり、2001年1月に結成され、隔年毎に開催、今回は先生の定年退職を記念して、先生の長年の教育・研究生活を振り返り、共に過ごした楽しかった思い出を語り合おうとの趣旨で開催されました。

1973年度(40回卒)卒業の溝内一弘さんの司会により開会が宣言され、同学年の市原孝志白水会会長の挨拶で始まりました。その後で68回卒の坂口達也さんより大学の近況報告が行われ、次いで、本日の総会のメインである渡邊先生のご講演「越し方を振り返って一経大での36年―」が行われました。以下、その要旨を記載いたします。

先生は、1964年に関西学院大学商学部に入學され、大学院時代に小島男佐夫先生のもとで会計の歴史研究を専攻されました。1974年4月、大学院博士課程修了後に本学に奉職され、泉谷勝美先生との出会いが待っており、先生からはイタリア簿記史に関して、また理論研究の重要性を高寺貞男先生(京大名誉教授：後に本学に赴任)から学ばれたそうです。1980年に、ロンドンでの会計史国際学会に始めて参加され、1983年には日経文化図書賞の候補となった処女作『損益会計史論』(森山書店)を出版されました。1986年から1年間イギリス留学を果たされ、1989年には経営学部長に就任、経営情報学部の母体となる新学科「経営情報学科」の申請の責任者として尽力なされました。1993年には会計史学会賞を受賞された『決算会計史論』(森山書店)によって商学博士の学位を授与され、2000年にはスペインで開催された会計史国際学

会での報告も無事に果たされました。2001年には本学学長に就任され、1年半にわたって毎週開催された70周年記念講演会では政界、経済界等の多くの人との出会いがあったとのことです。学長時代も朝の5時から9時まで毎日机に向かい、学長退任の2005年には『損益計算の進化』(森山書店)を上梓されました。その後、短期留学帰国後の2008年には、先生ご自身がヨーロッパ歴訪中に撮られた多くの写真を掲載した『歴史から学ぶ会計』(同文館出版)を上梓され、この度、無事に定年退職を迎えられました。先生の傍にはいつも由紀子夫人がおられました。先生ご夫妻の今後のご多幸を念じずにはられません。

15時過ぎから懇親会場へと移り、参加者の近況報告や渡邊先生ご夫妻を囲み和やかな懇談が行われました。先生は、本年4月以降も特任教授として教鞭をとられるとのこと。出席者は80名を超え、これが最後とされていた白水会の再会を誓い、学歌、逍遙歌を全員で斉唱し16時40分に盛会裡に閉宴となりました。

平岡彰信(41回)

マンドリンクラブOB OGの皆様へ

マンドリンクラブ



皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また同窓会活動におきましては何かとご協力とご尽力賜り誠にありがとうございます。さて、第45回定期演奏会が開催され、盛況のうちに無事終わりました事をご報告させていただきます。部員も55名と大所帯となり、20名の4回生が本当によく引ッ張ってくれてたと思います。また、ここ何十年練習の拠点として思



い出深い芸術会館の2階！ その建物も11月で姿を消しました。寂しいことではありますがこれも新しい時代の流れでしょう。また、当クラブは3年後創部50周年という大きな節目を迎えます。その節目を皆様と共に迎え、また新たな一步を現役と共に踏み出せたらと思っています。何かとお世話になることも出てくるとは思いますが何卒ご支援、ご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

会長 藤林靖浩(50回)

10回目の節目を迎えた 大樟教育研究会和歌山県支部の集い 母校の発展に一致団結



今回で10回目の節目を迎える「大樟教育研究会の和歌山県支部の集い」が昨年6月12日(土)第2富士ホテルで開催されました。当支部の新田和弘新支部長、前支部長の宇藤博文氏もこの会の発展のため、10回連続して参加していただいております。また、和歌山県内で同窓教員等として日々活躍されている十数名も、母校発展のためにお集まりいただき有意義な時間をすごしました。

この集会は70周年記念行事の一つ、「17歳からのメッセージ」に協力しようということで始まりました。県内の同窓教員の努力により毎年、和歌山県内からは多くのメッセージが大学に届けられています。和歌山県同窓教員のすごいパワーであると思われます。

本会には大学側から同窓生でもある齊藤入試部長や梅原広報課長の出席をいただき、大学の現状や入試状況、80周年に向けての大学の動きを説明していただきました。少子化の時代になり、大学と高等学校の連携の

必要性を痛感している同窓教員も多いことでしょう。また母校の教職課程の指導に対する協力や強い思いも話し合いました。母校の発展を思う気持ちはみんなひとつです。

2012年の大阪経済大学創立80周年を見据え、この会のますますの発展を祈っています。本年は、高等学校のみならず、小学校や中学校の同窓教員や県教育委員会の同窓教員も参加してもらいました。これからも同窓教員の情報交換の場、母校との議論のできる場として、この会に協力していきたいと考えています。

和歌山県の同窓教員の集まりは年1回、6月の第2土曜日です。2011年も参加のほどよろしくをお願いします。

木村清志(48回)

十三(ひとみ)会は元気です

ひとみ会



13回卒といえは83歳!! 驚くような年齢です。私達の青春は戦争一色で塗りつぶされ心に残る思い出等ありません。この頃、昭和高商が大阪女子専門学校に生まれ変わり希望に燃えて入学しました。校門を入った途端男子学生ばかりで戸惑う事もしばしばでしたが、多感な時代に男女共学生活を送って得た貴重な体験は今も心のどこかに生きている様に思います。卒後毎年続けられていたひとみ会は一旦60周年を期に打ち切った筈だったのに、元気な人々から会いたいとの声が高まり、それではゆっくり語り明かそうと一泊二日の旅を計画したところ、14名の参加となり、琵琶湖畔の夜は更けて行きました。翌日は長浜へ行き、別れは「元気でまた来年ね」という合言葉でした。

阿部淑子(13回)

14期生同期会—まだまだ元気です。 14期生



11月11日、14回同期会に22人が集まりました。場所は「梅田17番街・有馬」、卒業後60年以上経つのに出会うと記憶が昔にもどり、はなしは尽きません。足が少々弱った人も口は達者、アツという間に時間が過ぎます。

前回、「久野収コレクション」(佐高信偏・岩波現代文庫)が話題にのぼったので、久野先生のあつい主張の一部を簡単に柴田が紹介しました。私達が受けた講義はさっぱり解らなかったのに、文字で読むとかなり理解できました。大学80周年記念の募金も話しあわれ、今日を記念して少しですが、みんなで募金しました。

これからも続けようと来年の世話人も決まり、お互い元気をもらった1日でした。

柴田悦子(14回)

古希を迎えて

29回同期生会



11月3日快晴、同窓会総会終了後、同期生会は場所を移して近くの民芸居酒屋ひでよしで開かれた。今年は昨年参加した14人が欠席したが、初めての人も参加して始まった。返信ハガキの全体の3分の1は「体調を崩した」との報告である。古希ともなれ



ば致し方の無いことだが、とにかく早く元気を取り戻して顔を見せて欲しいものである。それに判明分より多い290名の住所が未だに不明である。

9回目ともなると知らない者同士も旧知の仲になる。質素だったが充実した学生生活の思い出話になると皆若者顔に戻る。卒業後の半世紀、各々歩んだ人生を語り合い親交を深めながら、水本喜久雄師範の詩吟に耳を傾ける。後半は当時応援団副団長だった大西昌年氏の学歌のエル、続いて親衛隊長だった永田雅生氏の逍遙歌の舞で締め括る。最後は幹事の国西良昌氏の「とにかく3人が出席するところまではこの会を続けよう」と宣言して散会となった。私は沢山の会に係わっているが、何故かこの会が一番肩が凝らない。リラックスできる集まりである。

同期の中尾俊之さんからメールを頂き、「あれから半世紀を経た今、個々のあらゆる事の結論が出ようとしている。まさしく大団円。人間の生き様はそのフィナーレを如何に演ずるかではないかと・・・」同感である。皆さんも残りの人生を同じような思いで日々を送っておられることでしょう。

三原健太郎(29回)

80周年、会から10万円を寄付

30期生



平成17年から毎年夏の一日に旧交を暖めてきたが、第6回目となる今年は新体育館見学を兼ねて11月3日の同窓会総会に併せて開催された。参加人員は17名で例年よりやや見劣りは

したものの、富山、徳島などの遠方から来られた方もあり有意義であった。特に初参加の中伏氏(旧姓宇於崎)はご夫婦での参加で感激した。総会終了後は上新庄駅で二次会となり、現況や学生時代の懐古談に花を咲かせた。

母校創立80周年を祝って過去5年間の余剰金から10万円を30期生会一同名で寄付する事を決議しました。来年はほとんどの同期生は70歳の古希を迎えます。元気な顔で多くの友の笑顔にお会いできることを楽しみにしております。ぜひ会いましょう。

神田 博(30回)

記念文集で近況を報告

32期同期会



32回生の集いは今回で2回目となりますが、この集いは他の同期会とは一味違った特徴があります。それは、同期の結束を強めるために近況を知らせる「記念文集」を発行したことです。母校を卒業して44年を数えますが、現役時代の心痛が災いしたのか退任後大病を患って見事立ち直られた母校元事務局長をはじめ、元読売新聞記者の現役時代の思い出、恩師の墓参りツアーの参加で山陰を旅した話、老いて益々盛んな生活を綴った随筆が約20編寄せられました。

11月3日、集まったのは、初参加の方を含めて約33名。中には大樟教育研究会長や各地の同窓会の支部長を勤める人たちも多く、他の同期の卒業生に比べて同窓会に対して貢献する人材が豊富だと自負しています。

同窓会総会后、会場を本館会議室に移し、近況報告などに時間をとり

ました。「同期生の中では自分が一番若いと思った」「定年後、四国遍路を始めた」「同期生で集まると、みんな健康状態の話ばかり」「定年後、初めて故郷に帰ったが、まるで浦島太郎状況だ」など、それぞれの思いを披露しました。

今後は出席者を増やし、ゴルフや囲碁など趣味を生かした喜びを分かち合う会合にしたいものです。

来年は、会場を母校ではなく、梅田辺りでの開催を願っています。

小林真人(32回)

16名が大阪・梅田に集まり、35期生会がスタート

35期生会



35期生会の発会をこの夏ごろから、高本但馬支部長、榎本徳島支部長、前京都支部長の南さん、税理士大樟会の三木会長と前会長の東さん、社労士大樟会の飯田事務局長、小野岡山支部長の諸氏と私も入り、準備を進めておりました。そして、2010年度同窓会総会終了後、夕方大阪・梅田で16名が集まり、少人数ではありましたが正式に発足いたしました。

卒業後40年、いまだ現役で仕事をされている方、悠々自適の人、それぞれの人生を語り合いました。初対面でも同期であったという共通の心魂で話も弾み、時間の経つのも忘れるぐらい一時を共有しました。実に楽しい時間でした。この会はこれからも年1回、開こうと思います。35期生の方、お友だちにも声をかけていただき、青春の日々を語りあおうではありませんか。ご参加をお待ちいたしております。

幹事 濱 忍(35回)



次回も大阪で再会しよう

園田ゼミ35期生会



卒業以来41年ぶり、当時の面影を残した、昭和の戦友達、西日本を主にがんばっている9名が参加、出征時は35名も連絡がとれたのに、今は約半数(?)となった。10月11日、秋晴れの梅田の地新阪急ホテル「グランド白楽天」に集合。あとは、飲んで、食って、昔話に花が咲き、おきまりのコース。長きに渡り、連絡をしてくれた門永久彦氏に敬意を表したい。

来年もう一度大阪の地で開催し、その後、出身地でそれぞれ開催したい。

塩尻康勝(35回)

九一会総会及び中村九一郎先生 十三回忌の集い

九一会(中村九一郎ゼミOB会)



私たちの恩師である中村九一郎先生が旅立たれてから早いもので13年が経ちました。そこで先生を追憶する、九一会総会及び十三回忌の集いを、平成22年10月23日(土)に京都駅中央口2階「ホテルグランヴィア京都」草子の間で午後1時30分から開催いたしました。

開催前にご遺影とともに、写真撮影を行い、九一会幹事の酒井先輩の献杯で始まり、参加者が一人一人、先生との思い出を語り、京料理に舌鼓をうちました。最後にご焼香を行い無事終了いたしました。参加者は先生の奥様も含めて、

16名を数えました。九一会は、この先生の十三回忌で残念ながら休会となりますが、皆様のお声がかかったときに、また「思い出会」として再開したいと心より思っております。

中村恵信(40回)

約30名が出席、 邦楽部第2回OB会開催

邦楽研究会



昨年の10月2日(土)午後5時より邦楽部第2回OB会総会および懇親会がE館同窓会ホールおよびB館カメルにて盛大に開催されました。

一昨年10月、創部45年にして邦楽部OB会が発足されたのですが、引き続きOB会が開催されたことは非常に喜ばしくOB会役員一同OB・OGのみなさんに心より感謝を申し上げます。初回の出席者は現役部員も含め40名弱で2回目は30名弱と少なくなりましたが、その分だけ懇親がはからわれた気がします。特に新規出席者6名にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

総会では平成21年度事業報告および決算報告さらに平成22年度事業計画案および予算案の報告があり満場一致にて採決されました。

OB会懇親会では恒例により住田OB会名誉会長と尾上OB会会長による尺八演奏があり、乾杯のあとOB・OG出席者全員による思い出や近況報告が和やかにありました。

現役幹部及び部員からは2010年11月29日(月)の第44回定期演奏会に会場依頼の案内が熱くありました。最後に学歌・逍遙歌を大合唱し第3回OB会での再会を約束し第2回OB会を閉会しました。二次会是有志で上新庄

駅近辺の居酒屋でさらに夜遅くまで語り盛り上がりました。

OB会会長 尾上眞己(36回)

今年の「野風草会」は10月30日

徳永ゼミ同窓会



21期となったゼミ全体の同窓会「野風草会」を一昨年より始め、昨年は2回目で45名の卒業生が集まってくれました。学長就任のお祝いもたくさん頂きました。ありがとうございます。現在2年生の34期生で、500名を越えます。うれしいですね。次回は、2011年10月30日(日)です。待ってるよ。この記事を見たら、toku@osaka-ue.ac.jpまで連絡して下さい。私の近況・心境は、経大HPで「学長からのメッセージ 野風草だより」を見てね。

徳永光俊

学生時代を振り返るひととき

川西市役所大樟会



本会は、兵庫県川西市役所に勤める職員と市議会議員、そしてリタイアされたOBの親睦会として、昭和48年にスタートしました。現在の会員数は現役が21人、OB会員が17人で、年々OB会員が増えています。年1回大学から先生をお迎えし、総会を開催しています。(宴会ですが)

大学にはいろんな学部ができていくことや、新1年生の獲得に奮闘されている様子をお聞きし、自分たちの学生時代を思いだし、酒を酌み交わし

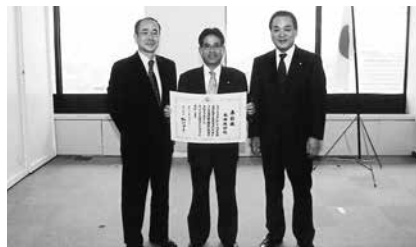
ております。最後は、全員で学歌と逍遙歌を声高らかに歌います。(小生は、楽しかったことやいろいろなことで悩んだ学生時代が走馬灯のように浮かび、いつも、この瞬間目が潤ってきます。)大きな行事はできませんが、仲間意識を持ってこの会を継続していきたいと思っています。

現役学生の皆さん、川西市役所にインターンシップに来てください。お待ちしておりますよ。

幹事 小倉 光(46回)

事務局長 飯田政信氏(35期)が 厚生労働大臣表彰を受ける

社労士大樟会



厚生労働省は2010年12月2日に平成22年度社会保険労務士制度功労者厚生労働大臣表彰を5名の社労士に授与し、永年にわたり厚生労働行政の推進・発展に顕著な功労のあったことを賞しました。

全国でも5名のこの大臣表彰を社労士大樟会 事務局長 飯田政信氏(35期)が受賞されました。(写真=中央)

飯田氏は大阪市で飯田労務事務所を経営され企業の健全な発展と働く人々の福祉の向上に専念してこられました。それとともに大阪府社会保険労務士会中央支部支部長・大阪府社会保険労務士会副会長・大阪府社会保険労務士政治連盟会長・全国社会保険労務士会連合会理事を歴任され労働・社会保険・年金問題等について幅広く提言を行い、政策・制度の充実に努めてこられました。

氏のこのような活動と精進が昨年の社会保険庁長官表彰に引き続き、今回の大臣表彰に結実しました。

「ゼミの経大」にふさわしく全学のゼミ大会を開催 学生が企画・運営を担当、OBも審査員として協力



熱心に発表が続く

4学部、21ゼミから35チームが参加

大樟祭が開かれた平成22年10月30日、本学B館で「第1回ゼミナール大会」が開催されました。この大会は、本学80周年記念事業の一環として実施されたもので、ゼミを履修する学生たちが自ら委員会を立ち上げ、企画・運営に携わった全学的なゼミの発表大会です。今回は初めてにも関わらず、4学部の21ゼミから35チームが参加しました。4ブロックに分かれて予選が行われ、各ブロックで最高得点を獲得した4チームが優秀ゼミとして決勝戦に進出。最終プレゼンテーションを行った結果、経済学部/服部ゼミチーム(経済学部3年)が最優秀賞を受賞しました。

またこの服部ゼミと徳永ゼミチームは、本学で平成22年12月12日(日)に実施された西日本インカレ(日経BPマーケティング主催)に本学代表として参加、他大学代表15チームと日頃の研鑽の成果を競い合いました。本学は教育の重点として「ゼミの経大」を掲げていますが、今後とも学生たちのゼミ活動を積極的に支援していくつもりです。

審査員の鋭い質問にたじろく

本大会の大きな特徴は、1つ目は本学教員以外に多くの実業界や教育の場で活躍されているOBの方々に審査をして頂いたこと、2つ目は学生自身が主体的に大会の企画から運営までを担ったことです。日ごろアルバイト等で社会の一端に触れているとはいえ、外部から来て下さった先輩たちの鋭い質問には、たじろぐ場面もしばしば見られました。しかし、これから就職活動を開始する学生らにとっては、良い準備運動になったはずですよ。

学生の真剣さが成果を生む

運営にあたった学生たちは、昨年の6月頃からどのようにすれば本大会が盛り上がるのかを何度もお互いに意見をぶつけあいながら、試行錯誤をしていました。それを身近で見ていた職員の私も、彼らに負けないようにしなければと何度も思われ、彼らの真剣さに学ぶところが非常に大きかったようです。私も職員の一人として、彼らのように熱い学生たちが部活動だけでなく、それ以外の学問の場でも能力を多に発揮できるよう、これからも精一杯サポートしていく所存です。OB・OGの皆さま、ぜひ次のゼミ大会をお楽しみに。よろしくお願い致します。

(教務課ゼミ大会担当職員

矢島克也)



受賞者の皆さん

おめでとうございます

旭日小授章 地域の福祉に献身

元山口県光市議会議長
山本 幸伸さん(28回)



昭和15年2月3日生まれ。光市出身70歳。昭和37年3月本学経済学部卒業。同年4月タツタ電線入社。39年9月家業の室積木材株式会社へ入社。昭和53年5月～平成12年5月まで光市議会議員。その間、平成10年3月～平成12年5月まで光市議会議長。各地で起こっている議員削減にいち早く着手、22名から18名へ削減を実現。

山本氏は、かねてからお年寄りを中心に安心して暮らせる福祉に力を入れるよう光市に要望をしてきたが、自身の信念を実現するべく引退後の平成14年からグループホームを開業。平成19年からは小規模多機能型居宅介護施設も経営。これまで光青年会議所理事長、光ライオンズクラブ会長を歴任。地元きっての知名氏である山本氏の受章祝賀会には河野自民党山口県連会長をはじめ、末岡市長、中本市議会議長、藤井光商工会議所会頭など多くの市民が集まった。

山本氏は、今回の自分へのご褒美として北海道の大雪山系へ登ったという。学生時代活躍したワングル魂は70歳を過ぎた今も健在だ。山本氏は、「これからも誠心誠意頑張り、恩返しをしたい」と受章の喜びを語る。

今年、山口県内で開催される山口国体の光市実行委員会副会長の要職も担当する。

瑞宝単光章 国鉄マンひと筋、40年

井上 利秋さん(22回)



井上利秋さんは1956年(昭和31年)、経済学部2部を卒業され、ゼミは木村武雄先生に学ばれた。

職歴は1945年(昭和20年)旧国鉄大阪鉄道管理局に入られ、兵庫県住吉駅の駅務員としてスタート、同県大久保駅の駅長も歴任され1985年(昭和60年)4月退職された。国鉄マンとして実に39年10ヶ月精勤され、今回の受賞に輝かれた。

旧国鉄時代の職場は大阪～姫路間、16箇所の駅で勤務され、貨物線の操車場で列車の仕分け業務なども長年従事された。勤務時代の最大の思い出は、合理化の波が押し寄せた激動の時代、昭和46年国鉄が民営化され「JR西日本」に分割されたことです、と語られる。

母校の今の姿を見て「年々世間の評判が高まっており、嬉しい限りです」とにっこりされた。

旭日単光章 40年間地域社会に貢献

野村 節夫さん(3回)



平成20年12月1日、高齢者叙勲として多年にわたり地方公共団体の監査委員としての功績が認められ、旭日単光章を授与いたしました。思いがけないありがたいことで、大変感激いたしました。歴史と輝の町、鹿児島県南薩摩市坊津に生をうけ、寅年生まれ96歳になりました。限りある人生、今も大切に余生を送っています。

ふりかえりますと、昭和12年母校の昭和商を卒業、商社マンとして上海にわたり、天津支店で会計を担当しておりました。昭和19年、先の大戦で現地召集され訓練を受け、中国大陸の作戦に出兵しました。終戦となり、昭和21年6月故郷の坊津に帰りました。

昭和31年から平成6年まで約40年間、集落公民館長と町の嘱託員、坊津町監査委員を6期24年間勤めました。昭和60年には鹿児島県監査委員協議会、平成9年は全国監査委員協議会、さらに自治大臣表彰を受けました。また、平成14年は大戦で国のため尽くした労苦に対し、時の小泉内閣より顕彰されました。

これらの功績も母校で教えを受けた賜であり、人生の財産として大切なものとなりました。ありがとうございました。後輩の皆さんの活躍を祈念します。

今年活躍が期待される体育会クラブの監督に聞く

同窓生にとって母校の活躍ぶりを耳にし、目にする時ほど心地よいものはない。とりわけ運動部の華々しい活躍が、新聞紙上で活字になったのを見た時、不思議と母校愛が目覚めてくる。ところが、かつて関西で上位校として名を連ねていたラグビーやサッカー部の低迷から「偏差値が多少上がったからと言ってうれしくない。マスコミで取り上げられるような運動部はないのか」といった声も聞かれる。そこでこうした声に応えるべく今年活躍が期待される二つの運動部の監督にその意気込みを聞いてみた。(聞き手=編集委員・森川義一)

鶴谷邦弘新監督の采配に期待 =陸上競技部=

【経歴】 昭和42年4月、日体大を卒業し母校の報徳学園高等学校の体育教諭として赴任、以来陸上競技部の顧問として43年間にわたり選手を鍛え、17回も兵庫県代表として都大路に選手を送り出し、史上初の3連覇を含む6度の優勝を成し遂げ、高校駅伝の名将として名を馳せた。平成22年3月、定年退職を機に本学陸上競技部監督に就任。



びわ湖大学駅伝1区区間賞

兵庫県内のライバル校、西脇工高とともに高校駅伝をリードしてきた名監督、鶴谷邦弘氏の大経大陸上競技部監督就任を聞いた時、「ほんとですか」と一瞬耳を疑った。「長い間務めてきた身体を休めるためにも、のんびりさせてもらおうと思っていたのですが、報徳時代の教え子でもある青木前監督、岡本陸上競技部OB会長の二人に口説かれ引き受けることになりました」。

「引き受けて思ったことですが、報徳と経大はよく似た環境にあるんですよ。あの報徳もグラウンドは野球やラグビーなど他の運動部と共有だし、選手に対する経済的な優遇策もない。経大も250メートルの草の生えたグラウンドがあるだけで、部員に対する優遇策は一切ない。そうでなくても関西でこれだと思う選手はほとんどが関東に行きますからね」と、笑われる。

そんな中でどうして報徳をあそこまで強くしたのか、また経大をどうして強くさせるのかと尋ねた。

「特別なことは何もありません。寒中水泳や練習後の素足の散歩と言ったこともやりましたが、要は普通のことを普通にやり続けることが強くなる何よりの近道です。つまり継続は力なりと言われますが、そうすることで着実に一歩ずつ前進していくのです」。「だから経大でも同じことをするだけ。月曜日の練習休日の日以外はグラウンドに立って、選手とのコミュニケーションを深めつつ、規則正しい生活、礼儀、自主性の大切さを選手に植え付けたいですね」と笑顔交じりに話す。

一昨年の全日本大学駅伝大会に12年ぶりに出場(17位と健闘)して以来京産大、立命大などと並ぶ上位校にランクされ、これからの活躍が期待されている。

若手選手を世界へ送り出す 梶村貞男総監督(37回卒)と高橋一監督(40回卒)

=アイススケート部=

アイススケート部の近年の活躍は目覚ましいものがある。昨年10月カナダのモントリオールで開かれたワールドカップ ショートトラック スピードスケート北米地区大会に出場した上村大輔選手(6回生)が1500メートルで5位に入賞したのははじめ、昨年の秋、長野県で開催された第33回全日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会で総合2位に、また上村翔太選手(2回生)が500メートルで5位、吉川政志選手(1回生)が1500メートルで3位、真木倫志選手(1回生) 5000メートルで9位と、若手有望選手が健闘、5000メートルリレーでも神奈川大学に次ぐ2位の座を確保した。

こうした若手有望選手を世界に通じる選手に育て上げるのが監督の腕の見せ所だろうと話を聞いた。「私が監督に就任して23年、常にトップの座を目標に選手を指導してきました。しかし、究極の目標は底辺の底上げ、つまり大学に入ってはじめてスケートの靴を履いた人を一人前の選手として、また将来お父さんになって子供にスケート選手だったと言える選手を作ること

だと思っています」と、意外な言葉が返ってきた。

高橋監督自身4回生の時に関西学生氷上競技選手権で経大としてはじめて1500メートルで優勝した実力者だったが、今も底辺の底上げに拘る。だから新入生の入学時には、先頭に立って部員の勧誘に声をかける。

また梶村総監督も「私から言うのもおこがましいのですが、日本スケート連盟の理事として、大阪のまとめ役をしておられる西岡OB会会長、それに監督と私のトロイカ体制がうまく機能していることも本学の強みだと思います」と付け加えられた。

練習リンクの確保や、競技会の運営に多くの経大スケート部のOBがかかわり、この競技の底辺を支えている。こうした取り組みが今開花し、それを見て若き有望な選手が集まってくるようになった。ごく少数の有力選手を看板にしている大学とは違う。昨今のアイススケート部の活躍の原動力は、梶村氏の言うトロイカ体制にあるのかも知れない。



2010年11月、大阪プールのシーズン開幕で滑走するアイススケート部

ゼミ短信

— 先生方からのメッセージ —

(敬称略・順不同)

お元気ですか？

細井 真人

昨年度は一年間海外出張しており、カナダのバンクーバーにあるサイモン・フレーザー大学で客員研究員として在外研究を行っていました。本年度は帰国し、在外研究にかかるためしばらく募集を中止していたゼミも今秋から再開予定です。ゼミOB・OGの皆さん、いかがお過ごしですか？ よければ近況をお知らせ下さい。

hosoi@osaka-ue.ac.jp

ただ今リフレッシュ中

市川 緑

昨年4月から国内留学中です。留学先の大阪市立大学のほか、この機会にと思い、日頃行けなかったところに行ったり、なかなかできなかったことに取り組んだりしています。その結果、思いのほか忙しい毎日になっていますが、やりたいことをしているので、とても充実しています。こんな機会を与えられたことを感謝しています。

2011年には、ぜひこれまでのゼミ卒業生が一堂に会して、OB・OG会をやりましょう。11月3日の全体の同窓会の日に集まりましょう！

素晴らしい環境に感謝

井形 浩治

大経大に奉職して3年半。前任大学と比較して、教職員・学生、すべてが素晴らしい。多くの社会人学生・院生との講義・ゼミを通じた「語らい」が何よりも好きである。彼ら彼女らは、私の知らない社会経験を積んでいる。「経営学」に限定した「机上の理論」を教える代りに、彼ら彼女らからは「経営」に関わる無限大の「社会・会社の実際」を教わる。それは、「教え子」が今後も付き合い続ける「一生を通じた友人」になる瞬間である。

初のゼミ大会で最優秀賞を

松田 佳久

現在ゼミは、10月30日に開かれるゼミ大会に向けて3回生も4回生も発表論文と原稿の作成に勤しんでおります。最優秀賞を狙っておりますが、特に狙っているのは賞金です。かなりの額の賞金が出るということです。ゼミ生は皆張り切っております。私の方は肘を痛めてしまい、大好きなテニスができない状態です。何とかフィットネスクラブでリハビリを試みたいと思っております。ところで、例年通り、秋にはゼミ合宿、ゼミコンパを企画しますのでOBの方もご参加いただければと思います。

初の卒業生が巣立ちます。

鵜飼 奈津子

2008年4月に、英国より帰国して本学の人間科学部に赴任して以来、3年目が過ぎようとする今春、初めての卒業生16名が巣立っていくことになります。感無量です。

また、初めての単著『子どもの精神分析的心理療法の基本』（誠信書房）を出版しました。卒業生の全員が必ずしも臨床心理の専門家になるわけではありませんが、本書が皆さんの今後の人生の元気の源となることを願って書きました。素晴らしい毎日！

講義の喜び

稲葉 紀久雄

私は、本学の教員になって18年。昨年初めて経済学部で「環境経営論」を開講しました。受講生は370余人。熱心に講義を聞いてくれます。一連の講義の中で3回、環境経営の事例研究があります。うち一回は、らでいっしょばーや株式会社のビジネス・モデル。同社は、「生産小売業」、つまり「プロシューマー」の道を切り拓きつつあります。本学の卒業生高平君は、同社で大活躍。彼の歩みを話す時ほど嬉しいことはありません。

生野菜を多く食べ健康増進

古宮 昇

卒業生のみなさんには元気で健康に幸せに過ごしてほしいなあ、とよく思います。ぼくはスタミナ増と健康のために、食事について勉強して改善しています。健康と若々しさのために、肉、アルコール、乳製品より、生野菜を毎日たくさん食べてくださいね。

近況報告 大槻 裕子 昨年3月定年退職をして早や半年が過ぎた。専ら山積した文書・書籍の整理をしているうち、久々にニーチェが私の目に止まった。彼の学問上の出発点である『悲劇の誕生』では多分にニーチェ自身のゲーテ・シラーへの意識が感じられるのだ。彼は彼のいうソクラテス主義(楽天主義的科学崇拜)を思い切り罵倒する。むしろゲーテの場合、ニーチェほどに激しくはないのだが。何せ暇をもてあまし、こんなことを考えている昨今である。	就活学生に実践的な指導を 吉野 忠男 大学生の就職率が60%程度と報告される中、実際に就職戦線真っ只中の学生にとっては数字以上に厳しい状況になっています。面接を受けられるのは良い方で、大概が電話で断られ、その件数が膨大になっています。面接にたどり着けたとしても、いわゆる圧迫面接が横行しており、精神的にも追い詰められてしまう学生もいます。学生の面接指導、履歴書校正はもちろんのこと、実践的な模擬面接を繰り返し、対応力そして何よりも精神力の鍛錬に重点を置いた指導を行っております。
経大OB in 横浜 松本 良治 横浜近郊にいる卒業生と一献やる集いを持ち始めました。松本ゼミ以外のOBも参加しています。皆さん必死に頑張って忙しくしている人達ですが、情報交換もさることながら、同窓のよしみで気分転換しながら鋭気を養うひとときになっています。横浜近郊におられる方、ご一緒しませんか。メール(matumoto@osaka-ue.ac.jp宛)を下さい。	学内ゼミ大会で3位に入る 徳永 光俊 みなさん、お元気ですか。ゼミでは5年前から学園祭で屋台「徳ちゃん亭」を出しています。今年は「たません」でした。そろいの「道理貫天地」のTシャツを着て、1～4年生が協力して頑張りました。学内ゼミ大会に3年生が「職人の技と心を追求」のテーマで参加し、見事3位に選ばれ西日本大会に出ました。最近ゼミで読んでいます本は、広井良典『コミュニティーを問いなおす』、橋本健二『「格差」の戦後史』、平川克美『移行期的混乱』です。みんなも読んでみて!
一まわり違いの学生達 菊地 彰 一まわりの世代的なギャップなど、ほとんどないと当初は考えていた。自分達の学生時代、例えば欲しいモノを三つ正直に挙げろと言われれば、とても明確であった。彼女と車とカネである。しかし今どきの学生、ここの所がなんとも不明確である。 欲しい物の不明確さは、目標や目的の欠如につながる。そしてそれは、勉強意欲にも当然影響が出るものとなる。卒論一つとってもテーマが出てこない。それが課題である。	「中国経済論」演習OBの皆様 山本 恒人 ご無沙汰しております。みなさん、お元気ですか。私、1980年に経大に採用されて以来31年、いよいよ今年3月末をもって定年を迎えます。新ゼミ生は男16名、女5名で賑やかです。中国経済躍進の30年を皆さんと共に学んできて感無量です。あと3年は大学宛で私に届きますので、皆さんの近況をお知らせくだされば大変嬉しいです。



印刷・事務用品・OA機器・オフィス用品




『お客様と一緒に考えるエコオフィス』

(LED照明、蛍光灯電子安定器、遮熱ガラスフィルム・塗料、空調の洗浄 他)

株式会社 日興商会

代表取締役社長 藤縄 健一 (第37回卒)

本 社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel.06・6487・1401 Fax.06・6487・1414 ホームページ <http://nikko.bunguclub.co.jp>



お世話になった先生からの“お元気”なお便り

(敬称略・順不同)

医学か財政学か

上島 武

後期高齢者とはてっきり財政学用語だと思っていた。「破綻寸前」の国家財政を建てなおそうと、まずは手取り早い手段として老人福祉費の圧縮を図ったのである。今もその考えに変わりはないが、本年満75歳を迎えた小生、以前からの足腰の痛みがにわかに激しく、検査の結果、椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症、典型的老化現象であると。さすればかの用語、少しは医学的根拠もあったか。だが別のある医師曰く、いいえやっぱり財政学用語です。

暑い毎日

久保田 諄

今年の猛烈な暑さが地球温暖化のせいであることは確かですが、これが空気中に炭酸ガスが増えたためとする説は次第に下火になって来ました。温暖化のために空気中に炭酸ガスが増えたこと、また、歴史的に見て、今から千年前の平安時代には、今以上に激しい温暖化があったことが明らかになって来たからです。それは太陽かも知れないし、地球にも温暖と寒冷のリズムがあるせいかも知れません。さて、小生元気にやっています。

私の近況

山本 晴義

「先生、今年で夏の合宿も24周年ですよ」。昨年の異常な猛暑の8月末、信貴山の玉蔵院でおこなった市民のサークル「大阪哲学学校」で隣にすわっていた私のゼミ生、高校の教員をやっていたI君である。楽しかった。思えば1986年、私が学長に選出された頃、「生活と哲学の結びつき」をテーマに4、5人の学生諸君と月2回の読書会をはじめたのが最初だった。阪神淡路大震災による中断をのぞいて、広がったり、小さくなったりしているが、やはり80代半ばの小生のエネルギー源になっています。

デリッチを訪ねて

田淵 進

ヘルマン・シュルツェデリッチはドイツの協同組合の創始者として知られている。帝国議会で他のシュルツェと間違えられないよう出身地のデリッチを名前に添えたという。デリッチはライプチヒの北40kmの町であり、今でも彼の生家、資料館、銅像などが残されている。市場経済が勃興する傍ら困窮する小企業に自助と連携の道を開いた協同組合誕生の地を8月に訪れ、涼しさもひとしおであった。

近況

中川 操

ご無沙汰しています。定年退職後は日米の社会福祉団体とラナルド マクドナルド(日本最初の英語教師、インディアンとスコットランド人の混血)の会で資料集めのお手伝いをしています。どちらの会もスポーケンに縁のある会です。今年の夏も3ヶ月ばかりスポーケンに滞在していましたが、突然心筋梗塞になり、緊急手術、2週間入院しました。9月半ば過ぎに帰国しましたが、現在とても元気です。e-mail [misao@deluxe.ocn.ne.jp]にお便りをおまちしています。

今になって講義の夢を見るのか

松原 和男

ゼミの皆さんお元気ですか。2008年秋のリーマン・ショック、10年春のギリシャ金融危機、そして、最近の円高、いずれも大学で経済変動論を担当した私にとっては、長年専門としてきた分野のテーマです。最近は事態の推移をフォローするのがやっとなところですが、今講義を担当するとしたら、面白い講義ができるという夢を見る昨今です。



山田裕康さんの死を悼む

2009年2月以来、病魔と闘っていた山田裕康さんが逝ってしまった。人間科学部長を2年間務めた後、引き続き学生委員長をお願いしたのが彼の死を早めたのではないかと。長年、彼と職場をともにしてきた私としては、複雑な気持ちだ。

大病後、持ち前の負けん気でこの4月から復帰した矢先のことだった。復帰後、私に向かって「老いたお袋には本当のことを言っていないんだ」と口にしたことがある。母に心配をかけてはいけないのだという彼のこの言葉に、私はなんとも言えぬ感動を覚えて胸が痛んだ。彼が黒人文学を専攻したのも、シングルで通したのも、この優しさだったに違いない。彼は、つねに、弱者というかマイノリティへの視線を忘れたかった。

彼の凄絶な死は、ある意味では彼がまっとうに生きた証かもしれない、いや、その証そのものなのだ。そう思わないと彼の死は報われない。今となっては、彼の冥福を祈るしかすべはない。享年61歳。

人間科学部 門田俊夫



濱本 泰先生を偲んで

平成22年正月のお屠蘇気分もぬけていない1月6日に濱本先生の訃報が知らされてみんなびっくりすると同時になんでそんなに急いであの世に旅立たれたのかただただ驚くばかりでした。

濱本先生を偲び、思い出すことは濱本ゼミOBのみなさんにとって山ほどあると思いますが、なんといっても濱本ゼミの一番大きな特徴は全日本ゼミ、西日本ゼミに出席してテーマに沿った日頃の研究、論議の成果をどうとどうと発表し自分たちの研究の方向こそこれからの方向だと主張することでした。このために濱本先生のお家で合宿し、論議を重ねた年代も多々ありました。また大阪経済大学の名前を各ゼミナール大会で全国に広く知らしめたことは今もって私たちの誇りとするとところ。夏にこのゼミナール大会終了後ゼミ旅行を恒例とし、卒業後の酒の飲み方を教えられたのも懐かしい思い出になりました。

いつまでも思い出は尽きませんが、先生のお姿を偲び、ご冥福を祈りつつ。

合掌

ゼミ1期生 松本 治 (29回卒)

ゼミ2期生 松浦史麿 (30回卒)

理事会報告

80周年記念事業を成功させよう 2010年度同窓会「大樟会」理事会を開催

2010年度(平成22年)理事会が2010年5月29日(土)、理事会定数188人中、出席92名、委任状提出62名の計154名で開かれた。

募金人数を増やそう— 佐藤会長

佐藤武司同窓会長は「心配された大学の受験者数も昨年は15,963人に上がり、ほぼ前年並みです。この原因として、都市型複合大学を標榜する大学として大阪市営地下鉄今里線の開通で大学へのアクセスが年々評価されてきているのでしょう。80周年記念募金活動として実行委員会や募金委員会もすでに立ち上がり、同窓会としても全面的な協力体制を敷く予定です。募金活動のスタートは2010年の9月30日から始まり終了は2013年3月31日まで、期間をダラダラ延ばすことはしません。80周年記念イベントは2012年9月に予定されています。

募金金額ですが、募金総額は8億円と決まりました。景況が厳しくどこまでやれるか不透明ですが、少なくとも前70周年の実績は超えたいと思っています。お住まいのわかる卒業生約45,000人の方には毎年同窓会情報誌「澱江」を送っており、したがって80周年を迎える母校のことはご存知です。募金金額を上げるには募金人数を上げることが重要だと考えます。同窓会あげて理事、支部長の皆さんには、母校発展のために先頭に立ちご協力をいただきたい。私自ら先頭に立ちがんばっていきます」と意気込みを述べた。

次いで議事に入り、第1号議案(09年度事業報告・収支計算書・



総会の開始あいさつをする田村正晴副会長

監査報告)及び第2号議案(10年度事業計画案・収支予算案)がそれぞれ全員一致で承認された。組織部から支部長の交代(北海道=池田正勝氏34回、静岡=大塩博喜氏40回、愛知=五十棲保彦氏32回、和歌山=新田和弘氏、32回)団体会長(大樟体育会=下垣恒彦氏36回)の交代が報告された。

第2部では理事長、学長のあいさつについて学内近況報告がおこなわれた。下記の方々にご出席された。(敬称略)

勝田泰久理事長、重森暁学長、小川雅弘経済学部長、北村實経営学部長、高松亨経営情報学部長、門田俊夫人間科学部長、木村俊郎学生委員長、徳永光俊教務委員長、高塚邦夫事務局長、佐々木繁事務局次長、崎田洋一事務局次長、草福弘樹総務部長、齊藤裕士入試部長、菊川和義教務部長、河井保雄学生部長、橋本稔研究支援部長、黒正洋史就職課長

第3部の懇親会は同窓会ホールに場所を移し約110名の出席者の中、鮫島圭理事(18回)の乾杯発声で賑やかに、和やかに懇親の輪が広がった。

支部長会報告

会員の転勤情報は支部間で流そう 41支部、5団体が出席<全国支部長会議>

2010年度理事会に先がけ、全国支部長会が5月29日(土)午前中に開かれた。支部長会議は現在48地域と7職域・団体の支部長・会長で構成されている。年1回一堂に集まり活動、近況報告をするなかで情報の共有化をはかり、本部・支部・職域支部・団体の運営に役立てることを目的としている。したがって議案審議や議決などは行わない。今回は41支部と5団体の責任者が出席した。

佐藤武司同窓会長のあいさつの後、同窓会本部役員及び常務理事の紹介、2008年(平成20年)以降就任された新支部長・各種団体会長ら8名の紹介とあいさつがあり、引き続き南九州支部から順次報告が行われた。

<佐藤会長あいさつ>

この会は年に一度お集まりいただき、いろいろなご意見を聞かせていただくことで、同窓会運営に生かしたいと思えます。どうぞお力をかけてください。さて大学では80周年という大きなイベントが始まります。同窓会としても募金活動を協力していくわけですが、この景況の中お金集めは辛い仕事です。しかし母校の発展を支えていく私たちとしては、前70周年の同窓会の募金金額1億百万円を今回は最低限越えなくてはと考えてい



各支部からの報告が続く支部長会議

ます。本部の役員はもとよりお集まりの皆さんは、それぞれの立場でこの事業の協力をお願いします。

長い歴史をもつ同窓会ですが、さらに継続発展するには若い会員の活躍が不可欠です。本部執行部も若返ったつもりですが、全体として今後どうするか、今日は皆さまの忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思えます。

<支部からの主な意見>

- ▼会員の転勤などの情報は支部間で流そう(北九州・広島)
- ▼会議は報告だけではなく、案件を事前に支部から出したらどうか(愛媛)
- ▼総会以外に各イベントを開催、どれかに参加してもらえ(奈良)
- ▼就活学生に社会人としての常識などを話あってもいい(姫路)
- ▼支部新設の会員数の基準を設けたらどうか(堺)

本部だより

本部役員一覧

2010年12月1日現在

氏 名	役 職	卒回	氏 名	役 職	卒回	氏 名	役 職	卒回
佐藤 武司	会長	30	廣野 義直	支援部長	34	植村 祐三	監事	32
田村 正晴	副会長	30	下垣 恒彦	支援部	36	大西 健介	監事	35
竹中 亨	事務局長	32	菊川 和義	支援部	59	山内 淳子	監事	47
梶村 貞男	事務局次長	37	神田 博	組織部長	30			
齋 貞文	総務部長	30	石橋 隆夫	組織部	32			
進木 伸次郎	総務部	33	福地 利仁	組織部	39			
平田 義行	広報部長	31	中村 敏啓	財務部長	31			
小林 真人	広報部	32	二宮 勉	財務部	65			
秋山 治信	広報部	37						
大谷 忠久	広報部	51						

平成21年度収支計算書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

(単位:円)

収 入 の 部		
科 目	決 算 額	予 算 額
前期繰越金	33,959,139	33,959,139
会費収入	24,656,000	24,000,000
総会収入	793,000	750,000
利息収入	1,129,902	750,000
澱江収入	1,241,900	1,000,000
広告料収入	540,750	0
雑収入	71,400	0
合 計	62,392,091	60,459,139

支 出 の 部		
科 目	決 算 額	予 算 額
総会費	2,744,105	3,000,000
役員会費	776,105	1,300,000
支部費	9,479,933	11,000,000
事務費	652,146	1,300,000
人件費	3,835,150	5,000,000
旅費交通費	1,971,930	3,600,000
広報活動費	11,650,882	11,500,000
名簿調査費	286,635	800,000
学対費	11,933,788	15,000,000
諸会助成費	1,119,900	1,700,000
慶弔費	186,885	500,000
予備費	0	2,000,000
次期繰越金	17,754,632	3,759,139
合 計	62,392,091	60,459,139

平成22年度収支予算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日

(単位:円)

収 入 の 部		
科 目	予 算 額	摘 要
前期繰越金	17,754,632	
会費収入	34,500,000	
総会収入	750,000	
利息収入	650,000	
澱江収入	1,000,000	
広告料収入	600,000	
合 計	55,254,632	

支 出 の 部		
科 目	予 算 額	摘 要
総会費	3,000,000	
役員会費	1,300,000	理事会・常務理事会・各分会
支部費	11,000,000	運営費・支部総会援助
事務費	1,000,000	
人件費	5,000,000	事務局人件費
旅費交通費	2,800,000	
広報活動費	12,000,000	
名簿調査費	500,000	
学対費	15,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸会助成費	1,500,000	諸会援助
慶弔費	500,000	
予備費	1,500,000	
次期繰越金	154,632	
合 計	55,254,632	

和・洋・中の料理とデザート110種類が食べ放題!

『DENKO』をご覧の方へ特別優待!【有効期限】2011年12月30日まで

●ランチ 通常価格¥3,600 → **¥3,100**

11:30~15:10(土日祝は17:00まで)

●ディナー 通常価格¥4,600 → **¥4,100**

17:30~21:10(土日祝は21:00まで)

人気のお寿司やステーキも!

※写真はイメージです

※『DENKO』をご覧いただいた旨をご予約時にお申し出ください。※事前にご予約がない場合は割引対象外となります。※他のプラン、割引との併用はできません。※料金はいずれも消費税込

グルメバイキング **オリンピア**

阪急・地下鉄梅田駅すぐ JR大阪駅前
大阪新阪急ホテル地下1階

ご予約
お問合せは

☎(06)6376-2062

同窓会「大樟会」支部長一覧

2010年12月1日現在

支 部 名	氏 名	卒回	現 住 所	電 話
北 海 道	池 田 正 勝	34		
東 京	藤 本 二 郎	34		
富 山	小 泉 俊 夫	30		
石 川	柚 木 繁	21		
福 井	石 橋 隆 夫	32		
岐 阜	長 崎 和 夫	29		
静 岡	大 塩 博 喜	40		
愛 知	五 十 棲 保 彦	32		
三 重	英 成 樹	38		
滋 賀	正 村 公 一	27		
京 都	田 中 伸 治	45		
大 阪 市	三 好 政 彦	26		
大 阪 市 役 所	南 正 治	43		
★北 大 阪	平 田 義 行	31		
北 摂	大 門 壽 郎	29		
北 河 内	森 川 義 一	25		
豊 中	青 木 昭 生	34		
池 田	中 一 正	27		
泉 南	車 野 修 三	27		
堺	堀 本 修	24		
尼 崎	小 谷 芳 男	24		
伊 丹	水 納 敏 也	25		
阪 神	進 木 伸 次 郎	33		
神 戸	下 土 井 康 晴	25		
但 馬	高 本 勲	35		
丹 有	廣 野 義 直	34		
明 石	佐 藤 武 司	30		
北 播 磨	伊 藤 俊 博	32		
東 播 磨	永 井 宏	19		
姫 路	林 和 信	32		
淡 路 島	竹 内 通 弘	34		
奈 良	西 本 集 一	23		
和 歌 山	新 田 和 弘	32		
鳥 取	秋 口 政 俊	39		
島 根	浅 原 宏	22		
岡 山	小 野 隆	35		
津 山	竹 本 巧	37		
備 後	小 池 勝 章	32		
広 島	陰 山 秀 明	44		
山 口	小 林 真 人	32		
徳 島	樫 本 孝	35		
香 川	鈴 木 澄 夫	36		
愛 媛	小 野 茂 樹	26		
高 知	野 崎 邦 男	32		
北 九 州	植 田 達 三	52		
大 分	寒 田 陽	40		
熊 本	濱 忍	35		
宮 崎	福 田 俊 彦	32		
南 九 州	前 薊 博 隆	34		
春 秋 会	田 中 夏 木	26		
大 樟 体 育 会	下 垣 恒 彦	36		
池田泉州銀行経友会	田 中 寛	37		
日 立 大 樟 会	角 脇 忠 行	34		
税 理 士 大 樟 会	三 木 泰	35		
大 樟 教 育 研 究 会	眞 鍋 一 美	32		
社 労 士 大 樟 会	久 保 太 郎	31		

★は、新設立支部

同窓会の個人情報保護に関する基本方針

1) 収集および利用

本会では下記利用目的に必要な個人情報(氏名、卒年、学部、学科、ゼミ、クラブ、自宅住所、同電話番号、勤務先など)を、引き続き最大限の注意を払いながら収集し、利用させていただきます。

2) 利用目的

本会は円滑な運営を図るための事業として以下の目的に収集した個人情報を利用しています。

- 同窓会誌「澱江」ならびに情報誌「KEIDAI DAYS」「大樟会だより」の送付
- 本部ならびに地域支部及び、ゼミ、同期生会、クラブOB会などが主催する行事の案内
- 会費徴収にかかわる案内
- その他上記に関する業務等

尚、2005年3月31日をもって同窓会名簿の販売および閲覧サービスは中止しております。

3) 安全管理措置

本会で保有する個人情報については、漏洩、改ざん、消失を防止するため安全管理に努め、必要な措置を講じます。とりわけ個人情報の処理を外部委託する場合は、信頼できる会社と機密保持契約を結んだうえで委託致します。

4) 共同利用

上記事業に際してその目的達成のために学校法人大阪経済大学との間で双方の保管する個人情報の一部について共同利用します。

5) 第三者提供

同窓会員からの照会については、所定の手続きの上、原則として被照会者の同意を確認したものに限り回答します。なお、個人情報の提供を望まない場合は、所定の手続きにて事務局に届けください。

6) 届出、お問い合わせ先

同窓会事務局 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
TEL 06-6328-2431 FAX 06-6328-4564
メールアドレス denko@osaka-ue.ac.jp

● 編集後記 ●

- …新しい年を迎え早や1ヶ月が経ちました。2011年、皆さまの幕開けはいかがでしたでしょうか。
- …「澱江」のサイズがA5判からA4判へリニューアルし、読みやすくなりました。手に採られての印象はどうでしょうか。また、輸送費のコストダウンを図るため透明のポリフィルムを採用しました。
- …今号も広告をたくさんご協賛いただきました。同窓生が活躍されている企業の“たくましさ”が伝わってきます。
- …今年は母校創立80周年の本格的幕開けですが、学生さんにとって就職の超氷河期が続きます。「同窓生のご協力が欲しい」と言われる理事長の偽らざるお気持ちを伝えました。
- …大学に新学長が就任されました。お話を聞くに、若くてシンプルな中に切れ見のあるお考えはこの先、大学の変化が予感されます。同窓会も大学に遅れることなく、時代に即した対応が求められていきます。
- …「澱江」は同窓生の“つながる力”の大きな情報誌です。皆さまのご協力で発行されています。今後ともよろしく願います。

(広報部長=平田義行)

iPadを現場で活用!

当社のiPadソリューションで
業務の効率化を応援いたします!

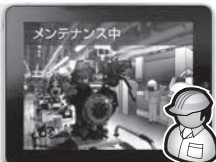
技能伝承・活用
文書閲覧・活用



バーコード入力
入出荷確認



設備保全・
メンテナンス



チェックシート入力
報告書作成支援



Technotree 株式会社 テクノツリー

[本 社] 〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水534番地の7 TEL:078-948-2300

↓↓ WEBからもどうぞ! ↓↓
<http://www.technotree.com>



大阪経済
大学
B館2階

BAKERY CAFE
Cannelle

温かいドリンクと広々とした空間で
ホッとできるひとときをどうぞ。

営業時間 月~金 8:30~16:30 / 土 10:00~14:00

節 税

創業者支援

決算対策

相続対策

●成長を目指す企業のパートナー

税理士 谷丸八郎事務所

高槻市芝生町1丁目14番2号

TEL.072-678-1251

FAX.072-678-1253

税理士 谷丸明子事務所

大阪市北区天神橋2丁目4番17号

TEL.06-6949-8152

FAX.06-6949-8152

■JR東西線大阪天満宮駅・地下鉄堺筋線谷町線南森町駅徒歩1分



大経大 OB 在職 5 名

tax@tanimaru.jp

谷丸会計事務所

検索





思いを守る、明日へつなぐ



大正12年創業の製本業から、昭和43年に創立、手帳やアルバムを製造・販売
本年より介護福祉事業、人材派遣事業を開始しました。
お客様のお役に立つ企業を目指し、新たな価値の創造へ。



ナカバヤシ株式会社
<http://www.nakabayashi.co.jp/>

持ち運べる総合書店。

BookGate

スマートな読書スタイルを始めよう。



音楽のようにネットで本をダウンロードする時代。ユーザーの多種多様なニーズに応えるため、BookGateは幅広いジャンルからさまざまな電子書籍※1を用意。読みやすいビューアで快適に読書が楽しめます。国内最大級※2のタイトル数を誇るBookGateで、新しい読書の扉を開いてください。

※1 iPhone / iPodTouch / iPad向け電子書籍 ※2 AppStoreおよびiTuneStoreで販売される電子書籍の販売店としての実績(2010年7月1日現在)です。

まずはAppStoreで「BookGate」を検索!!

株式会社廣済堂 〒108-8378 東京都港区芝4-6-12
TEL.03-3453-0550 <http://www.kosaido.co.jp/>

社 労 士 大 樟 会

社会保険労務士の役割

企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!

「社会保険労務士」は、労働・社会保険に関する法律、人事、労務管理の専門家であり、企業経営の4要素のうち、人的資源に関するエキスパートです。

さらに労働・社会保険、年金に関する諸問題の相談にも応じる「実務家の資格」であります。



社労士大樟会 会長 久保 太郎(31期)

社労士大樟会は 2008 年 7 月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん!ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先

事務局長 飯田 政信(35期)

■TEL: 06(6263)5511

■FAX: 06(6263)5510



次代につなぐ庭づくり ガーデンライフスタイルメーカーとして、 グローバルに展開しています。

わが家の庭を、家族にとって居心地がよく、心安らぐ空間にしたい。
そして、お知り合いやご近所の方々に対しても、日常生活のなかでの心癒される風景であると共に、憧れの存在であってほしい。
そんな思いをかたちにしていただくため、タカショーでは庭空間を構成・演出する「風・光・心・水・緑」の、5つの要素を大切にしています。
私たちは、タカショーの庭づくりの基本ともいえるこの5つの要素にこだわりながら、心と体を癒してくれる「オアシス」のような庭づくりを提案しています。



大阪経済大学出身者が中心になって創業した会社です。グローバルに、そして素晴らしい仲間ともしっかりと出会いたい。



やすらぎのある空間づくり

株式会社タカショー

本社:和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017 TEL.073-482-4128
東京本部:東京都千代田区三崎町3-2-14 〒101-0061 TEL.03-3238-0531
東京支店・名古屋支店・九州支店・札幌営業所・仙台営業所・埼玉営業所・新潟営業所
北陸営業所・関西営業所・大阪営業所・広島営業所・四国営業所・東京支店北関東事務所
広州オフィス・上海オフィス・杭州オフィス・台湾オフィス・コリアオフィス・ベトナムオフィス・インドネシア

タカショー 検索 <http://takasho.jp> JASDAQ (証券コード7590)

<タカショーグループ22社> 国内12社、海外10社が私たちの仲間です
日本から世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展しつづけています

株式会社タカショー

和歌山ガーデンクリエイト株式会社 / 徳島ガーデンクリエイト株式会社 / 奈良ガーデンクリエイト株式会社
株式会社タカショーデジテック / 株式会社青山ガーデン / 株式会社日本インテグレート / トーヨー資材株式会社
株式会社エンサイドデザイン / その他
天津高秀園工貿有限公司 / 佛山市南方高秀花園製品有限公司 / 上海高秀園芸建材有限公司
滿洲里高秀木業有限公司 / 浙江東陽高秀花園製品有限公司 / 江西高秀進出口貿易有限公司
九江高秀園芸製品有限公司 / 浙江正特高秀園芸建材有限公司
有限会社タカショーヨーロッパ(ドイツ) / タカショーオーストラリア株式会社(オーストラリア)

62年ぶりの女性公認会計士試験 合格者誕生

鬼頭 さやか 氏 (75回卒)



略歴…1985年2月、大阪府茨木市生まれ、25歳、2010年夏の全国高等学校野球大会に大阪代表として甲子園に出場した履正社高校に優秀な成績で進学したにもかかわらず1年で中退。単位制の向陽台高校を経て本学経済学部2部に入学、5年と5カ月を要して2008年9月に卒業、会計士の資格取得を目指して大原簿記専門学校で猛勉強、2009年9月に初受験で見事公認会計士試験に合格。太陽ASG有限責任監査法人で半年間の非常勤社員として勤務、その成績が認められ2010年12月から正社員として実社会へ船出した。

「在学中経済学部のある教授に会計士になろうと思うと言ったら、とてもなれないから他のことを考えなさいと言われました」と、悪戯っぽい目で笑う。

いうまでもなく公認会計士といえば、監査、財務、経理、税務など、仕事の内容は多岐にわたり、最近では会計に関する助言や企画、経営戦略の提案などコンサルティング業務が求められ、その資格取得は一般学生のみならず社会人にとっても高嶺の花。

したがって本学の卒業生の中では男性の会計士取得者はいるが、女性ではかつて松下電器産業（現パナソニック）の監査業務に携わっておられた松浦圭子さん（13回卒）以来、62年ぶりの公認会計士誕生という快挙を成し遂げたのだ。

そこで、早速その秘策を聞いてみた。「大方の学生



さんは勉学のピークを高校時代に置いている。私はその時期遊んでばかりでしたので、大学生の後半になってエンジンがかかったのだでしょう」という。進学を目指した履正社高校を中退し、次に進んだ単位制の高校は全員が俗に言うヤンキーばかり。「勉強が嫌いになったのです」と、その理由をはっきり言わなかったが、本学の卒業生で税理士大樟会のメンバーである父親（鬼頭眞佐夫氏、38回卒）から「将来何かをしようとしたときに取り返しのないことになる。大学だけは出ておけ」と諭され、本学2部を受験した。英語20点、数学80点で、かろうじて合格した。「今から思えば、父は私に自分の税理士事務所の後を継いでほしいという思いがあったのですね。私はそれが嫌だったのです」と、その当時を振り返る。

父親の「在学中に簿記の3級だけでも取っておけ」との注文に、2年生の11月、4回目の受験でようやく日商簿記3級に合格するや、2級、1級をなんなく突破、自分でもやれできると思うようになる。そうなれば税理士希望の父親の反対を押し切って会計士へと目標をステップアップ。2年間大原簿記専門学校で勉学に励み、2009年9月見事合格。「一番喜んでくれたのはやはり父親でした」と笑顔を見せた。

「自分の性格はあまのじゃくで、何か変わったことをしたがる人間ですが、良く言えば自分の信念を貫くということですかね。会計士がゴールではなく、これからも自分の限界に挑戦していくつもりです」と、力強く語る彼女に拍手を送りたい。

（聞き手＝編集委員・森川義一）



洲本市長に初当選 暖か味のある市政に

竹内 通弘 氏 (34回卒)

略歴…昭和21年2月22日生まれ、64歳、洲本市出身、兵庫県立洲本高校から本学経済学部に進み、昭和43年3月卒業後、大阪で婦人服地などを取り扱う会社に就職。36歳の時実家の家業（農業）を継ぐため帰郷。当時、農地の基盤整備事業を展開しようという時期であったことから、昭和56年7月、丸一調査設計（株）淡路営業所に入社、換地士の資格を取得しその業務に。その後平成16年8月から合併前の洲本市議会議員として、同18年3月から五色町と合併後の洲本市議会議員として市政に関わり、同22年3月の市長選で新人5人が立候補する大激戦を制して見事初当選した。

市長に就任して6カ月後のある日、市長室を訪れた。若手職員との会議に熱のこもった議論を展開中だったが、その余韻の残る中「市長の椅子の座り心地は……」と話を向けた。「議員の経験を生かし、市政を執行する立場として、積極的に施策を提案し議会と共に市民の付託に応えて行きたいです。ただ、就任後余り時を経ずして、市長が持っている権限の大きさと責任の重大さを実感したこと、また市長が判断すべき案件が、想像していた以上に多いことに一種の戸惑いと不安を抱いているのが素直な感想です」と、いささか複雑な心境を口にしたが、顔は自信ありげに笑っていた。

これまで1市10町に分かれていた淡路島の都市機能が、4年前に洲本市、南あわじ市、淡路市の3市に統合された。「前市長が苦勞して合併、再編を実現されたのに、やはり地域のエゴがありましてね。私はこれを解消しようと訴え、市長の座に就くことができましたので、ま

ずこれをなくし、財政面では単年度で黒字化を目指します。現在当市の人口は4万8千人と、3市の中で2番目。際だった産業基盤がないため、若年層の人口流出傾向に歯止めがかからないといった状況が続いていますが、残された観光産業に活路を開こうと、京都の祇園祭、別名“はも祭”に地元特産の“はも”を持ち込みPRをしたり、“淡路牛”を売り込んでいこうと農産物のブランド化を始めようとしています。一時的には淡路島を出られた方も、やがて淡路に戻って住みたくなるような魅力ある町づくりをしたいです」と、市の活性化を強調。

最後に「地方では若手の働き口といっても銀行、農協、教員、公務員といった限られた分野になりますが、銀行でいえば淡路信用金庫、淡陽信用組合などに経大の卒業生がおられます。新卒者の皆さん、洲本へ働きに来ませんか」と、経大生へのPRも忘れなかった。

(聞き手=編集委員・森川義一)

夢に向かって走り続けた40年

株式会社ビルバンク 代表取締役社長
迫田 茂雄 氏 (33回卒)

略歴…昭和15年、京都府舞鶴市生まれ。同34年飯野重工業(株)舞鶴造船所入社。同42年本学卒業。大阪写真測量所に1年間勤務。同43年(株)朝商に入社、不動産業界に入る。同43年(株)大阪貸ビルサービスを設立、代表取締役就任。同61年(株)ビルバンクと社名変更。



昨年の9月末、関西屈指の本格的コンサートホール「いずみホール」(大阪市中央区)を埋めた600人超の聴衆は、国内外9人の一流アーティストが奏でる多彩な妙音と豊潤な歌唱に酔いしれた。

「風のうた」と題されたこのコンサートは、不動産仲介業として東京、大阪を中心に高い実績と信用を持つ株式会社ビルバンクが創業40周年を記念してお客さまを招待、開いたもので、同社の代表取締役社長の迫田茂雄さんは昭和42年、経営学部2部の卒業生だ。

少年時代からいつかは都会へ出て会社経営をしてみたいという夢を持ち、それを信じ「自分は何かできる、可能性がある。必ずチャンスが来ると信じて準備と努力をしました」と迫田さん。京都府舞鶴の高校卒業後、造船所に入るが学歴社会の壁を知り大学入学を計画、3万円の退職金を手にしたものの3万円以下で入れる大学は大阪では1、2校しがなく、しかも夜学に限られたという。本学入学後、昼はアルバイト、夜は勉学と環境が同じ仲間と充実した4年間を送る。就職は「東京では

ビル仲介業が急成長している」という雑誌の切り抜きを胸に、単身東京の不動産会社を訪問、社長が会ってくれ採用された。憧れの東京市場と不動産営業が始まったのだ。東京の街はお金が落ちていると思った迫田さん、水を得た魚のごとく実績をあげ社長の信を得る。入社後半年で大阪の責任者に抜擢され昭和45年8月、関連会社として株式会社ビルバンクの前身となる「大阪貸ビルサービス」を設立、代表取締役になった。30歳の時である。

最初、社員は奥様の圭子夫人と男性1人の3人でスタート。「毎日が精一杯でとりあえず5年間の目標に、5年間は倒れないだろうと自分に言い聞かせ走ってきた40年でした」「夢を忘れてはいけません。夢は生きるエネルギーとなり、人生を楽しく豊かにしてくれます」と迫田さん。

コンサートのフィナーレは「凱旋行進曲」。パイプオルガンの重厚な響きが早くも次のファーストステージへ迫田さんを誘っているようだった。

(聞き手=編集委員・平田義行)

地銀 とくぎんのカジ取り役を担う

(株)徳島銀行代表取締役専務
吉岡 宏美 氏 (41回卒)



略歴…昭和27年11月3日生まれ、58歳 徳島県三好市(旧池田町)出身、昭和49年春の全国高等学校野球大会で、部員わずか11人で準優勝し「さわやかイレブン」として甲子園球場を沸かせた徳島県立池田高校から本学経済学部に進学。50年4月卒業と同時に徳島に帰り、当時徳島の検察庁に勤務していた叔父の勧めもあって徳島相互銀行(現徳島銀行)に入行、地元池田支店を皮切りにあらゆるセクションを経験し、平成13年48歳で取締役、同15年常務、同18年専務に昇格、同22年4月からは香川銀行と経営統合で誕生した金融持ち株会社トモニホールディングスの取締役も兼務し、徳島、香川両行の将来に向けてのカジ取り役としてその手腕に期待が寄せられている。

「20年ぶりに学校へ来ましたが、周辺の町並みもすっかり変わりましたね。学生時代アルバイトでお世話になった喫茶店を訪ねましたが、もうなくなっていました」とちょっぴり残念そう。それでも「柔道部の部員がよく店に来ていて、ご飯の大盛りをサービスして大変喜ばれていました」と笑う。どうやら彼の旺盛なサービス精神は、この時から芽生えていたのかもしれない。

「私は1年間に1,500枚の名刺を配り、年間130回はお客様との会合に参加します。そこでのお客様との交流で、多くの知恵、知識、多様な物事に対する考え方をご教示頂いております。それが私自身の成長にも繋がっておりまして、銀行にとっても、さらにお客様にとってもプラスになっているものと感謝しているところです」と。さらに「銀行の役割というのは、ただお金を貸すというのではなく、お客様にお金を使っていただけるような環境、つまりニーズを提供する。目先だけの商

売に固まっていたは、次への進展はありません」。

昨今の混迷が続く政治、経済情勢下で、地方は一段と厳しい環境下に追い込まれようとしている。このような時こそ地銀の果たすべき使命があると言わんばかり。

徳島銀行は、いま徳島県を中心に74(うち出張所4)の営業店を有し、預金量1兆2千億円の地方銀行で、トモニホールディングス全体では、預金量2兆5千億円、貸出金1兆8千億円、営業店舗は157店舗と四国最大の店舗数を誇っている。「こんごとも地方銀行の使命を再認識し、人と人との繋がり、親睦度を重視した営業・経営を進め、お客様と共に成長を目指し、各種の取り組みを行っていきます」と、今後の抱負も明確だ。

(聞き手=編集委員・森川義一)



努力は自分の期待を裏切らない

新日本書法美術院評議員・(社)日本書芸院無鑑査
日野 和明 氏 (29回卒)

略歴…昭和14年愛媛県生まれ。71歳。松山商業高校を経て、昭和38年本学経営学部卒業。昭和38年伊予銀行に入行。昭和43年より糸東流空手、昭和45年より書道を習い始める。昭和47年書道研究会命知社に参加。日本書芸院展、読売新聞読売書法展、中国西安碑林国際展など、多数の書道展に出展し、特選、秀逸、入選、他多数。平成10年命知社代表幹事。平成21年より命知社顧問。空手2段、少林寺拳法3段。中国語も堪能。

経大の後輩に伝えたいことは、と聞くと即座に「継続は力です」という言葉が返ってきた。書家であり、空手や少林寺拳法の有段者というキャリアを持つ日野さん。静と動の相反する世界が日野さんの中では自然に結びついている。

松山商業から本学に進学した日野さんは、喜田ゼミに学び、卒業後は地方銀行に勤めた。三億円事件が世間を騒がせた頃であり、「職業上、万一の時のために」習い始めたのが空手だった。大会では選手として出場するとともに「審査員席」など各種の垂れ幕の書き手を任された。「ペン習字を習っていたので字には少し自信がありましたが、本格的に勉強しようと考え、肥後橋の朝日カルチャーセンターに通いました。当時は後に日本の書道界のトップになられる先生方も多く在籍されていました」。

書の奥深さ、面白さに魅了された日野さんは、日本書道学院、日

本書道揮毫協会では学び、書道研究会「命知社」に加入。日本書芸院展をはじめ、国内外の有名書道展に出品し、特選、入選、秀逸などを受賞。賞状の数は今も増え続けている。

「書道は大学のクラブで教えることがあります。中国には大学の書道部員とともに、14、15回行きました。高名な書家の書を訪ねたり、漢詩の世界を訪ねたりしています。また、空手についてはスポーツ少年団で子どもたちを指導しています」。

ふだんでも毎日2時間、展覧会前なら朝から晩まで4、5日連続して筆を取る日野さん。「書は無私の境地に浸れる楽しみがあり、ストレス解消につながる」という。そして、「書道も空手もあきらめずに継続してきたから今がある。自分のやってきた努力は期待を裏切らないというのが私の人生訓です」と日野さんは語る。

(聞き手=編集委員・池田誠吾)



無限に高い目標に向かって

株式会社スーパーホテル 代表取締役社長

山村 孝雄氏 (34回卒)

略歴…昭和20年4月生まれ。大学卒業後、大手証券会社に勤務。昭和48年、産双ミサワホームに入社し、後のスーパーホテル創業者・山本梁介会長と出会う。同ホテル創業期から、会長と二人三脚で事業を飛躍的に成長させる。

リピーター率は70%超。月間稼働率90%超も珍しくはない。主なターゲットをビジネスマンに据え、低価格で「安全・清潔・ぐっすり眠れる」ホテルチェーンを展開する。

「スーパーホテル」1号店は、創業者の山本梁介会長が1997年にオープン。山村孝雄社長は、その2年後に営業活動をスタートし、年間約10店舗という破竹の勢いで店舗開業を進めた。昨年末現在で、全国97店舗に達している。

土地の所有者（将来のホテルオーナー）に提案し、同社の設計通りに建ててもらい、それを借りて運営する「リース方式」。以前経験した証券業務、住宅販売のノウハウが生かされた。営業方針は「動きの無駄を省く」こと。年間224回、飛行機で移動し、全国を駆け回ったという。

特許取得の自動チェックインシステム、快眠設備といった山本会長の「発案力」、積極的かつ効率的な山村社長の「実行力」を両輪として、

事業は急成長をとげた。近年、JCSI（日本版顧客満足度指数）業界1位、日本経営品質賞中小規模部門受賞ほか、数々の高い評価を受けている。

だが、「大したことは、何もしていない。自分の仕事に対して達成感があったが、一度も満足したことはない」。常に足を止めることなく、無限に高い目標に向かって歩んできた。今後はフランチャイズ、国内集客をにらんだ海外進出、社員の自己成長にも力を注ぐ。「山本会長という、よい上司にめぐり会えたことが、私にとっては大きい」。

大学時代も「よい友達に出会えたのが一番の財産」。当時の友人たちとは、今も親しく交流している。一方、30年来の趣味として、カレアの温室栽培を楽しむ横顔も。毎日1時間余りの歩行、180回の腹筋運動等を欠かさず、体重は40年間維持。

（聞き手=編集委員・永富美幸）

ウェットペーパーの開発で右肩上がりの成長

愛媛県紙パルプ工業会会長

大富士製紙(株) 代表取締役社長

服部 正氏 (37回卒)

略歴…昭和24年2月旧伊予三島市(現在四国中央市)生まれ。昭和46年3月経営学部卒。卒業後大阪の繊維問屋へ経理担当として就職。翌昭和47年、父親が創業した大富士製紙へ入社。在学中は軽音楽部でトランペットを担当。3年生の時から先輩に誘われて毎夜キャバレーのバンドマンとして出演。貯めた資金を元に当時としては珍しい25日間のヨーロッパ旅行を体験。平成3年9月から同社代表取締役社長。年商18億円。従業員約70人。



松山市と高松市のはば中間点に位置する四国中央市は全国一の出荷額を誇る製紙の町だ。明治時代からの土佐紙を使った和紙生産の伝統を引き継ぎ、現在この町に上場企業を筆頭に42社の中小製紙会社がある。服部正社長はその業界を束ねる愛媛県紙パルプ工業会の会長も務める。

リーマンショック以後、節約ムードは製紙業界を直撃。各社は青息吐息。こうした業界の中であって大富士製紙は他社が手につけない病院、介護施設などで使用するウェットペーパーの生産に特化。普通、ペーパータオルの原料は古紙を使うが、それにはインク、蛍光染料、ゴミなどが含まれていて体に良くない。服部社長のモットーは「お客様の声を聞け。売れるものを作ったら売れる」。そのお客様である病院、介護施設から出た要望を取り入れてこれらの不純物を取り除いて製品にしたのが当社独自のウェットペーパーだ。患者の体を拭いてもより布

に近い肌触りのため心地良く、使い捨てのため衛生的で、院内感染も防げるとあってある大学病院でも論文にまとめて発表されるようだ。

大富士製紙では、商社などを通さず、直販方式をとっているのが特徴だ。服部社長が営業マンに厳しく言っているのは「営業は売りに行くな。お客様の情報を聞いて来い。それも3つの【ふ】。不満、不便、不安があればお客さんはついて来ない」。お陰で大病院などからの支持が集まり、この不況の中でも大富士製紙は右肩上がりを続ける。

最近の新卒の就職状況について服部正社長は「会社選びは大きい、小さい、古い、新しいではなく、その会社が明確な経営理念をもっているかを基準に選んで欲しい」と言う。来年度は営業職を母校から採用予定。

（聞き手=編集委員・小林真人）

年商100億、生産量で全国5指に入る

ヤマサ蒲鉾株式会社 代表取締役社長
名田 和由氏 (56回卒)



略歴…昭和40年11月1日姫路市生まれ。45歳。平成2年経済学部卒業。2年生の時、帝王学を学ぶため休学。大阪市の商社へ入社。ニューヨークへ居を構え、カナダ・ニューファンドランド島からししゃもなどを冷凍して日本へ送り込む立会いなどを経験、2年後復学。在学中は写真部へ所属。山本恒人ゼミ。卒業と同時にヤマサ蒲鉾へ入社。平成18年から同社代表取締役社長。製品は国内はもとよりノルウェー、オーストラリア、中国、台湾へも輸出。年商は約100億円。従業員は約380名。

JR姫路駅から車で北へ約30分。田園風景の中に忽然と自動車工場かと思わせる巨大な工場群が目に入る。ここがヤマサ蒲鉾の本社工場だ。敷地面積23,700坪は蒲鉾工場としては日本一の規模。こんな田園地帯に蒲鉾工場？ と思ったのだが、創業時は原料となる新鮮な魚が手に入る姫路市の港の近くの白浜町で生産を始めたのだが、現在は、原料となる冷凍すり身が世界各地から手に入るようになり、平成元年に姫路市郊外の夢前町へ本社工場を移転。現社長の和由氏は3代目。

取材中にも次から次に観光バスが乗り入れてくる。姫路といえば姫路城。足を延ばして塩田温泉、ラスト侍のロケ地、円教寺を結ぶ観光ルートにあり、月に1万5,000人の見学者が訪れて、すっかり観光名所化している。平成4年からは東京書籍の小学校3年生の社会教科書で紹介されていることから、県内の小学生のほとんどが社会見学

でこの工場を訪れる。

蒲鉾生産量では全国5指に入る企業に成長したことについて名田和由社長は「これまで原料を生魚にたよっていたものを昭和40年代にいち早く冷凍すり身に転換した技術革新に取り組んだことが大きい」という。また、「消費者に喜ばれるおいしく、しかも安く提供するためにはそれなりの装置を構える必要がある」という。今後の需要について「蒲鉾は年配の方には良質な蛋白質やミネラルを含んだ食べやすい食品」ということで今後の需要増を期待する。

この工場の生産品目は400を超えるが、今年は、冷凍グラタンをインターネットを駆使して大々的に販売し、蒲鉾と共に新たな新戦略を目論む。5年後には創業100周年を迎え、売上高150億円を目指す。

(聞き手=編集委員・小林真人)



九州新幹線開通で、集客増を期待

九州観光旅館連絡会 代表理事
九州観光株式会社 代表取締役
松瀬 裕二氏 (40回卒)

略歴…昭和25年7月長崎県佐世保市生まれ。佐世保南高校出身。昭和39年経営学部卒。在学中は吹奏楽部でトロンボーンを担当。第1回定期演奏会から5回連続出演が自慢(?)。当時は学生運動が盛んで、授業もなし、試験もレポート提出だけという異常な学生生活の心の支えになったのがクラブ活動だけだったという。九州出身ということで現在の会社へ。平成19年から社長。年間取扱高70億円。

九州観光旅館連絡会(九観連)は、九州へ観光客を誘致することを目的に昭和38年九州のホテル、旅館7軒が出資して設立。現在の会員数はバス会社なども加わり約130社。会員の会社からの要望を聞き、アレンジをして旅行代理店へ提示、観光客を送り込むのが主な業務。従業員は約50名。大阪本社の他に札幌から福岡まで9ヶ所に支店を置く。

この時期業績を伸ばす秘訣について松瀬裕二代表理事は「とにかく職員全員のロイヤリティが高いこと。それに職員の団結」をあげる。確かに一人の客に幾度もお茶を出したり、全員が起立して来客を迎えるなど、他の職場ではお目にかかれない。すべて松瀬氏の方針によるものだ。

南国九州は別府、長崎、鹿児島、阿蘇、雲仙など全国にその名が知れている観光地が数多く点在していて、観光地の宝庫だ。その

上、大きな追い風が吹こうとしている。それは3月に全線開通する九州新幹線の新大阪乗り入れの実現だ。「これまで不可能だった中国、関西地区からの1泊2日の旅行が可能になる。また新たな観光地として天草地方が脚光を浴びようになる」と言う。九州の魅力について「とにかく九州人の人柄がいい。おもてなしの心がすばらしい」と言う。

ただ、「この業界もインターネットなどで直接旅行客が観光地の情報を得るケースが多くなり、斡旋するだけでは生き残れない」と将来を憂慮。去年秋から新たに空間除菌事業部を立ち上げた。バスの車内に弱酸性次亜鉛酸水を霧状にして吹き出すものだがバス特有の臭いを消すほか、ほとんどの菌やウイルスを除菌できる。現在九州地区のバス会社を取り入れている他、各地のバス会社も導入に踏み切り、もう一つの経営の柱にと期待されている。

(聞き手=編集委員・小林真人)



今中華鍋をふり、若手に教える。手前が池田さん。



人づくりがお客さまを呼ぶ

王将フードサービス 空港線豊中店長

池田 勇気 氏 (69回卒)

略歴…1980年大阪生まれ。平成15年経済学部卒業。王将フードサービス(株)に入社。福島店、関目店、京橋駅前店、箕面半町店の各店長を歴任。平成21年空港線豊中店長に就任。30歳。

何ということだ。卒業しわずか10年足らず。弱冠29歳で「1日食する餃子100万個」のCMでお馴染みのギョーザの王将の、全国362店で最大の空港線豊中店（大阪府豊中市、座席数300）の店長に抜擢された池田勇気さん。本学69回卒、平成15年の卒業生だ。

さえぎりのない大空へ一直線に飛び立つジェット機のような屈折を感じない人生観と研ぎ澄まされた職業感に、若い人の新しい「生き方」を感じた。昨夏、社労士大樟会の研修会で、現役学生を含め参加者は池田さんの話にかたづけを吞んで聞き入った。出席した勝田泰久理事長をして「こんなに若くして社会人基礎力を備えた人が卒業生にいるとは感激した」と言わしめた。

高校3年から大学卒業まで続けた王将のアルバイトがすべての原点だ。バイト先の店長に任されている「経営手腕」のすごさに傾倒し「自分もこんな店長になりたい」と王将を大学の出口に決めた。いい上司に恵まれれば仕事も楽しい。入社2年目で早くも店長になったが、片腕と信

じていたバイト生の退職など失敗の中から「店舗経営はチームプレイだ」と思い知り以降率先垂範、働く環境作りを常に心がけた。やがて社員やバイト生から「池田店長と一緒に仕事をすると店も働き手も元気になる」という伝説が生まれ、今や社員26人、バイト生120人を率いる。日曜日ともなると満席となり、自慢のギョーザは全国平均の3倍、約3万個が売れるという。この秘訣を尋ねると「料理を作るマニュアルに加え店員がお客さま側に立った気配りをする事です」。

今年から労働組合の中央執行委員に選ばれた。代表として会社に働く人の気持ちを的確に伝えていき、会社や仲間をもっともっと強くしたいと目を輝かせておられる。

将棋のコマの王将は金、銀を従え飛車、角の刺客や各々役割を持ったコマを使い自軍を守りながら相手を攻める。もちろん1人では勝てない。「ギョーザの王将」ブランドを背負い池田店長は自分もコマになり、今日も店頭に立つ。
(聞き手=編集委員・平田義行)

街角に残る文化財や史跡を切り絵で表現

切り絵作家

岡村 康裕 氏 (31回卒)

略歴…昭和17年伊丹市生まれ。68歳。昭和40年本学経済学部卒業。昭和41年尼崎市役所勤務。青少年センター館長、保育所所長、公民館館長、児童館館長等を経て、平成14年に定年退職。在職中の昭和57年にChild保育シリーズ「おりがみあそび130」を刊行。昭和61年「きり絵尼崎八景」第1集、平成2年同第2集、平成15年同第3集刊。平成21年「切り絵で描く伊丹の風景」第1・2集刊。平成20年「これっきりえ・四季の颯声を刻む」(文芸社ビジュアルアート)他に著書多数。「いたみ川柳会」代表。



少年の頃の夢は画家。できれば専門の大学で学びたいと思い、京都美大を受験したが失敗する。「浪人したら家の中が暗くなる。身分が安定してから好きな絵を描き」との母親の言葉に納得し、本学の二次試験に合格。これが後に切り絵作家になっていくきっかけになった。在学中は消滅していた美術研究部を仲間と再建し、もっぱら油絵の制作に勤しんだ。また、学内新聞の発行にも携わった。

卒業後は、尼崎市の職員となる。在職期間は444カ月。3分の2は社会教育に関係した。公民館活動では地域の文化財や史跡などを市民とともに発掘し、「尼崎郷土カルタ」と題して遺すことを考えた。それが美術との再会である。「切り絵も考えましたが、皆さんの得手不得手もあり、水彩画でまとめました」。

その一方で、岡村さんは自ら描いたスケッチを切り絵に展開。昭和61年に「きり絵尼崎八景」第1集を発行する。切り絵は独学。繊細な作

品からは人の手のぬくもりが伝わってくる。「明度のどこを基準にするかで切り絵の印象は変わりますが、私の切り絵は明るく、わかりやすいと言われます」と岡村さん。川柳をたしなむほどの陽気な性格が画風にも表れているようだ。

定年後は生まれ育った「伊丹の風景」に挑み、現在第1集、第2集を発行。JR伊丹駅構内の市立観光物産ギャラリーで販売もしている。

「目標はニューヨークやパリなどで個展を開くこと。モノクロは絵の原点であり、世界の人がどういう風に観てくれるのか興味があります」。

人が好きで、風土のぬくもりが好きな岡村さん。白と黒の世界なのに、じつと見つめればそこにはさまざまな“色”が凝縮されているように思えてくる。

《連絡先》切り絵工房パピルス ☎072-772-3655

(聞き手=編集委員・池田誠吾)

商品の先にある 「生活」や「感動」を届けたい。

ジャパネットたかたは、商品そのものだけではなく、

その商品がお客様の生活にもたらす

感動や豊かさを提供したいと考えています。

そのために厳選した商品を、

生活の中で使っているイメージをもって購入していただき、

実際に使用して豊かになってもらうことを目指します。



ジャパネットたかた

本社 〒857-1197 長崎県佐世保市日宇町2781 TEL 0956-26-1300(代表)
ホームページ <http://www.japanet.co.jp/>

J+DMA
社団法人日本通信販売協会会員

これまでも、これからも。 大阪の街と、皆さまとともに。

大阪で80有余年。お客さまの夢と暮らしを応援し続ける、市信です。



大阪市信用金庫 新本店と創立80周年を記念して大阪市信用金庫が中之島公園に寄贈した「大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念モニュメント」

信頼の輪を広げるコミュニティバンク。大阪市信用金庫です。

本店 営業部 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL.(06)6231-2881
中之島支店 〒530-0005 大阪市北区中之島1(大阪市役所内) TEL.(06)6202-0891
西支店 〒550-0025 大阪市西区九条南1-10-17 TEL.(06)6581-2421
阿倍野支店 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-48-1 TEL.(06)6622-0671
生野支店 〒544-0034 大阪市生野区桃谷2-23-32 TEL.(06)6718-1121
福島支店 〒553-0005 大阪市福島区野田3-1-18 TEL.(06)6462-3621
住吉支店 〒558-0051 大阪市住吉区東粉浜3-23-8 TEL.(06)6673-8371
城東支店 〒536-0004 大阪市城東区今福西1-9-6 TEL.(06)6939-5131
東成支店 〒537-0021 大阪市東成区東中本1-15-27 TEL.(06)6971-2401
都島本通支店 〒534-0014 大阪市都島区都島北通2-3-19 TEL.(06)6924-1171
布施西支店 〒577-0848 東大阪市岸田堂西2-3-6 TEL.(06)6728-3301
南田辺支店 〒546-0031 大阪市東住吉区田辺3-25-20 TEL.(06)6628-0581
門真支店 〒571-0046 門真市本町3-0-3 TEL.(06)6909-7451
住道支店 〒574-0033 大東市扇町16-7 TEL.(072)872-4881
八尾支店 〒581-0072 八尾市久宝寺2-4-57 TEL.(072)992-0081
若江岩田支店 〒578-0941 東大阪市岩田町3-10-17 TEL.(072)963-2151
たつみ支店 〒544-0013 大阪市生野区巽中3-9-2 TEL.(06)6751-1281
生野中支店 〒544-0006 大阪市生野区中川東2-4-6 TEL.(06)6754-1811
高井田支店 〒577-0042 東大阪市西堤1-13-4 TEL.(06)6788-2821
つるみ支店 〒538-0052 大阪市鶴見区横堤3-6-52 TEL.(06)6912-8861
加美中支店 〒547-0004 大阪市平野区加美鞍作1-9-24 TEL.(06)6794-3931
生野南支店 〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-5-28 TEL.(06)6718-2181
桃谷駅前支店 〒543-0033 大阪市天王寺区ヶ芝1-9-3 TEL.(06)6771-4881
鴻池支店 〒578-0975 東大阪市中鴻池町3-4-5 TEL.(06)6745-2811
加美北支店 〒547-0001 大阪市平野区加美北3-12-1 TEL.(06)6794-3121
中津支店 〒531-0071 大阪市北区中津1-17-26 TEL.(06)6376-3071
吉田駅前支店 〒578-0981 東大阪市島之内2-13-9 TEL.(072)964-8641
森ノ宮支店 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-8-1 TEL.(06)6946-1081
谷町支店 〒543-0072 大阪市天王寺区生玉町1-18 TEL.(06)6775-0751
大東北支店 〒571-0012 門真市江端町9-2-3 TEL.(072)882-1661
北支店 〒530-0053 大阪市北区末広町3-3 TEL.(06)6365-7801
京橋支店 〒534-0024 大阪市都島区東野田町2-9-12 TEL.(06)6358-8461
岸の里支店 〒557-0054 大阪市西成区千本中2-2-21 TEL.(06)6659-6522
桜川支店 〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-3-22 TEL.(06)6562-3224

小阪支店 〒577-0806 東大阪市内小阪3-1-6 TEL.(06)6730-1281
江戸堀支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀3-2-20 TEL.(06)6447-7881
関目支店 〒535-0031 大阪市旭区高殿4-22-40 TEL.(06)6954-0374
平野支店 〒547-0045 大阪市平野区平野上町2-7-18 TEL.(06)6791-1804
日本橋支店 〒542-0073 大阪市中央区日本橋2-6-1 TEL.(06)6641-8131
萩之茶屋支店 〒557-0015 大阪市西成区花園南1-3-15 TEL.(06)6661-6031
梅田支店 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-100 TEL.(06)6341-6434
今里支店 〒537-0021 大阪市東成区東中本3-18-25 TEL.(06)6972-3531
加島支店 〒532-0031 大阪市淀川区加島4-2-46 TEL.(06)6309-7821
東大阪支店 〒577-0035 東大阪市御厨中2-5-6 TEL.(06)6788-5181
港支店 〒552-0016 大阪市港区三先1-10-28 TEL.(06)6573-6261
長吉支店 〒547-0013 大阪市平野区長吉長原東1-2-73 TEL.(06)6708-9001
恩加島支店 〒551-0012 大阪市大正区平尾4-2-1-8 TEL.(06)6554-1351
北加賀屋支店 〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋1-1-26 TEL.(06)6683-6551
姫島支店 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島5-2-1 TEL.(06)6475-3231
西九条支店 〒554-0013 大阪市此花区梅香3-33-9 TEL.(06)6464-0621
東淀川支店 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新5-14-30 TEL.(06)6327-8861
守口支店 〒570-0083 守口市京阪本通1-4-12 TEL.(06)6993-8541
豊中支店 〒561-0853 豊中市服部南町4-1-25 TEL.(06)6864-7471
堺支店 〒590-0959 堺市堺区大町西3-2-1 TEL.(072)232-7601
夢ふくらむ支店 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 ☎0120-77-2976 (テレホンダイレクト支店)

はなぼへと出張所 〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮2-7-70 TEL.(06)6913-5071
市大病院出張所 〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 TEL.(06)6633-1321

【店舗外信キャッシュコーナー】

京橋駅前出張所 大阪市都島区東野田町2-9-12(松和京橋ビル1階)
大阪市立総合医療センター出張所 大阪市都島区都島本通2-13-22(大阪市立総合医療センター1階)
信金中金大阪支店出張所 大阪市中央区農人橋1-4-34(信金中央金庫ビル1階)
大阪市立大学出張所 大阪市住吉区杉本3-3-138(大阪市立大学学術情報総合センター内)
加島駅前出張所 大阪市淀川区加島3-中2-14(JR東西線加島駅前)
阪神西九条駅前出張所 大阪市此花区西九条3-15-13(阪神西九条駅1階)
姫島駅前出張所 大阪市西淀川区姫里1-39-1(阪神姫島駅改札口横)



夢・ふ・く・ら・む
大阪市信用金庫

代表理事会長 新 堂 友 衛

(第21回卒 本学理事)

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL.(06)6201-2881(代表)

大阪市内全24区に店舗(府下全57カ店)を有する唯一の地域金融機関です。

インターネットアドレス <http://www.osaka-shishin.co.jp/>

For a Lively World



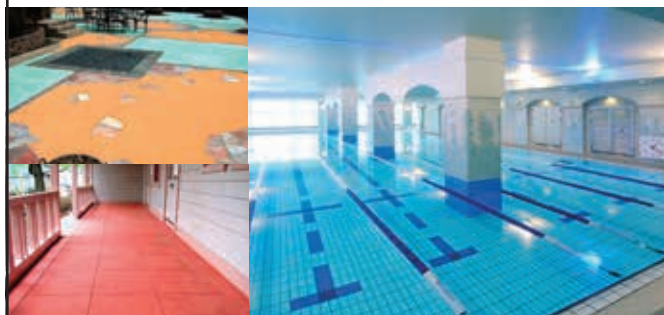
大成建設の技術で実現する未来都市

わたしたちは“人がいきいきとする環境を創造する”というグループ理念のもと、
自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。
For a Lively World…この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高め次の世代へ。
わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいきいき、人もいきいき。大成建設がめざす未来です。



大成建設株式会社



イメージひろがる！ テクノカラーは、
アイデアしだいで使い方いろいろ…

新たな時代を彩る、
カラーモルタル誕生！

ColorMortar



【特徴】 ●豊富なカラーバリエーション(全カラー66色)で自在の色の組合せが可能です。 ●プレミックスモルタル製品ですので、硬化物は接着性に優れ、かつ高い強度を発揮し、耐久性に優れています。 ●白華現象のおこりにくい配合設計になっています。 ●用途目的に合わせて多種の組合せが可能です。

【種類】

- テクノカラーSK(厚塗り用)
- テクノカラーMU(薄塗り用)
- テクノカラーNS(洗い出し及びコンクリート用)

色・カタチ思いのまま
スタンダードをめざす
業界初の新発想モルタル



業界初

テクノカラー66
〈受注生産型〉



機能性モルタル類の総合メーカー

テクノスジャパン株式会社

代表取締役 社長 **佐藤 武司**

(昭和39年 30回卒業 同窓会会長)

○お問い合わせは

TEL/078-924-1234 FAX/078-924-0050
<http://www.attack-pro.com>

■ 本社・工場 / 〒673-0028 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号

■ 東京支店 / 〒130-0012 東京都墨田区太平3丁目11番10号

— 関連会社 —



エースコンサルタント株式会社

■大阪経済大学・周辺MAP



アクセス ●阪急京都線「上庄」駅下車 徒歩約15分
●地下鉄今里筋線「瑞光四丁目」駅下車 徒歩約2分

〈澁江〉の次号へ同窓生の皆さんへのお願いとお知らせ

◆「北から南から」投稿歓迎

テーマ～大阪経済大学80周年に思う～

ー2012年、母校は創立80周年を迎えます。この間、同窓生お一人おひとりが4年間に在学し、それが80年の節目を刻みました。この記念すべき時に寄せて、あなたの思いをお寄せください。

(300～400字程度・顔写真付 8月31日締め切り)

◆「OB・OGネットワーク」投稿歓迎

ークラブ・ゼミのOB・OG会、同期会の開催呼びかけや開催報告、その他

◆「ズームアップ経大人」の自薦・他薦

◆広告協賛のお願い

ー事務局に募集要項を用意しております。ご請求ください。

本号のご感想、企画提案など歓迎いたします。

(上記お問い合わせは事務局広報部へ)

★「澁江」次号(47号)の発行は、2012年(平成24年)1月25日(水)です。



でんこう
澁江
2011

■発行日 2011年1月25日(火)
■編集 大阪経済大学同窓会「大樟会」広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話06-6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp URL <http://www.osaka-ue-denko.com/>
■印刷 株式会社 廣済堂
〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1 電話06-6855-9241